



神奈川県
平塚保健福祉事務所

平成24年度 (2012.4 ~ 2013.3)

平塚保健福祉事務所年報

目 次

ご利用にあたって	1
第1章 概要	
1 地域の概況	3
2 平塚保健福祉事務所の概況	9
第2章 生涯を通じた健康づくり対策	
1 保健福祉サービス連携調整会議	11
2 保健師活動	12
3 栄養・食生活対策	14
4 歯科保健	20
5 母子保健	24
6 職域保健	29
7 成人・高齢者保健	31
8 認知症疾患対策	32
9 メンタルヘルス	34
10 エイズ対策	41
11 結核予防	43
12 感染症予防	47
13 難治性疾患対策	51
14 肝臓疾患対策事業	55
15 原爆被爆者援護	56
16 アスベスト（石綿）に関する相談	56
17 健康保持増進	57
18 受動喫煙防止対策	61
第3章 くらしを支える福祉サービス	
1 地域福祉	62
2 介護保険	64
3 福祉の貸付	65
4 生活保護	66
5 特別障害者手当等の支給	69
6 女性保護・母子福祉	70
7 児童福祉	71

第4章 保健・医療・福祉の基盤づくり

1	湘南西地区保健医療福祉推進会議	72
2	湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進	74
3	地域医療連携の推進	75
4	高齢者保健福祉計画の推進	77
5	健康危機管理	77
6	救急医療対策の推進	77
7	人材育成	78
8	医務・薬務	80
9	献血	83
10	免許取扱事務	84
11	保健衛生等表彰	85
12	ネットワークづくり	86

第5章 健康で安心できる生活衛生対策

1	環境衛生営業施設等	88
2	生活環境施設	89
3	動物保護	91
4	毒物劇物、麻薬取扱施設等	92
5	食品衛生	93

資料

1	平塚保健福祉事務所の沿革等	97
2	人口	100
3	衛生統計	104
4	市町における健康診査実施状況	114
5	各種委員会委員	117
6	職員研究論文等一覧	124

《 凡 例 》

- ・本書は、平成24年度の数値を記載したものです。それ以外の数値の場合、表右上に時点を示しています。
- ・本書中の各項目の< >内は、その業務の担当課を示しています。
- ・本書中で使用した一般的な記号の用途は次のとおりです。
 - 「空欄」, 「 - 」...計数のない場合
 - 「 0 」 ...小計、合計、総計、及び総数に計数のない場合
 - 「 ... 」 ...計数不明、未確定の場合
 - 「 ・ 」 ...計数のあり得ない場合
 - 「0.0」 ...比率が微小(0.05未満)の場合
 - 「 」, 「注」...注意及び特記事項

ご利用にあたって

本年報は、平成24（2012）年度の平塚保健福祉事務所の事業内容を取りまとめたものです。当保健福祉事務所の所管区域（業務の対象とする市町）は、「保健所としての業務」及び「福祉に関する事務所としての業務」ごとに対象としている市町が異なっており、具体的には下記1の表のとおりです。

また、当保健福祉事務所が受け持っている「二次保健医療圏」等の区域（対象とする市町）は、下記2の表のとおりです。

1 平塚保健福祉事務所の所管区域

区 分		対象市町名	
平塚保健福祉事務所	「保健所」としての業務	平塚市 大磯町 二宮町	
	「福祉に関する事務所」としての業務	大磯町 二宮町	

2 二次保健医療圏等

湘南西部地区二次保健医療圏	平塚市	
湘南西部保健福祉圏域	秦野市	
湘南西部障害保健福祉圏域	伊勢原市	
	大磯町 二宮町	

3 各章に対応する地域及び市町一覧

区 分	湘南西部地区二次保健医療圏 湘南西部保健福祉圏域 湘南西部障害保健福祉圏域				
	平塚保健福祉事務所				
	「保健所」としての業務				
	「福祉に関する事務所」としての業務				
	平塚市	大磯町	二宮町	秦野市	伊勢原市
第2章 生涯を通じた健康づくり対策				()	() ¹
第3章 暮らしを支える福祉サービス					
1 地域福祉					
2 介護保険				()	() ²
3 福祉の貸付					
4 生活保護					
5 特別障害者手当等の支給					
6 女性保護・母子福祉					
7 児童福祉					
第4章 保健・医療・福祉の基盤づくり					
1 湘南西地区保健医療福祉推進会議					
2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進					
3 地域医療連携の推進					
4 高齢者保健福祉計画の推進					
5 健康危機管理					
6 救急医療対策の推進					
7 人材育成					
8 医務・薬務					
9 献血					
10 免許取扱事務					
11 保健衛生等表彰					
12 ネットワークづくり					
第5章 健康で安心できる生活衛生対策					

* 表中の数字は、目次と対応しています。

* 印は、各業務が対象としている市町を表しています。

- 1 第2章 「生涯を通じた健康づくり対策」欄の秦野市、伊勢原市の 印は、「6 職域保健」の対象です。
- 2 第3章 2 「介護保険」欄の秦野市、伊勢原市の 印は、介護保険審査会介護認定審査部会が審査を行う場合の対象です。

第1章

概要

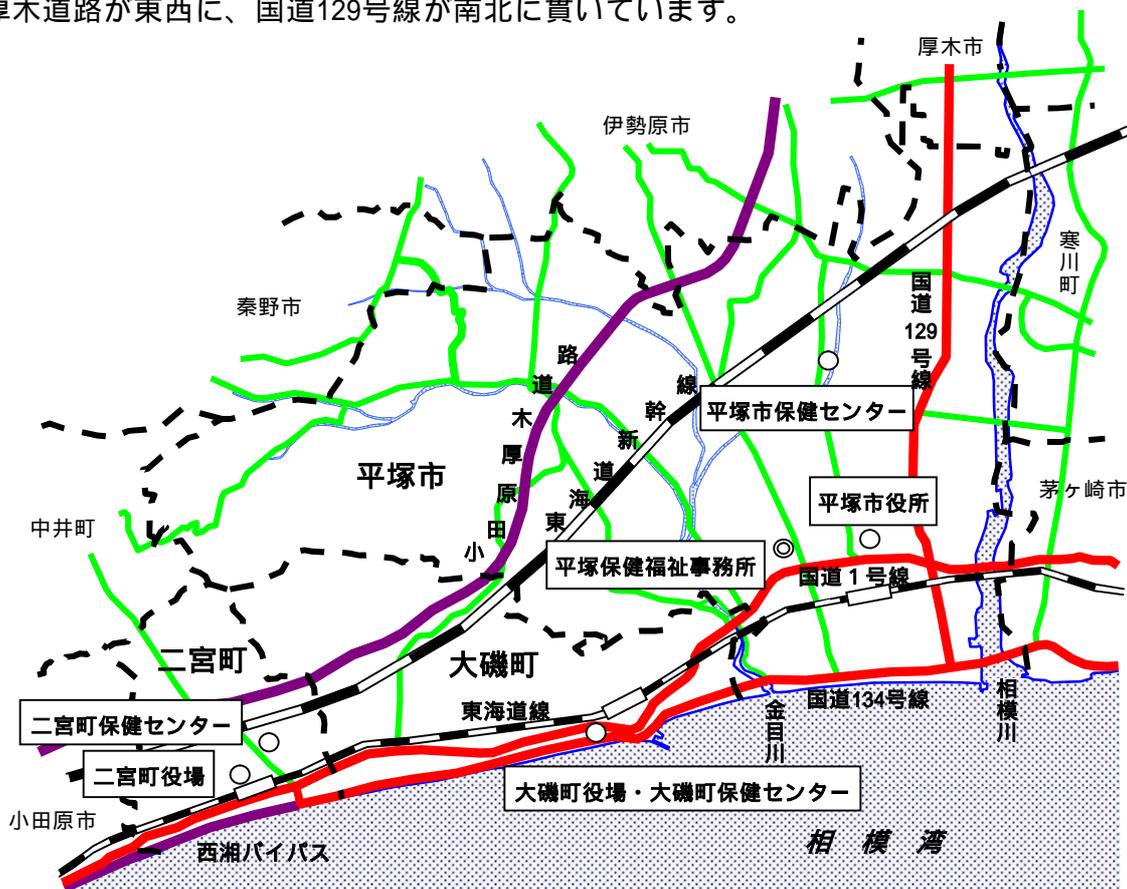
- 1 地域の概況
- 2 平塚保健福祉事務所の概況

1 地域の概況

当所の管轄区域は、平塚市、大磯町、二宮町の1市2町で、神奈川県南部のほぼ中央に位置しており、東は寒川町、茅ヶ崎市に、西は小田原市、中井町に、北は秦野市、伊勢原市、厚木市にそれぞれ境を接し、面積は94.09km²で、県の総面積の約4%を占めています。

地域の北西方向には、丹沢・大山山麓が連なる一方、南は相模湾に面して湘南海岸が広がり、温和な気候と恵まれた自然にあふれた地域です。また、一級河川の相模川が地区の東側を流れるとともに、二級河川の金目川水系が、地域のほぼ全域を流れており、平坦で肥沃な土地が続き、本県農業の中心となっている一方、産業、研究機関の集積が進んでいます。

交通は、JR東海道線が海岸線を東西に貫くとともに、国道1号線、134号線、小田原厚木道路が東西に、国道129号線が南北に貫いています。



管内保健福祉関係行政機関

名称	所在地	電話番号
平塚保健福祉事務所	〒254-0051 平塚市豊原町 6-21	(0463)32-0130
平塚市役所	〒254-8686 平塚市浅間町 9-1	(0463)23-1111
平塚市保健センター	〒254-0082 平塚市東豊田 448-3	(0463)55-2111
大磯町役場	〒255-8555 大磯町東小磯 183	(0463)61-4100
大磯町保健センター		
二宮町役場	〒259-0196 二宮町二宮 961	(0463)71-3311
二宮町保健センター	〒259-0123 二宮町二宮 1410	(0463)71-3311

(1) 人口及び世帯数等

ア 面積、人口、世帯数

(平成24年10月1日現在)

区分	面積 (km ²)	世帯数	人口			人口密度 (人/km ²)	一世帯 当たりの 人員	人口 増加率 (23/22年)
			総数	男	女			
平塚市	67.83	105,369	259,371	130,943	128,428	3,826	2.46	99.65
大磯町	17.18	12,617	32,748	15,954	16,794	1,903	2.60	99.28
二宮町	9.08	11,486	29,305	14,224	15,081	3,227	2.55	99.74
管内計	94.09	129,472	321,424	161,121	160,303	3,416	2.48	99.62
神奈川県	2,415.86	3,904,694	9,072,133	4,544,744	4,527,389	3,755	2.32	100.80

(県統計センター「神奈川県の人口と世帯」 面積は「全国都道府県市区町村別面積調」)
平塚市と大磯町の境界は未確定のため、参考値

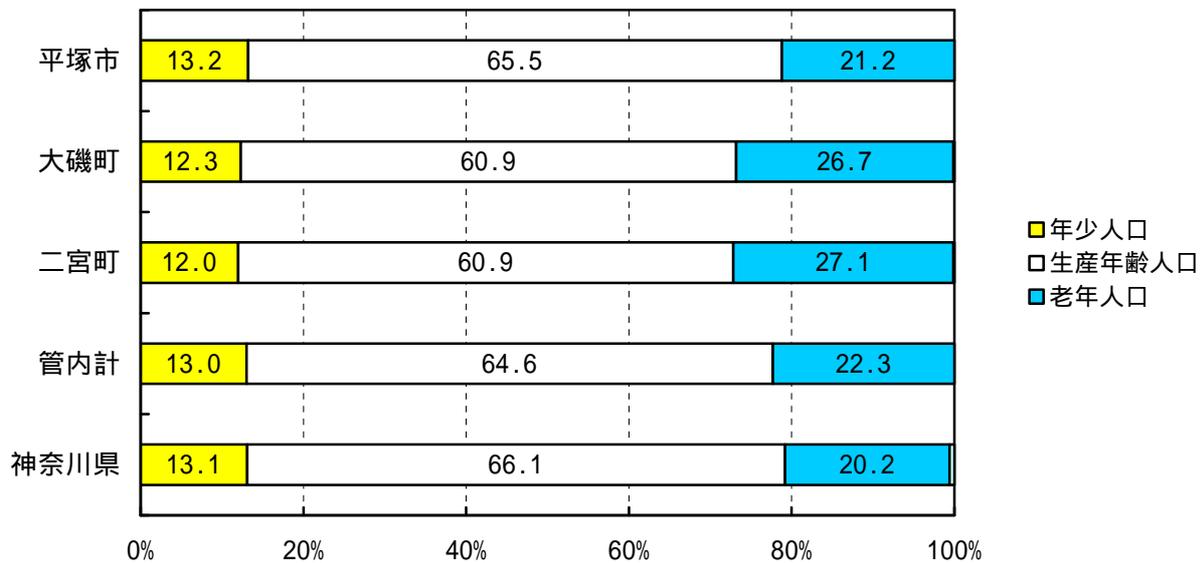
イ 年齢階級(3区分)別人口と割合

(平成24年1月1日現在)

区分	総数	年少人口		生産年齢人口		老年人口		年齢不詳
		0~14歳		15~64歳		65歳以上		
		人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数
平塚市	260,149	33,986	13.1	169,218	65.1	56,855	21.9	90
大磯町	32,935	4,067	12.4	19,810	60.2	9,037	27.5	21
二宮町	29,345	3,457	11.8	17,745	60.5	8,119	27.7	24
管内計	323,429	41,510	12.9	206,773	64.2	74,011	23.0	135
神奈川県	9,060,257	1,182,523	13.1	5,957,088	66.1	1,868,418	20.7	52,228

(「神奈川県年齢別人口統計調査」)
総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分構成比は年齢不詳を除いて算出している。

管内年齢階級(3区分)別人口割合



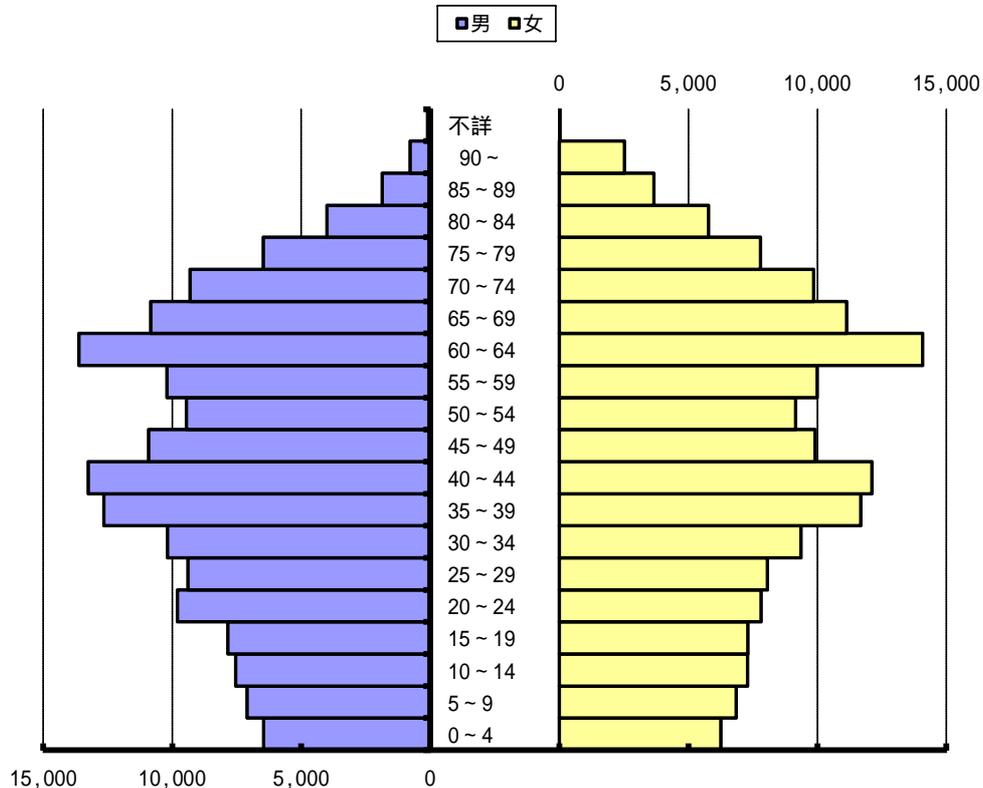
ウ 管内年齢階級別人口（5歳年齢区分）

（平成24年1月1日現在）

区分	平塚市			大磯町			二宮町			管内計		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	10,581	5,349	5,232	1,181	608	573	956	502	454	12,718	6,459	6,259
5～9	11,464	5,843	5,621	1,387	696	691	1,107	564	543	13,958	7,103	6,855
10～14	11,941	6,064	5,877	1,499	774	725	1,394	707	687	14,834	7,545	7,289
15～19	12,286	6,379	5,907	1,432	751	681	1,430	714	716	15,148	7,844	7,304
20～24	14,996	8,485	6,511	1,344	670	674	1,267	640	627	17,607	9,795	7,812
25～29	14,819	8,089	6,730	1,395	706	689	1,240	601	639	17,454	9,396	8,058
30～34	16,370	8,499	7,871	1,690	873	817	1,486	806	680	19,546	10,178	9,368
35～39	20,184	10,566	9,618	2,235	1,131	1,104	1,912	954	958	24,331	12,651	11,680
40～44	20,696	10,890	9,806	2,524	1,271	1,253	2,147	1,091	1,056	25,367	13,252	12,115
45～49	16,830	8,834	7,996	2,052	1,125	927	1,938	952	986	20,820	10,911	9,909
50～54	14,954	7,663	7,291	1,873	907	966	1,780	879	901	18,607	9,449	9,158
55～59	16,218	8,299	7,919	2,144	1,005	1,139	1,837	896	941	20,199	10,200	9,999
60～64	21,865	10,813	11,052	3,121	1,522	1,599	2,708	1,279	1,429	27,694	13,614	14,080
65～69	17,072	8,440	8,632	2,600	1,281	1,319	2,296	1,110	1,186	21,968	10,831	11,137
70～74	14,773	7,182	7,591	2,282	1,120	1,162	2,108	1,006	1,102	19,163	9,308	9,855
75～79	10,898	4,918	5,980	1,728	785	943	1,640	772	868	14,266	6,475	7,791
80～84	7,380	2,991	4,389	1,242	510	732	1,162	499	663	9,784	4,000	5,784
85～89	4,217	1,429	2,788	717	228	489	597	204	393	5,531	1,861	3,670
90～	2,515	596	1,919	468	114	354	316	70	246	3,299	780	2,519
不詳	90	79	11	21	15	6	24	14	10	135	108	27
総数	260,149	131,408	128,741	32,935	16,092	16,843	29,345	14,260	15,085	322,429	161,760	160,669

（「神奈川県年齢別人口統計調査」）

管内男女別人口ピラミッド



(2) 主な施設等

ア 医療関係

(平成25年3月末現在)

種類	市町	平塚市	大磯町	二宮町	管内計
	医療施設等	病院	9	1	
一般診療所		183	19	23	225
歯科診療所		138	16	20	174
助産所		4	1	2	7
薬事施設	薬局	114	15	18	147
	医薬品販売業	61	5	5	71
施術所等	あん摩・はり・きゅう	350	44	55	449
	柔道整復	58		5	63
	歯科技工所	25	3	8	36

助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

(平塚保健福祉事務所調べ)

イ 保健福祉関係

(平成25年3月末現在)

種類		市町	平塚市	大磯町	二宮町	管内計
保健福祉	訪問看護ステーション		13	2	2	17
	保健センター		1	1	1	3
	福祉センター		4	2	1	7
高齢者	介護老人保健施設		5	1		6
	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		9	2	1	12
	介護療養型医療施設		4			4
	養護老人ホーム		1			1
	軽費老人ホーム		4		3	7
	老人デイサービスセンター		79	8	5	92
	地域包括支援センター		8	1	1	10
	老人福祉センター		4	2		6
障害者	指定障害福祉サービス	居宅介護	29	5	4	38
		重度訪問介護	30	4	3	37
		行動援護	2	1		3
		重度障害者等包括支援				0
		短期入所(ショートステイ)	10	1		11
		共同生活介護(ケアホーム)	13	1	3	17
		施設入所支援 (障害者支援施設での夜間ケア等)	8	1		9
		共同生活援助	11	1	3	15
		療養介護				0
		生活介護	18			18
		宿泊型自立訓練				0
		自立訓練(機能訓練)				0
		自立訓練(生活訓練)	1	1		2
		就労移行支援	3		1	4
		就労継続支援(A型)	1			1
		就労継続支援(B型)	14	2	2	18
		特定相談支援(計画相談)	10	1		11
		一般相談支援(地域移行・地域定着)	10	3		13
		障害児相談支援	8	2		10
	身体障害者ケア付住宅	1			1	
地域活動支援センター	17			17		
障害者地域作業所	7	1		8		
児童	保育所(公立)		10	1	1	12
	保育所(私立)		23	1	3	27
	助産施設		1			1
	児童自立支援施設			1		1
	児童養護施設			1	1	2
	児童発達支援		7	1		8
	医療型児童発達支援					0
	放課後等デイサービス		12	1		13
	保育所等訪問支援		2			2
	福祉型障害児入所施設		1			1
医療型障害児入所施設					0	
保護	救護施設		1			1

(平塚保健福祉事務所調べ)

ウ 生活衛生関係

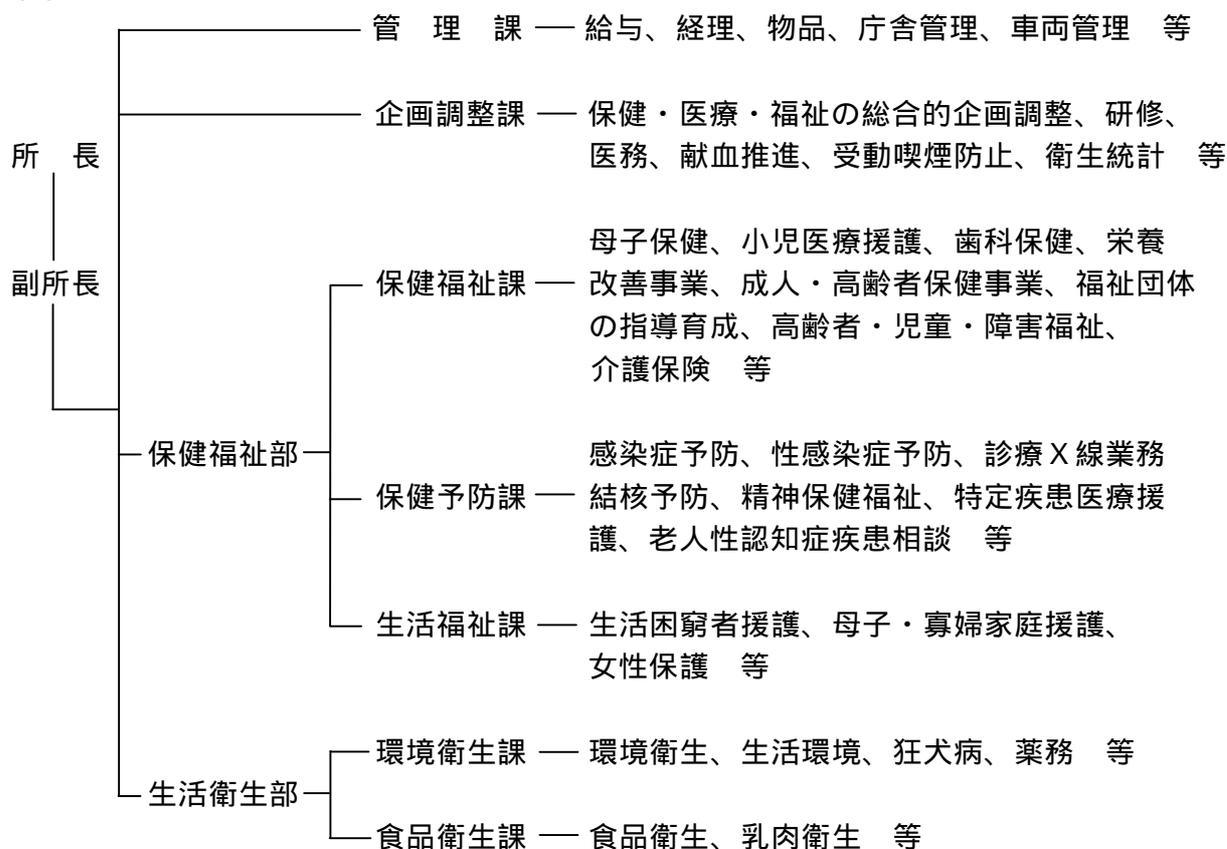
(平成25年3月末現在)

種類	市町				
	平塚市	大磯町	二宮町	管内計	
環境衛生 営業施設	理容所	200	18	22	240
	美容所	335	34	39	408
	クリーニング所	186	18	22	226
	旅館	26	3	1	30
	興行場	6	-	1	7
	公衆浴場	20	4	-	24
主な食品 営業施設 (移動営業は除く)	飲食店営業	2,268	181	158	2,607
	菓子製造業	170	24	24	218
	乳類販売業	465	48	43	556
	魚介類販売業	234	40	29	303
	食肉販売業	220	30	28	278
	給食施設	93	11	10	114
	野菜果物販売業	196	31	27	254

2 平塚保健福祉事務所の概況

(1) 組織機構

(平成25年4月1日現在)



(2) 職員配置状況

(平成25年4月1日現在)

区分	一般事務職	福祉職	医師	歯科医師	歯科衛生士	診療放射線技師	栄養士	保健師	衛生監視員	自動車運転員	小計	再任用職員	臨時的任用職員	非常勤職員	小計	合計
所長			1								1				0	1
副所長	1										1				0	1
部長								1	1		2				0	2
管理課	4									1	5	1		2	3	8
企画調整課	6							1			7			1	1	8
保健福祉課	6	1		1			2	3			13	2		1	3	16
保健予防課	1	2	1			1		6			11			6	6	17
生活福祉課		8									8			6	6	14
環境衛生課									4		4	1			1	5
食品衛生課									7		7	1			1	8
合計	18	11	2	1	0	1	2	11	12	1	59	5	0	16	21	80

(3) 收入・支出決算額

收 入		支 出	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
公衆衛生費負担金	2,431,222	一 般 管 理 費	25,535,624
保健所費使用料	32,704	財 産 管 理 費	6,079,500
公衆衛生費手数料	4,486,430	社会福祉総務費	56,647,833
環境衛生費手数料	10,605,830	児 童 措 置 費	9,937,442
医 薬 費 手 数 料	3,243,820	母 子 福 祉 費	31,000
保健所費立替収入	41,203	障害福祉総務費	13,905,448
民 生 費 雑 入	6,532,931	老人保健福祉総務費	501,675
衛 生 費 雑 入	4,110	介護保険事業費	83,000
		生活保護総務費	10,651,593
		扶 助 費	427,684,993
		公衆衛生総務費	1,353,820
		母子保健指導費	1,169,012
		予 防 費	3,953,289
		精神保健福祉費	3,849,309
		生活習慣病対策費	270,810
		生活衛生指導費	745,040
		保 健 所 費	21,690,567
		医 務 費	961,412
		薬 務 費	153,905
		雇用対策事業費	1,244,896
		人権男女共同参画費	4,193,547
		大気水質保全費	13,000
		貸 付 事 務 費	6,000
合 計	27,378,250	合 計	590,662,715

第2章

生涯を通じた健康づくり対策

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 保健福祉サービス連携調整会議 | 11 結核予防 |
| 2 保健師活動 | 12 感染症予防 |
| 3 栄養・食生活対策 | 13 難治性疾患対策 |
| 4 歯科保健 | 14 肝臓疾患対策事業 |
| 5 母子保健 | 15 原爆被爆者援護 |
| 6 職域保健 | 16 アスベスト(石綿)に関する相談 |
| 7 成人・高齢者保健 | 17 健康保持増進 |
| 8 認知症疾患対策 | 18 受動喫煙防止対策 |
| 9 メンタルヘルス | |
| 10 エイズ対策 | |

1 保健福祉サービス連携調整会議

<企画調整課>

各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、管内における関係機関・団体等で構成する各種協議会・委員会を総称するものです。各委員会では、それぞれの課題について検討し、業務の推進を図っています。

区 分	委員数	開催回数			担 当 課
		委員会	部会等	ワーキング等	
継 続 看 護 連 絡 会	43	1			保 健 福 祉 課
難 病 委 員 会	19	1			保 健 予 防 課
母 子 保 健 委 員 会	27	1			保 健 福 祉 課
地 域 食 生 活 対 策 推 進 協 議 会	14	1	2		保 健 福 祉 課
地 域 精 神 保 健 福 祉 連 絡 協 議 会	34	1			保 健 予 防 課
歯及び口腔の健康づくり推進委員会	16	1	2		保 健 福 祉 課

各委員会等の内容は、各事業の項に掲載します。

2 保健師活動

< 企画調整課 >

保健福祉事務所と市町の保健師の連携強化、保健指導技術の向上を図るため、会議や研修会等を開催しました。保健福祉事務所と市町における保健師の業務に関する役割分担の明確化を図るとともに、相互の業務について一層の理解を深めるよう努め、連携の強化を図っています。

(1) 地域保健師業務連絡会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
5月29日	1 市町・保健福祉事務所各課の事業～効果的な事業展開のために～ 2 災害時の保健師活動について 3 管内保健師研修会について	平塚保健福祉事務所	26

(2) 研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
8月30日	管内保健師研修会（4保健福祉事務所合同実施） 「保健師のメンタルヘルスコントロール ～「壁」に出会った時に心折れないために～」 講師 緑蔭診療所 橋口 玲子	小田原保健福祉事務所	25
11月29日	管内保健師研修会（4保健福祉事務所合同実施） 「東日本大震災から1年～保健師が取り組んだ活動、足りない活動～」 講師 国立保健医療科学院 生涯健康研究部 奥田 博子	伊勢原シティプラザ	17
2月25日	管内保健師研修会（4保健福祉事務所合同実施） 「効果的な事業展開のために ～見る、つなく、動かすの視点で再考する～」 講師 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 荒木田 美香子	平塚保健福祉事務所	31
3月22日	管内新任期保健師研修会 1 担当事業または事例対応における工夫や困難 2 新任期と指導者別グループワーク	平塚保健福祉事務所	13

(3) 家庭訪問

区分	感 染 症	結 核	精 神 障 害	心身障害						生 活 習 慣 病		難 病				小児特定				そ の 他 疾 病	未 熟 児		妊 産 婦	そ の 他	合 計
				1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下	39 歳 以 下	40 歳 以 上	39 歳 以 下	40 歳 以 上	膠 原 病	血 液 系	循 環 器	神 経 系	消 化 器	1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下	18 歳 以 上		1 歳 未 満	1 歳 以 上			
訪問件数	214	149	115	15	15						6	1		125	3	12	8		29	83	22	32	26	855	
合計	214	149	115	30								135				20				29	105	32	26	855	

(再掲)

区 分	介護保険		児童虐待	高齢者虐待	小児アレルギー		
	専門調査	苦情等調査			喘息	アトピー性皮膚炎	その他アレルギーの疑い
訪問件数			107				
合計			107				

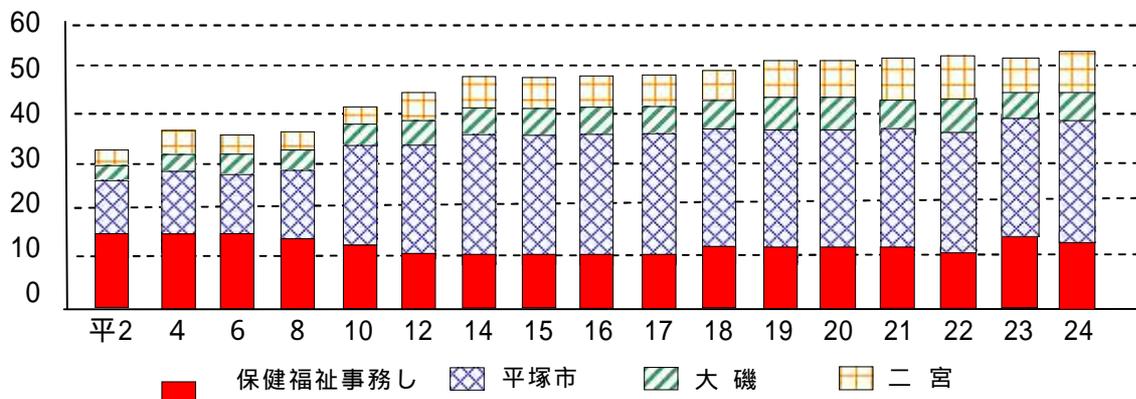
(4) 所内指導

区 分	感 染 症	結 核	精 神 障 害	老 人 性 認 知 症	心 身 障 害	障 害 児	生 活 習 慣 病	難 病	小 児 特 定	そ の 他 疾 病	妊 産 婦	未 熟 児	乳 児	幼 春 期	工 イ ズ	女 性 の 健 康 相 談	そ の 他	合 計		
面 接	55	465	87	47	1	70		1361	21	2	3		3		502	1	1	2686		
電 話	737	777	856	181	1	145	2	438	12	18	4	13	323	16	6	2	958	4	17	4510
文 書 ・ メール		111	2	8		1		13	2						3					146
合 計	792	1353	945	236	2	216	2	1812	35	20	7	13	396	19	6	2	1463	5	18	7342

(5) 管内保健師設置状況

区 分	平塚保健福祉事務所				市 ・ 町					合 計
	部 長	企 画 調 整 課	保 健 福 祉 課	保 健 予 防 課	地 域 保 健 担 当 課	介 護 保 險 担 当 課	障 が い 福 祉 課	保 険 年 金 課	職 員 課 等	
平塚保健福祉事務所	1	1	4	7						13
平塚市					21	3	1	1	1	27
大磯町					6					6
二宮町					6				2	8
合 計	1	1	4	7	33	3	1	1	3	54

管内保健師数の推移



3 栄養・食生活対策

< 保健福祉課 >

個々のニーズに対応した問題及び地域社会に共通した課題など、生涯を通じた健康づくりのため、栄養・食生活改善の充実強化、食環境づくりの整備さらに各種関係機関との連携や基盤整備を図ることを目的として、地域食生活対策推進協議会の開催、栄養表示の指導、特定給食施設の指導等を実施しました。

(1) 地域食生活対策推進協議会

働く人の健康づくりの観点から、関係機関の取り組みを共有し、食環境整備として、標準的な情報提供の充実を図る等生活習慣病予防を推進していくことを目的に地域食生活対策推進協議会及び部会を開催しました。

月 日	内 容	会 場	出席者数
協議会 9月21日	1 働く人の健康づくり食環境整備について (1) 卓上POP等情報提供媒体の作成について (2) 「働く人の健康づくりに関する状況調査」報告について (3) 卓上POPの試行協力事業所への設置及び試行後のアンケート内容について 2 働く人の健康づくりの取り組みに関する課題について 3 栄養・食生活対策担当者研修会について	平塚保健福祉事務所	22
部会1回目 7月17日	1 卓上POP等情報提供媒体の作成について 2 「働く人の健康づくりに関する状況調査」報告(案)について 3 卓上POPの試行協力事業所へ設置する卓上POPの内容について		11
部会2回目 2月27日	1 卓上POP等情報提供媒体の作成について 2 「卓上POPの設置試行」及び「働く人の健康づくりと卓上POPに関する調査」の進行状況について 3 平成24年度 栄養・食生活対策担当者研修会終了後の意見		10

(2) 広域的・専門的栄養改善活動

生活習慣病予防の普及啓発を図るとともに、慢性疾患や個別性の高い長期療養者の生活の質を高めることを目指し、栄養指導教室や相談事業等を実施しました。

ア 専門的栄養指導・食生活支援事業

(ア) 各種疾病別栄養指導教室

区 分	対象疾患名	コース数	延日数	延人数
特定疾患患者と家族のつどい	難 病	1	1	5

(イ) 個別栄養指導及び訪問栄養指導

疾病名等	実人数	延人数	(再掲)	備考
			訪問件数	
糖尿病合併症	4	53		
肥質異常症・肥満合併症	2	26		
難病	2	2	1	
精神保健	2	2	1	
ハイリスク児	14	14	5	
高齢者等の低栄養	8	9		
その他 (疾病について)	5	5	1	肝臓疾患、腎臓疾患、骨粗しょう症、高血圧他
その他 (一般的な食事について)	4	6		食品の保存方法、BMIについて、新聞の健康欄について他
合計	41	117	8	

(ウ) 食生活支援担当者等研修会

月日	事業名	内容	対象	参加者数
8月3日	専門的栄養指導・食生活支援事業	「慢性腎臓病の栄養管理の理論と実際 ～腎不全期を中心に～」 講師 昭和大学病院栄養科 管理栄養士 菅野 丈夫	市町行政、 在宅栄養士等	15

イ 栄養・食生活対策推進事業

事業名・教室名	内容	対象	集団指導		個別指導
			延回数	延人数	延人数
平成24年度福祉・次世代育成部福祉施設栄養士会	かながわ健康プラン21最終評価について	福祉施設栄養士等	1	10	
特別支援学校校内研修会	「食べる機能の発達段階と食事指導」	教員	1	80	
栄養・食生活対策担当者研修会	健康づくりの取組み事例紹介「卓上POP」の紹介及び作成の工夫点について	働く人の健康づくりに携わる関係者	1	20	
市町支援	国民健康・栄養調査について	食生活改善推進員養成講座受講者	1	29	
食生活改善推進団体育成	・ たばこの正体 ・ 栄養成分表示について ・ おいしく楽しくきちんと食べよう ～生活習慣病予防・栄養表示～	食生活改善推進員	3	226	
救急法等講習会	応急手当、心肺蘇生法及びAEDの実習	食生活改善推進員団体、市・町栄養士	1	34	
健康づくりメニュー提供店推進事業	栄養表示のすすめ	飲食店営業者	13	293	
合計			21	692	0

ウ 栄養表示適正化推進事業

健康増進法に基づく栄養表示基準制度及び特別用途食品に関する普及啓発と活用の推進を図るため、講習会及び個別相談、栄養表示状況調査等を実施しました。

(ア) 普及啓発講習会

対象	回数	延人数
事業者	14	311
消費者	2	79
合計	16	390

(イ) 事業者に対する表示適正化指導

区分		健康増進法		
		第26条・27条 (特別用途食品)	第31条 (栄養表示基準)	第32条の2 (虚偽誇大表示)
事前相談・指導	件数	-	6	-
	延回数	-	6	-
適正化指導	件数	-	1	-
	延回数	-	3	-
	改善確認数	-	1	-

(ウ) 消費者からの表示相談

区分	健康増進法第32条の2 (虚偽誇大表示)
件数	2
延回数	6

(エ) 表示食品調査

区分	健康増進法第31条 (栄養表示基準)
件数	13

(3) 特定給食等指導事業

健康増進法に基づき、給食施設の栄養管理の実施について、必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員などの健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

ア 特定給食施設等講習会

(ア) 全体講習会の開催状況

月日	内容	対象	参加施設数	参加者数
5月18日	<ul style="list-style-type: none"> 「給食施設の衛生管理について」 講師 当所食品衛生課職員 「特定給食施設における地震時の対応について ~アンケート調査の結果から~」 講師 当所保健福祉課職員 	調理者、調理従事者	95	101
6月4日	<ul style="list-style-type: none"> 「給食施設の衛生管理について」 講師 当所食品衛生課職員 「歯の健康と生活習慣病 ~神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例を踏まえて~」 講師 当所保健福祉課職員 	管理者、管理栄養士、栄養士	114	129

会場はすべて平塚保健福祉事務所

(イ) 種別講習会の開催状況

月 日	内 容	対 象	参 加 施設数	参加者数
8月 3日	「慢性腎臓病の栄養管理の理論と実際 ～腎不全期を中心に～」 講師 昭和大学病院栄養科 管理栄養士 菅野 丈夫	病院、老人保健施設、老人福祉施設、有料老人ホーム、社会福祉施設、事業所、寄宿舎	23	24
10月 1日	(1) 講演「特定給食施設における災害時の備え」 (2) グループワーク「特定給食施設における災害時マニュアルの項目の検討」 講師・助言 東海大学医学部付属大磯病院 診療協力部栄養科 管理栄養士 元村 久信	病院、老人保健施設、老人福祉施設、有料老人ホーム、社会福祉施設	30	31
12月18日	・地域における食を通じた親と子の健康支援 - 子どもを取り巻く人々たちへの栄養・食生活支援を考える - 講師 日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部 栄養担当部長 堤 ちはる	保育所、児童福祉施設	4	4
2月27日	(1) 事業所給食施設における食を通じた働く人の健康づくりの取組み事例紹介 講師 株式会社アドベル 栄養士 成瀬 美代子 グリーンホスピタリティフードサービス 株式会社 管理栄養士 藤平 文代 (2) 「働く人の健康づくりのための卓上POP」の紹介及び作成の工夫点について 講師 当所管理栄養士	事業所、寄宿所、社会福祉施設	12	12

会場はすべて平塚保健福祉事務所

イ 給食施設個別指導

給食施設に対し、個別指導、相談を実施しました。

		管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設		施設数合計	指導件数合計
		施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数		
指定施設	学校										
	病院			5	5					5	5
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所	5	5	2	2					7	7
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他											
計		5	5	7	7	0	0	0	0	12	12
1回300食以上又は1日750食以上(指定施設を除く)	学校	8	8			4	4	2	2	14	14
	病院			1	1					1	1
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所					1	1			1	1
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他											
計		8	8	1	1	5	5	2	2	16	16
1回100食以上又は1日250食以上(を除外)	学校	2	2			1	1			3	3
	病院	1	1	2	2					3	3
	介護老人保健施設	1	1	4	4					5	5
	老人福祉施設	3	4	5	6					8	10
	児童福祉施設	4	4	3	3	14	14	11	11	32	32
	社会福祉施設	1	1	1	1	4	5	1	1	7	8
	事業所					9	9	12	12	21	21
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他											
計		12	13	15	16	28	29	24	24	79	82
その他の給食施設	学校										
	病院			1	2					1	2
	介護老人保健施設			1	1					1	1
	老人福祉施設	4	5	5	5	2	2	2	2	13	14
	児童福祉施設	3	3			3	3	6	6	12	12
	社会福祉施設	2	2	1	1	1	1	3	3	7	7
	事業所					3	3	15	16	18	19
	寄宿舎			1	1			6	6	7	7
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他	3	3			3	3	5	5	11	11	
計	12	13	9	10	12	12	37	38	70	73	
合計	37	39	32	34	45	46	63	64	177	183	

(4) 市町支援

- ア 企画・業務支援 9 回
- イ 管内食生活改善業務連絡会議 2 回

(5) 人材育成

地域における食生活改善活動の推進を図るため、人材育成及び活動支援等に努めました。

ア 地域活動栄養士研修会

月 日	内 容	講 師	参加者数
6月 4日	・「給食施設の衛生管理について」 ・「歯の健康と生活習慣病 ～神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例を踏まえて～」	当所食品衛生課職員 当所保健福祉課職員	3

特定給食施設等講習会と併せて実施

イ 管理栄養士課程実習生指導

区 分	コース	学生数	期 間
県立保健福祉大学	1	3	5月14日～5月18日
鎌倉女子大学	1	4	6月 4日～6月 8日
関東学院大学	1	4	2月 4日～2月 8日
相模女子大学	1	3	2月25日～3月 1日
合 計	4	14	

ウ 地区組織等の育成

区 分	指導回数	延人数
食生活改善推進員リーダーの育成	15	146
栄養士会	14	121
合 計	29	267

(6) 地域保健活動推進研修事業

地域において食育及び栄養・食生活対策を推進する市町及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修等を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
9月 4日	「まさかに備えた食育 災害時の炊き出しについて食物アレルギーへの配慮と地域の農作物の利用を考える」	当所管理栄養士	34

(7) 国民健康・栄養調査

健康増進法に基づき、国民の身体状況、栄養摂取状況及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図る基礎資料とするため、国民健康・栄養調査を実施しました。

実施地区	対 象		実 施		
	世帯数	人数	世帯数	人数	内 容
平塚市 中里	47	138	37	84	栄養摂取状況調査
				90	身体状況調査
				84	生活習慣調査

4 歯科保健

< 保健福祉課 >

「8020達成」（80歳で自分の歯が20本以上）を目標として、う蝕予防のために検診・指導や普及啓発を行い、生活習慣病予防等の全身の健康という視点から、歯間清掃用具の普及に取組み、歯及び口腔の健康づくりを推進するために「8020運動推進員」の育成を行いました。

また、疾病・障害がある児への対策については、歯科疾患予防や摂食機能発達支援などを実施しました。

さらに、地域の歯科保健推進のため、「歯及び口腔の健康づくり推進委員会」を開催し、地域での歯科保健の課題の共有、検討、情報交換を行いました。

(1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

ア 委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
3月14日	・ 歯科保健連絡小委員会の結果報告 ・ 平成24年度管内歯科保健事業の実施状況（評価）と今後の方向性 ・ フッ化物洗口について ・ 8020運動推進員養成事業について	平塚保健福祉事務所	委員 16 事務局5

イ 歯科保健連絡小委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
10月15日	・ 町、保健福祉事務所歯科保健事業について ・ 情報交換	二宮町保健センター	5
10月25日	・ 市、保健福祉事務所歯科保健事業について ・ 情報交換	平塚保健福祉事務所	4

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町との連携の中で、重度う蝕傾向にある幼児を早期に把握し、予防を図るための定期検診、指導、予防処置を実施しました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開催回数	受診者数			予防処置者数（延人数）			
	初診	再診	合計	フッ化物塗布	フッ化物液磨き フッ化物洗口	う蝕進行抑制剤塗布	合計
60	95	371	466	411		23	434

イ 初診者の把握経路

市 町 事 業				保健福祉事務所事業	合計
1歳6か月児	2歳児	3歳児	その他		
53	28		14		95

ウ 初診者のう蝕り患状況

把握事業名	受診者数	う蝕の状況			対処分類			
		う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし	非ハイリスク児	リスク解消児	ハイリスク児	
							保健福祉事務所継続	その他
1歳6か月児健診	53	12	19	22	1	6	44	2
2歳児歯科健診	28	9	6	13		4	22	2
3歳児健診								
その他	14	4	4	6			12	2
保健福祉事務所事業								
合計	95	25	29	41	1	10	78	6

(3) 障害児者等歯科保健事業

歯科疾患にかかりやすく、重症化しやすい障害児者に対し、検診、保健指導、予防処置を実施し、また、歯科医療機関へ2人紹介しました。さらに、摂食・嚥下機能の発達を促すために摂食機能相談を実施しました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開催回数	受診者数		内容（延人数）				
	実人数	延人数	歯科検診	予防処置	歯科保健指導	生活・食生活指導	摂食指導
55	53	135	126	100	128	35	9

イ 年齢別受診状況

区分	6歳以下	7～19歳	20歳以上	合計
初診	31			31
再診	103	1		104

ウ 専門摂食機能相談及び講習会（ケース検討）（再掲）

月日	指導医	相談者数	相談方法	
			面接	ビデオ
1月29日	神奈川歯科大学非常勤講師・芳賀デンタルクリニック院長 芳賀 定	2	1	1

(4) 歯周疾患予防対策事業

「特定疾患患者と家族のつどい」の参加者を対象に、歯と歯ぐきの検診、歯みがき指導等を実施しました。

歯科検診、保健指導等の実施状況

開催回数	受診者数		
	初診	再診	合計
1	6		6

(5) 歯の健康づくり事業

全身の健康の視点からの歯や口の健康づくりについて総合的に推進するため、歯間清掃用具の活用促進、歯周疾患予防推進を図りました。

対 象	開催回数	参加者数
二宮町1歳児歯科相談参加者（保護者）	5	138
大磯町4か月児健診参加者（保護者）	5	137
特定給食施設等講習会・地域活動栄養士研修会参加者	1	125
合 計	11	400

(6) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

ア 訪問状況

実人数	訪 問 者 数						従事者数（延人数）	
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合 計	歯科医師	歯科衛生士 訪問歯科衛生士
7	11	1		1	1	14	11	14 -

イ 疾患別状況

区 分	慢性疾患児	特定疾患者	脳血管障害 後遺症者	認知症疾患者	そ の 他	合 計
平塚市	4(4)	1(1)				5(5)
大磯町	1(1)					1(1)
二宮町		1(1)				1(1)
合 計	5(5)	2(2)	0	0	0	7(7)

()外は実人数、()内は延訪問回数

(7) フッ化物洗口普及啓発事業

4歳以上の未就学児を主な対象として、かかりつけ歯科医での定期歯科検診と指導、かかりつけ薬局での薬剤の購入を併せた、地域での「家庭内フッ化物洗口」の普及啓発を実施しました。

ア 情報提供

区 分	回 数	参加者数
保育所、幼稚園保護者説明会	7	186
歯の衛生週間行事	2	35
合 計	9	221

イ 連携調整

月 日	会 議 名
3月14日	歯及び口腔の健康づくり推進委員会（再掲）

(8) 人材育成

地域で歯科保健を担っていく人材の育成を行いました。

ア 在宅歯科衛生士研修

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
12月 3日	口の機能を育てるために - 指導力・表現力のスキルアップを目指す -	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 地域・福祉口腔衛生学分 野教授 白田 千代子	平塚・秦野保健福祉事務所管内の在宅歯科衛生士等	平塚保健福祉事務所	52

イ 8020運動推進員育成研修

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
11月14日	<ul style="list-style-type: none"> 「楽しく元気に健口体操」 先輩8020運動推進員の活動報告 グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動指導士 原 眞奈実 8020運動推進員 1期生 	8020運動推進員	平塚保健福祉事務所	17
12月10日	<ul style="list-style-type: none"> 「健口体操の基本を確認」 先輩8020運動推進員の活動報告 今日から使える舌体操の媒体づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士 伊東 裕子 8020運動推進員 1期生 			16

ウ その他

事 業 名	開催回数	延参加者数
管内歯科保健事業従事歯科衛生士連絡会	4	36

(9) その他の事業

事 業 名	対 象	開催回数	検診・保健指導数
歯の衛生週間行事	住民（平塚市）	2	59
中央児童相談所一時保護所歯科健康教育	児童・生徒	1	8
電話相談等			14

5 母子保健

< 保健福祉課 >

慢性疾患児や未熟児で、成長発達等の課題が予測される場合や、療育上の困難が予測される児と保護者を対象に、訪問指導や交流会を実施しました。

また、地域における母子保健事業の円滑な推進を図るため、管内市町との連絡調整を実施するとともに、関係機関で構成する「母子保健委員会」を開催しました。

さらに、児童虐待の予防のために、地域の関係機関と連携体制を構築する「周産期からの児童虐待予防事業」を実施しました。

(1) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び市町が実施する母子保健事業及び児童福祉事業の課題や実績の評価を行い、関係機関との連絡調整を図る目的で母子保健委員会を開催しました。

月 日	内 容	会 場	出席者数
2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近の母子保健事業の状況について ・ 未熟児訪問指導事業 ・ 小児医療援護事務の市町村移譲について ・ 周産期からの児童虐待予防事業についての各機関の取り組みについて 	平塚保健福祉事務所	32

(2) 周産期からの児童虐待予防事業

児童虐待を予防するため、育児不安や精神疾患を抱える妊産婦に対し、周産期医療機関、市町、児童相談所及び当所が連携し、周産期から地域全体で児童虐待予防に対する取り組みを推進するために行いました。

ア 事例検討及び講演会

月 日	内 容	会 場	出席者数
7月27日	「関わりの困難な事例への支援方法について ～特定妊婦への各機関の関わり方～」 助言者・講師 日本子ども家庭総合研究所 子ども家庭福祉研究部長 山本 恒雄	平塚保健福祉事務所	25
11月 5日	「関わりの困難な事例への支援方法について ～特定妊婦への支援の課題～」 助言者・講師 日本子ども家庭総合研究所 子ども家庭福祉研究部長 山本 恒雄		25

イ 研修会

月 日	内 容	会 場	出席者数
7月18日	児童虐待防止研修会（平塚市民病院と共催） 1 講演 「児童虐待の基本的考え方と医療機関に期待すること」 中央児童相談所 子ども支援課 2 情報提供 「地域の医療機関の虐待対応の現状」 中央児童相談所 子ども支援課 「周産期からの児童虐待予防について」 平塚保健福祉事務所 保健福祉課 3 市民病院からのお知らせ 平塚市民病院児童虐待防止対策委員会	平塚市民病院	39
1月21日	「産後うつを理解と支援について ～エンジンバラ産後うつ自己評価票（EPDS）の活用方法～」 講師 北里大学看護学部発達看護学 准教授 新井 陽子	平塚保健福祉事務所	39

(3) 思春期保健事業（個別相談）

思春期における心身の成長発達に関する問題等に対処するため、個別相談を行いました。

ア 相談事業

区分	人数	相談方法			相談者(延)				相談内容(延)								事後指導(延)								
		電話	面接	計	本人	父母	その他	計	身体	性	妊娠	結婚	病	友	家	学	その他	計	助言指導	面接継続	継続	他機関紹介	受診勧奨	その他	計
男	1	1	1	1	1			1		1								1	1						1
女	2	2	2	2		1	1	2	2				1					3	1			2			3
合計	3	3	0	3	1	1	1	3	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4	2	0	0	2	0	0	4

イ 健康教育

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期のからだの特徴について知る。 ・ 成長期の骨の特徴や応急処置の方法について。 	当所保健師	大磯町立国府小・中学校	27

(4) 生涯を通じた女性の健康相談事業

思春期から更年期に至る女性はその健康状態に応じて的確に自己管理ができるように、個別相談を行いました。

一般相談

相談方法			相談回数		相談者	
電話	面接	その他	1回	2回以上	本人	その他
5	1		5	1	6	

区分 年代	相談内容(延)										事後指導(延)							
	妊 娠	避 妊	不 妊	性	メン タル ケア	婦 人 科 疾 患	更 年 期	泌 尿 器	そ の 他	計	助 言	専 門 相 談	電 話 継 続	訪 問 継 続	他 機 関 紹 介	医 療 機 関 紹 介	そ の 他	計
10歳代	1									1	1							1
20歳代	1					1			1	3	1					2		3
30歳代																		0
40歳代																		0
50歳代							2			2					1	1		2
60歳以上																		0
合計	2	0	0	0	0	1	2	0	1	6	2	0	0	0	1	3	0	6

(5) 未熟児訪問指導

市町や医療機関から連絡のあった未熟児に保健師が保健指導を行いました。平塚市の未熟児訪問指導については平成18年から権限委譲しており、大磯町については出生時体重が2,200g未満の児に対して、二宮町については出生時体重が2,500g未満の児に対して訪問指導を実施しました。

ア 把握状況

区分	1,000g未満			1,000～1,499g			1,500～1,999g			2,000～2,499g			2,500g以上の 養育医療			合計		
	市町 からの 連絡	医療 機関 からの 連絡	その他	市町 からの 連絡	医療 機関 からの 連絡	その他												
件数	3	2	2			2		1	2	2	11	11						
合計	7			2			3			24						36		

イ 訪問指導

区分	1,000g 未満		1,000～ 1,499g		1,500～ 1,999g		2,000～ 2,499g		2,500g以上 の養育医療		合計
	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	
人数	9	31	4	7	4	10	13	7			85 (新30、旧55)

新：初回訪問（実人数）

旧：2回目以降の訪問（延人数）

(6) 養育支援事業

養育上の課題を持つ児及び保護者を対象に、児の健やかな発育・発達を促進させ、併せて養育環境を整えることを目的に実施しました。

ア 訪問指導

実人数	延人数
77	210

イ 保健指導教室等

区分	月日	内容	講師	対象	参加者数
ダウン症のお子さん と保護者のつどい	7月13日	講演会 「ダウン症のお子さん のためのペアレント トレーニング」	湘南養護学校支援部支援部長 高田 君恵	ダウン症 児とその 保護者	19
	9月18日	講演会 「どうする？就労に 向けてのお話」	湘南養護学校支援部 進路支援担当 青木 伸一		24
口唇口蓋裂のお子さん と保護者の交流会	6月12日	講演会 「口唇口蓋裂のお子さん のための治療の最新 情報」	東海大学医学部附属病院形成 外科准教授 医師 赤松 正	口唇口蓋 裂のお子 さんと保 護者	9
	11月 9日	講演会 「口唇口蓋裂のお子さん のための耳のお話」	東海大学医学部附属病院形 成外科非常勤講師・あつぎ 耳鼻咽喉科クリニック院長 遠藤 智栄子		8
	1月17日	情報交換会 「先輩ママのお話を 聞いてみませんか」	口唇口蓋裂児の保護者		18
小児医療的 ケア交流会	6月26日	ママのためのリフレッ シュビューティーアップ セミナー	資生堂ビューティーコン サルタント	医療的ケ アを必要 とする小 児とその 保護者	11
	9月 6日	ママのためのリフレッ シュ体操	運動指導員 橋高 靖子	1	
	10月31日	先輩パパのお話を 聞いてみませんか？	医療的ケアが必要な小児 の保護者	8	

(7) 小児医療援護

ア 自立支援医療（育成医療）給付

区分	肢 体 不 自 由	視 覚 障 害	聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 害	音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 害	心 臓 機 能 障 害	腎 臓 機 能 障 害	小 腸 機 能 障 害	肝 臓 機 能 障 害	そ の 他 内 臓 障 害	免 疫 機 能 障 害	合 計
平塚市	9	1	2	21		1					34
大磯町	1		1	4							6
二宮町											0
合 計	10	1	3	25	0	1	0	0	0	0	40

イ 小児慢性特定疾患医療給付

区分	悪性 新生物	慢性 腎疾患	慢性 呼吸器 疾患	慢性 心疾患	内分泌 疾患	膠原病	糖尿病	先天性 代謝 異常	血友病 等血液 免疫疾 疾	神経・ 筋疾患	慢性 消化器 疾患	合計
平塚市	24	15	7	32	47	10	15	9	5	10	5	179
大磯町	1	1	1	2	8	1			1		1	16
二宮町	2	3	1	3	6				1	1	1	18
合計	27	19	9	37	61	11	15	9	7	11	7	213

ウ 未熟児養育医療給付

区分	1,000g未満	1,000～ 1,499g	1,500～ 1,999g	2,000～ 2,299g	2,300～ 2,499g	2,500g以上	合計
平塚市	6	13	15	7	4		45
大磯町	3	1	2				6
二宮町							0
合計	9	14	17	7	4	0	51

(8) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

区分	申請件数	助成件数
平塚市	246	258
大磯町	19	21
二宮町	10	11
合計	275	290

1回の申請で複数回分の助成を申請する場合がありますため、申請件数と助成件数は異なります。

6 職域保健

< 企画調整課 >

二次保健医療圏域における地域保健と職域保健を担う組織の有機的連携により、壮年期の勤労者の健康を向上させ、生涯を通じた継続的な健康管理を支援することを目的に、平成20年度、「湘南西地区保健医療福祉推進会議」に「地域・職域連携推進専門部会」を設置し、その下にワーキンググループを置きました。

また、ワーキンググループの企画による研修会、事業所等を対象とした健康教育を実施しました。

(1) 地域・職域連携推進専門部会

ア 専門部会

月日	内 容	会 場	出席者数
6月27日	1 湘南西地区保健医療福祉推進会議 地域・職域連携推進専門部会設置要領の改正について 2 平成23年度地域・職域連携推進事業の実施状況について 3 平成24年度地域・職域連携推進事業の実施計画について (1) 平成24年度実施計画案について (2) 生活習慣病対策の取り組みについて (3) 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業の取り組み案 4 地域・職域連携推進事業における最新情報 5 情報交換	平塚保健福祉事務所	11

イ ワーキンググループ

月日	内 容	会 場	出席者数
7月30日	1 湘南西地区保健医療福祉推進会議 地域・職域連携推進専門部会ワーキンググループ運営要領の改正について 2 平成23年度地域・職域連携推進事業実施状況 3 平成24年度地域・職域連携推進事業計画について (1) 平成24年度実施計画について (2) 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業の取り組み案 (3) 今後がん予防・がん検診普及啓発とメンタルヘルス対策をすすめていくにあたって (4) グループワーク	平塚保健福祉事務所	22
2月18日	1 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業について 2 「かながわ健康プラン21(第2次)」素案の推進～地域・職域に期待すること 3 平成25年度地域・職域連携推進事業計画案について (1) 平成24年度実施結果について (2) 平成25年度実施計画案について		23

(2) 研修会

月日	内 容	会 場	参加者数
11月15日	1 講演「睡眠力～働く人の睡眠事情～」 講師 緑蔭診療所 医師 橋口玲子	平塚保健 福祉事務所	26
12月12日	1 講演「職場におけるアルコール問題とその対応」 講師 久里浜医療センター 精神科医師 瀧村 剛 2 講演「働く人の飲酒トラブル、その実態」 講師 平塚警察署 第一課交通総務係 田中 紀恵	平塚保健 福祉事務所	25

(3) 健康教育

ア 神奈川労務安全衛生協会平塚支部地区会における講話

テーマ「働くあなたと家族の健康を守るために知ってほしいこと」

働く従業員と家族のがんを防ぐ～がん検診受診とがんにならないために

働く従業員のメンタルヘルス、家族のメンタルヘルス

月日	講 師	対 象	地区名	会 場	参加者数
6月 4日	当 所 保 健 師・ケース ワーカー	安全衛生担当者 (総括安全衛生 管理者・衛生管 理者・現場の課 長等)	八幡2	八幡工業団地組合会館	13
6月20日			中央・東・南	日産車体(株)	14
6月25日			大磯・二宮	二宮組合会館	5
6月27日			神田1・2	平塚支部教室	22
7月 4日			馬入	共栄工業(株)	6
7月 9日			八幡1	平塚支部教室	11
7月 9日			西1・2	平塚支部教室	10
7月10日			北1・2	第一三共ケミカルファーマ	19

イ 全国労働衛生週間平塚地区促進大会、平塚地区安全衛生大会

月日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月 4日	1 講演「がん検診受けていますか？」 2 健康情報コーナー 1)がんのこと知ってますか? ×クイズ 2)歯周病予防コーナー 3)血圧、体脂肪、スモーカーライザー 測定	当所保健師・栄 養士・歯科医 師・歯科衛生士 など	平 塚 市 中央公民館	255

7 成人・高齢者保健

< 保健福祉課 >

健康増進事業や介護予防事業、特定健診・特定保健指導事業の効果的かつ円滑な推進を図るとともに、継続看護連絡会において、在宅療養者の感染防止対策の地域連携に取り組みました。

(1) 健康増進評価事業

健康増進評価事業として市町の健康増進事業に係るヒアリングを通して情報収集や情報提供し、地域の課題を把握し検討しました。

月 日	内 容	会 場	出 席 者 数	
7月 6日	健康増進事業の自己評価に係るヒアリング	二宮町保健センター	二宮町保険予防課 2	平塚保健福祉事務所 保健福祉課 3 企画調整課 2
7月 9日		大磯町役場	大磯町スポーツ健康課 3	
7月11日		平塚市保健センター	平塚市健康課 健康づくり担当 3 予防担当 1	

(2) 継続看護連絡会

看護が必要な住民に対し、継続的な看護が提供できるよう、医療機関と地域との連携を推進しました。

月 日	内 容	会 場	出席者数
12月21日	1 「これからの新たな看護連携」感染防止対策における地域連携について 2 報告 「要援護者への災害時の対応について各施設の取り組み状況」 3 情報提供 ・精神障害者訪問相談 ・周産期からの児童虐待予防事業 ・地域包括ケア多職種協働推進事業	平塚保健福祉事務所	50

(3) 在宅療養者防災対策推進事業

在宅療養者の防災対策の推進のため、地域の関係機関と連携し、他機関からの依頼による講師派遣を行ないました。

依頼による講師派遣

月 日	対 象	会 場	名 称	参加者数
6月27日	太洋中学校生徒	平塚市立太洋中学校	港地区・太洋中学校災害対応講習会～要援護者の支援を学ぶ～	415

8 認知症疾患対策

< 保健予防課 >

認知症疾患対策として、相談事業、訪問指導事業、地域包括支援センター等の関係者が抱える処遇困難事例の検討会や研修会、健康教育、徘徊高齢者SOSネットワークシステム等の事業を実施しました。

(1) 認知症疾患相談事業

本人、家族、地域包括支援センター職員等からの相談に応じています。

区分	延件数	実件数	相談方法				相談内容(延)						
			電話	面接	訪問	その他	疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院所	福祉サービス	その他
定例相談	44	44		27	17		16	23	15	6	3	2	2
随時相談	145	109	119	25		1	82	76	54	24	22	12	3
合計	189	153	119	52	17	1	98	99	69	30	25	14	5

(2) 認知症疾患訪問指導事業

居住地域の地域包括支援センター職員との同行訪問も多くなっています。

区分	訪問数						年齢別						
	男		女		計		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
	実数	延数	実数	延数	実数	延数							
件数	6	9	19	22	25	31			5	8	8	4	25

(3) 処遇困難事例検討事業

関係機関の職員を対象に事例検討会と研修会を実施しました。また、平塚市において実施された高齢者虐待防止ネットワーク協議会に出席しました。

ア 事例検討会

月日	助言者	参加機関等	会場	参加者数
4月25日	なし	市職員、地域包括支援センター、高齢者施設職員	平塚保健福祉事務所	4
5月9日	なし	施設職員、介護支援専門員、本人、家族	デイサービスさくら	5
5月24日	なし	市職員、地域包括支援センター、高齢者施設職員、本人、家族	高根台ホーム	10
6月21日	認知症相談医師	地域包括支援センター、精神障害者施設職員	包括支援センター	5
7月26日	なし	地域包括支援センター、家族、本人	患者宅	5
8月31日	なし	地域包括支援センター、民生委員、自治会員、家族	患者宅	5
10月15日	なし	医師、看護師	ミサヲクリニック	3
12月10日	なし	医師、看護師、介護支援専門員	ミサヲクリニック	4
2月8日	なし	医師、薬剤師、市職員、地域包括支援センター、民生委員、介護支援専門員	高山医院	9
3月1日	なし		高山医院	6

イ 研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
5月21日	まか不思議な認知症、 その理解のために ～家族の介護体験から～	介護福祉士、認知症ケア専門士 丹波 ともこ	管内高齢 者保健福 祉担当職 員、地域 包括支援 センター 職員、居 宅介護支 援事業所 職員等	平塚保 健福祉 事務所 大会議 室	53
6月25日	認知症患者と民間救急 の利用	全日急患者輸送株式会社 管理部長 高 裕珍 一般社団法人全民急患者搬送 協会会長 野口 良一			33
8月28日	精神障がいの理解と支援	研水会平塚病院 地域医療連携室 堀内 禎晋			41
11月26日	認知症を持つ方と リハビリテーション	大磯幸寿苑 言語聴覚士 堀江 正邦 作業療法士 片切 深央			26
3月 4日	介護従事者に知ってほ しいこと ～若年性認知症の人を 介護する家族から～	「認知症の人と家族の会」 会員 堀場 伸子 神奈川県支部副代表 野川 利枝			52

ウ 高齢者虐待防止ネットワークシステム

月 日	
5月21日	第3期 第2回 平塚市高齢者虐待防止ネットワーク協議会に出席
11月12日	第3期 第3回 平塚市高齢者虐待防止ネットワーク協議会に出席

(4) 健康教育

企業、学校等を対象とした認知症サポーター養成講座を実施しました。

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
7月20日	認知症サポーター養成講座	アサヒサンクリーン在 宅介護センター職員	アサヒサンクリーン 在宅介護センター平 塚	10
10月12日	認知症サポーター養成講座	袖が浜デイサービスセ ンター職員	袖が浜デイサービス センター	15
10月12日	認知症サポーター養成講座	朝日生命保険相互会社 湘南平塚営業所 職員	朝日生命保険相互会 社 湘南平塚営業所	41
2月 4日	認知症サポーター養成講座	助け合い組織「JA湘南 なぎさ」会員など	JA 湘南経済センター	37

(5) 徘徊高齢者SOSネットワークシステム

ア ネットワークの利用状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	管外（広域調整）	合 計
搜索依頼	5	-	-	53	58
身元探索依頼	-	-	-	13	13

イ 事前登録状況（平成24年3月31日現在）

平塚市	大磯町	二宮町	合 計
84	27	7	118

9 メンタルヘルス

< 保健予防課 >

地域住民のニーズに迅速に対応する精神保健福祉相談支援を実現するため、所内体制及び関係各機関との連携を強化し、管内の相談支援体制の向上に努めてきました。

また、一次予防に重点を置いた地域住民向け講演会、健康教育及び企業向け研修会の実施、自殺防止対策として関係機関向け人材育成研修会の実施、訪問支援強化事業として多職種チームで訪問を主体としたチームアプローチを展開し成果を挙げています。精神障害者施策からメンタルヘルス対策の推進まで、幅広い事業展開を図ってきました。

(1) 地域精神保健福祉関係会議

幅広い精神保健福祉関係機関の協力を得て開催しています。精神障害者施策及びメンタルヘルス対策について協議し、関係各機関との連携充実を図っています。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

月 日	内 容	会 場	出席者数
2月 4日	1 平塚保健福祉事務所精神保健福祉事業報告 2 市町精神保健福祉事業報告 3 地域におけるアウトリーチ支援定着に向けて 4 地域における自殺対策事業の取り組み	平塚保健福祉事務所	32

イ その他会議

月 日	名 称	内 容	出席者数
6月29日	平塚・茅ヶ崎合同地域医療福祉連絡会	精神障害者地域移行・地域定着支援について	21
12月13日		精神障害者地域移行・地域定着支援について	21
定例年5回	ケース会議	ケース検討等	27 (助言者を除く)

(2) 精神保健福祉業務統計

ア 相談・訪問、年齢別

区 分		人数	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	不明	
相 談	実人数	把握新	546	1	42	78	153	115	65	85	68	114
		年度新	175									
	再人数	1,767	0	118	130	400	401	267	253	154	44	
	延人数	2,488	1	160	208	553	516	332	338	222	158	
訪 問	実人数	把握新	86	-	7	11	25	35	23	29	23	3
		年度新	70									
	再人数	371	-	17	20	80	86	75	55	35	3	
	延人数	527	-	24	31	105	121	98	84	58	6	

把握新：保健福祉事務所に初めて相談があった者 年度新：過去に相談があり、今年度に入って初回の相談 再：今年度2回目以降の相談

イ 相談種別、問題群

区分	相談種別					特定の問題群（複数選択有）													
	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	その他	合計	ひきこもり	性格上の問題	こども虐待	家庭内暴力	D V	高齢者虐待	食生活上の問題	障害者虐待	P T S D	ア デ イ ク シ ョ ン	近 隣 苦 情	自 殺 関 連	該 当 な し	合 計
相談	1163	756	44	525	2488	20	73	117	74	46	30	18	85	0	258	239	5	1715	2,680
訪問	298	131	26	72	527	35	22	47	16	19	8	0	24	0	56	82	5	293	607

ウ 診断名別

区分	器質性精神障害	飲酒による精神行動の障害	覚醒剤等の薬物	統合失調症	気分障害	神経症性障害	生理的障害等	成人の人格・行動障害	心理的発達障害	小児・青年期の障害	精神遅滞	てんかん	診断保留	異常と認めず	不明・未受診	合計
相談	16	35	12	176	114	53	6	16	11	5	10	4	1	4	258	721
訪問	12	7	4	53	9	14	2	2	4	2	4	1	6	2	40	162

(3) 普及啓発

ア 講演会

月日	名称	内 容	講 師	参加者数
9月29日	精神保健福祉普及啓発講演会(平塚市、大磯町、二宮町と合同開催)	「現代を生き抜く知恵講座」～メンタルトレーニングのすすめ～	イプラス脳力開発トレーニング協会 須江 祐子	21
11月30日	かながわ自殺対策講演会・シンポジウム	「いのちをみつめて」～伝えたい「大丈夫」のコトバ～	聖路加国際病院 細谷 亮太	198

かながわ自殺対策講演会・シンポジウムは、主催精神保健福祉センター、共催平塚市、大磯町、二宮町、平塚保健福祉事務所で実施

イ 研修会

月日	名称	内 容	講 師	参加者数
12月15日	働く人のメンタルヘルス研修会	「睡眠力」～働く人の睡眠事情～	久里浜医療センター 精神科医 瀧村 剛	26
3月14日		「職場におけるアルコール問題とその対応」	平塚警察署 田中 紀恵	25
1月 8日	精神障害のある方のアウトリーチ支援を考える研修会	「地域における精神保健福祉の実践における連携のあり方」～ひとりひとりの支援と地域づくりの実践論～	NPO法人那須フロンティア 地域生活支援センター ゆずり葉 遠藤 真史	34
11月19日	地域精神保健福祉人材養成研修会	「アルコール依存の相談を受けたらどう対応するか」	国立精神・神経医療研究センター 小林 桜児	48
1月25日		「パーソナリティ障害の対応とメンタルヘルス」	医療法人社団 成仁 成仁病院 春日 武彦	77

ウ 健康教育

月 日	対 象	内 容	講 師	参加人数
6月4日～ 7月10日	神奈川労務安全衛生 協会平塚支部会員	メンタルヘルスの基礎知識 (全8回)	当所職員	131
7月17日	平塚市健康推進員	メンタルヘルスの基礎知識	当所職員	20
7月18日	素心学園職員	メンタルヘルスの基礎知識 ストレスへの具体的対策	当所職員	52
7月24日	平塚十全病院職員	メンタルヘルス研修 アンガーマネジメントについて	当所職員	46
8月28日	平塚市役所職員	精神疾患の基礎知識 ストレス対策	当所職員	68
10月14日	東京神奈川森林管 理署職員	心の健康づくりについて ～ストレス対策～	当所職員	18
10月30日	横浜ゴム女性従業員	メンタルヘルスについて 更年期について	当所職員	106
2月25日	民生委員、サービス事 業所職員	～精神障害を理解して地域生活 を支援する～	当所職員	70
3月 8日	保健師、医療機関職 員	児童相談所との連携による児童 虐待防止プロジェクト研修会	当所職員	40
3月15日	ケアマネジャー	～多機関との連携の在り方を学ぶ 「障害者支援における多機関との 連携について」	当所職員	53

エ セミナー

月 日	名 称	内 容	講 師	参加者数
10月30日	うつ病休職者 家族セミナー 主催：県精神保 健福祉センタ ー、共催：平 塚・秦野保健福 祉事務所	うつ病とは ～病気と治療について～	研水会平塚病院 副院長 上田 竹人	29
11月 7日		職場のメンタルヘルス対 応の実際 ～家族に伝えたいこと～	スタンレー電気(株)秦野製 作所 産業医 池上 和載	
11月14日		復職支援の実際	あつぎ心療クリニック 作業療法士 有賀 和哉 神奈川障害者職業センター カウンセラー 四方 宣行	
11月20日		家族はどう接したらいいの？ ～具体的な対応について～	横浜メンタルサービスネット ワーク理事長 鈴木 弘美	

オ FM湘南ナパサでの広報活動

月 日	内 容	講 師
8月 7日	アルコール依存症の予防	当所保健師
9月11日	メンタルヘルスの基礎知識	当所精神保健福祉司

(4) 団体等支援

団体名等	支援内容	支援回数
家族会	定例会出席等	1
断酒会	一般酒害相談研修会	3

(5) 家族支援

区分	月日	内容	講師	参加者数	
精神保健 家族教室	5月19日	統合失調症の理解と対応	精神保健福祉センター 精神保健福祉担当部長 山田 正夫	実39	
		本人が使える制度・サービスの紹介	平塚市障がい福祉課 精神保健福祉士 高橋 宏彰 ほっとステーション平塚 相談支援専門員 大嶋 悦子 ピアサポーター 西山 さくら		
		体験談			
			家族の立場から	湘南あゆみ会世話人代表 谷田川 靖子	
	10月5日	統合失調症の理解について	国府津病院 院長 生田 勝之		
	10月19日	本人が使える制度・サービスの紹介	平塚市障がい福祉課 精神保健福祉士 高橋 宏彰 ほっとステーション平塚 相談支援専門員 大嶋 悦子 ピアサポーター 西山 さくら ピアサポーター 井上 初男	実42 延102	
		体験談			
	11月2日	DVD視聴・家族会によるグループワーク	湘南あゆみ会世話人代表 谷田川 靖子 他世話人2人		
	合計 2コース(4回) 実81 延141				
	うつ病	7月19日	うつ病について	汐入メンタルクリニック 精神科医 後藤 健一	実16 延36
8月2日		うつ病の療養のポイントと家族の対応	汐入メンタルクリニック 臨床心理士 越 晴香		
8月16日		家族の立場から	うつ病家族コミュニティ ふらっと 代表 森 千秋		
合計 1コース(3回) 実16 延36					

主催：平塚保健福祉事務所 共催：平塚市

(6) 入院関係等事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉センター兼務職員として、精神保健診察事務に協力しました。

精神保健福祉法第24条：8件（警察官の通報によるもので、平日の日中対応）

イ 精神科病院実地指導・実地審査（精神保健福祉法第38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

区分	平塚市	合計
施設数	2	2

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査（措置入院・医療保護入院者の精神保健指定医による診察）

施設数	審査結果								
	措置入院			医療保護入院			任意入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2	1	-	-	11	-	-	-	-	-

ウ その他事務（経由事務）

区分	入院届	退院届	定期病状報告	合計
件数	741	567	280	1,588

(7) その他の事業・取り組み

内 容	回 数	協力職員延数
関係機関から依頼のケース会議出席		71
心神喪失者等医療観察法ケア会議出席	3	3
精神障害者地域移行・地域定着支援 個別支援(利用決定、ケア会議)	1	1

(8) 地域自殺対策緊急強化基金事業

ア 訪問支援強化事業（地域自殺対策対面型相談支援事業）

- ・アウトリーチ支援を今後具体的に実施していくための基礎資料とするため、平成23年度に「精神障害者アウトリーチ支援に係る調査事業」を実施し、4例のケースについて多職種チームによるアウトリーチ支援をモデル的に実施し、地域の実態に即した効果的な支援方法の検証を行ってきました。
- ・平成24年度は、訪問支援強化事業として非常勤職員（臨床心理士1名・看護師1名・精神科医師1名）を雇用し、当所常勤福祉職及び保健師、地域関係機関と連携を図りながら、多職種チーム支援を展開しました。

(ア) 訪問支援強化事業の実績

（平成25年3月31日現在）

支援対象者数	59名（男性24名、女性35名）
対象年齢	13歳～81歳
平均年齢	43.6歳
支援終了者	36名
訪問支援回数	225回
面接支援回数	58回
電話支援回数	488回（他機関への連絡含む）

- ・10代から80代まで幅広い年代を対象とし、統合失調症（疑い含む）が約半数でした。状態像ではひきこもり、近隣苦情が多く、不登校、ギャンブル依存、摂食障害、虐待等さまざまな困難を抱えている方を対象としました。

(イ) 訪問支援強化事業の効果

- ・ 59 事例にアウトリーチの手法を用いて、多職種チームとして各職種の強みを生かし、さまざまな困難を抱えた方により積極的な訪問支援ができました。
- ・ うち 15 事例は医療や障害福祉サービスにつながりました。3 事例は進学や就職準備など次のステップに進み、その他特に医療や障害福祉サービスにつながらなくても安定した生活が送れるようになり終結となった方もいました。
- ・ 直接支援が困難な方は見守りや家族支援を行い、家族の力のアップにつながりました。
- ・ 事例の中には単身でのひきこもり生活からサポートによって高校受験し、合格した 10 代の方や、近隣苦情で地域から孤立していた 50 代の方は集中した訪問によって環境を整え、医療サービスにつながり安定した生活を送ることができるようになりました。
- ・ 生活の場に直接出向くことで、本人、家族、関係機関の生の声をもとに時間をかけて支援を組み立て、支援していくことができました。
- ・ 地域の関係機関との連携ではスーパーバイズによって支援力が向上したという評価がありました。
- ・ 依頼機関との連携から共通理解が深まり、お互いの支援力をアップさせることができました。

イ 地域自殺対策人材養成研修事業

(ア) 研修会

月 日	内 容	対 象	講 師	参加者数
10月9日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	理容所営業者	当所職員、平塚市くらし安全課職員	244
11月28日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	神奈川労務安全衛生協会平塚支部会員	当所職員	13
12月17日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	田中貴金属社員	当所職員	28
2月19日			当所職員	18
12月21日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	相談支援事業所職員等	当所職員、平塚市くらし安全課職員	30
1月17日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	湘南平塚看護専門学校生	当所職員	6
2月22日			当所職員	5
2月13日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	サンレジデンス湘南職員	当所職員	17
2月20日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	大磯町住民	当所職員	23
3月14日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	高根台居宅介護支援事業所	当所職員	4
11月15日	講演「睡眠力 ～働く人の睡眠事情～」	管内企業人事担当者等	緑陰診療所 橋口 玲子	26
11月19日	講演「アルコール依存の相談を受けたら、どう対応するか」	相談支援事業者職員等	国立精神・神経医療センター 医師 小林 桜児	48
12月15日	講演「職場におけるアルコール問題とその対応～メンタルヘルス不調の早期発見は職場から～」	管内企業人事担当者等	国立病院機構 久里浜医療センター 医師 瀧村 剛	26
1月25日	講演「パーソナリティ障害の対応と援助者のメンタルヘルス」	相談支援事業所職員等	医療法人社団 成仁 成仁病院 春日 武彦	77

ウ 地域自殺対策普及啓発事業

(ア) キャンペーン

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
9月10日	予防啓発グッズと冊子の配布	県民	平塚駅頭	1,000
9月29日		自殺対策講演会・シンポジウム参加者	大磯町海の見えるホール	200
11月11日		二宮ふるさと祭り参加者	二宮町ラディアン	400

10 エイズ対策

< 保健予防課 >

全国でのHIV感染者やエイズ患者が増加の一途をたどる中、神奈川県においても同様に増加しています。HIV感染者は、限られた感染経路しか持たないことから、適切な予防教育によって感染拡大を防止することが可能です。感染拡大防止のためのエイズ相談、検査体制の充実、並びに関係機関との連携を強化した青少年層への性感染症を含めた予防教育、感染者・患者の人権を尊重し偏見・差別のない地域支援を一層推進します。

(1) エイズ対策推進会議

月 日	内 容	会 場	出席団体 出席者数
9月20日	1 情報提供 ア HIV感染者・AIDS患者の発生状況と神奈川県の取組みについて イ 平成23年度平塚保健福祉事務所エイズ対策事業実施報告及び平成24年度実施計画について ウ 平塚保健福祉事務所におけるHIV即日検査 2 意見交換 ア 各機関でのエイズ予防活動の紹介 助言者 汐見台病院産科副科長 医師 早乙女 智子	平塚保健福祉事務所	17団体 20名

(2) エイズ相談・検査実施状況

ア 年度別エイズ相談・検査実施状況

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
相 談	1,195	958	776	1,252	1,299
検 査	465	409	333	321	345

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

区分	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不 明	合 計
男	4	90	88	36	23	8	1	250
女	5	49	28	6	7	0	0	95
合計	9	139	116	42	30	8	1	345

(3) エイズ予防普及事業

ア エイズ予防講演会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
9月20日	講演「性の危機管理」	神奈川県汐見台病院 産科副科長 医師 早乙女 智子	管内小中高等学校 教諭・養護教諭等	平塚保健福祉事務所	28

イ 児童相談所との連携による性感染症予防講演会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
10月 5日	各施設の取組み報告 講演「児童養護施設における性の問題への対応～日常的にできること～」	県立武山養護学校 環境安全部長 総括教諭 麻薙 幹彦	エリザベス・サングースホーム、心泉学園、おおいそ学園職員	エリザベス・サングースホーム	51

ウ 養護学校へのエイズ予防を含む健康教育

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
2月13日	性感染症と予防について	当所保健師	知的障害者部門高等部学生	平塚養護学校	13

エ 学校における講演会

青少年を対象に、エイズ・性感染症予防についての知識の普及を図るため、中学校13校、高等学校4校、小中分校1校で講演会を実施しました。

	月 日	内 容	講 師	学 校 名	参加者数
1	6月25日	エイズ・性 感染症予防	当所医師	平塚市神明中学校	169
2	7月10日		a tulip W.S.C 出張専門助産師 張ヶ谷智子	県立平塚湘風高等学校	205
3	7月11日		当所保健師	県立平塚農業高等学校	205
4	7月13日		当所保健師	平塚市金旭中学校	221
5	11月1日		当所保健師	二宮町二宮中学校	150
6	11月7日		当所医師	神奈川県立大磯高等学校	276
7	11月12日		a tulip W.S.C 出張専門助産師 張ヶ谷智子	神奈川県立大原高等学校	150
8	12月11日		a tulip W.S.C 出張専門助産師 張ヶ谷智子	二宮町立二宮西中学校	113
9	2月12日		a tulip W.S.C 出張専門助産師 張ヶ谷智子	大磯町立国府中学校生沢 分校	24
10	2月20日		当所医師	平塚市旭陵中学校	123
11	2月20日		当所保健師	平塚市立金目中学校	96
12	2月21日		当所保健師	平塚市立神田中学校	176
13	2月21日		a tulip W.S.C 出張専門助産師 張ヶ谷智子	平塚市浜岳中学校	248
14	2月26日		当所保健師	平塚市立土沢中学校	43
15	2月27日		当所保健師	大磯町立大磯中学校	150
16	3月 1日		当所保健師	平塚市立春日野中学校	115
17	3月 4日		当所保健師	平塚市立大住中学校	116
18	3月 5日		当所保健師	平塚市立山城中学校	190
合 計					2,770

オ キャンペーン活動

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
4月～3月	エイズ関連のパネル・ 予防啓発グッズの設 置と冊子の配布	県民	平塚保健福祉事務所	3,000
4月		神奈川大学学生・職員	神奈川大学平塚 キャンパス	1,500
		東海大学学生・職員	東海大学湘南校舎	5,000
11月19日 ～11月29日		県民	平塚合同庁舎	1,500

11 結核予防

< 保健予防課 >

結核は、平成19年4月1日に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の二類感染症になりました。これにより、医療機関から患者発生届が直ちに提出され、積極的疫学調査等速やかな対応が可能になりました。当所では、結核予防の普及啓発、関係医療機関との連携により、治療中断者を早期に把握するため服薬支援事業を実施し、また、患者家族や接触者の発病予防に取り組みました。

(1) 診査協議会の開催

感染症診査協議会の開催 (平成24年4月1日から平成25年3月31日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第24条に基づく診査件数

区 分	20条	37条の2							
		小計	被用者保険		国民保険		後期 高齢	生活 保護	その他
			本人	家族	一般	退職			
入院勧告件数	20	-	-	-	-	-	-	-	-
入院延長件数	57	-	-	-	-	-	-	-	-
医療費公費負担 申請件数	77	125	26	7	42	1	32	16	1
承認件数	77	124	25	7	42	1	32	16	1
不承認件数	0	1	1	0	0	0	0	0	0
保留件数	0	4	1	1	1	0	0	1	0

(2) 結核患者の登録管理状況

ア 登録患者数

(ア) 年末現在登録患者数 (平成24年12月31日現在)

区 分	総 数	活 動 性 肺 結 核	活 動 性 肺 外 結 核	不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	潜 在 性 結 核 (別掲)
平成22年	122	35	7	56	24	9
平成23年	134	28	11	95	0	34
平成24年	122	34	11	77	0	65
受 療 別	入 院	2	2			
	在 宅 医 療	43	32	11		25
	経 過 観 察	77			77	40
	不 明	0				
市 町 別	平 塚 市	110	32	10	68	63
	大 磯 町	9	1	1	7	1
	二 宮 町	3	1		2	1
年 齢 別	0 ~ 4 歳					5
	5 ~ 9 歳					3
	10 ~ 14 歳					2
	15 ~ 19 歳	2			2	1
	20 ~ 29 歳	11	2	2	7	8
	30 ~ 39 歳	14	5		9	9
	40 ~ 49 歳	16		4	12	14
	50 ~ 59 歳	8	2		6	7
	60 ~ 69 歳	26	8	3	15	8
	70 ~ 79 歳	22	12	1	9	4
80 歳 ~	23	5	1	17	4	

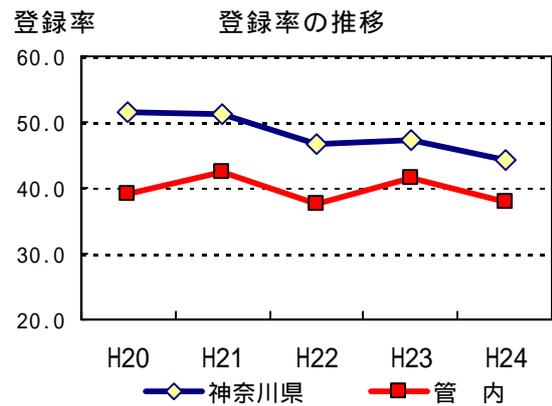
イ 新登録患者数

(平成24年1月1日～12月31日)

区 分	総 数	活 動 性 肺 結 核	活動性肺結核(内訳)		活 動 性 肺 外 結 核	潜 在 性 結 核 (別 掲)	
			喀痰塗沫 陽 性	その他結 核菌陽性			
平成22年	54	43	-	-	11	11	
平成23年	53	40	-	-	13	27	
平成24年	54	41	18	23	13	33	
年 齢 別	0～4歳					1	
	5～9歳					2	
	10～14歳						
	15～19歳						
	20～29歳	5	4		4	1	2
	30～39歳	3	3	1	2		3
	40～49歳	6	2	2		4	8
	50～59歳	2	2	2			4
	60～69歳	15	10	6	4	5	7
	70～79歳	13	11	5	6	2	5
80歳～	10	9	2	7	1	1	

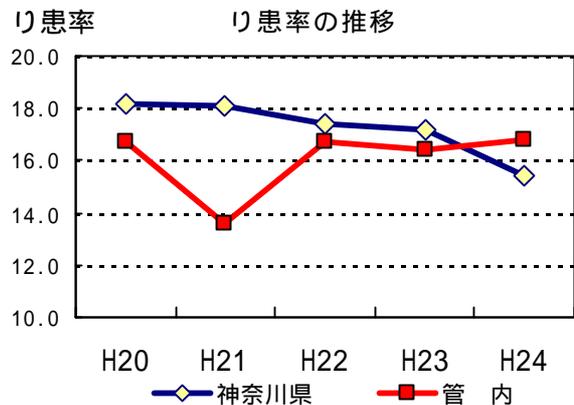
ウ 結核登録率の推移

区分 年	神奈川県		管 内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
平成20年	4,602	51.4	133	39.0
平成21年	4,602	51.1	137	42.4
平成22年	4,236	46.8	122	37.7
平成23年	4,275	47.2	134	41.5
平成24年	4,008	44.2	122	37.9



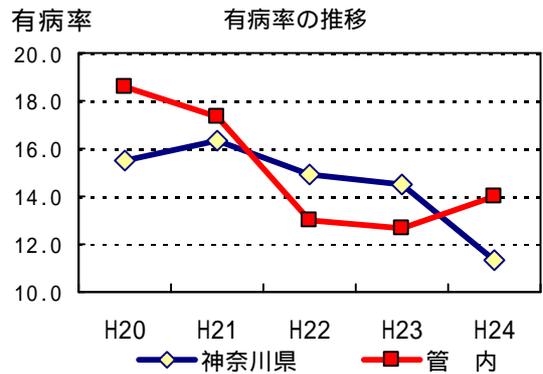
エ 結核り患率の推移(対10万人)

区分 年	神奈川県		管 内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
平成20年	1,629	18.3	54	16.7
平成21年	1,633	18.3	44	13.6
平成22年	1,577	17.4	54	16.7
平成23年	1,561	17.2	53	16.4
平成24年	1,395	15.4	54	16.8



オ 活動性結核有病率（平成24年12月末現在）

区分 年	神奈川県		管内	
	患者数	有病率	患者数	有病率
平成20年	1,386	15.5	60	18.6
平成21年	1,470	16.3	56	17.3
平成22年	1,350	14.9	42	13.0
平成23年	1,310	14.5	41	12.7
平成24年	1,022	11.3	45	14.0



患者登録数の平成20～24年は、県保健福祉部健康危機管理課「結核登録者の状況」
有病率算出の人口は、県企画部統計課「神奈川県人口統計調査報告(1月1日現在)」

カ 平均有病期間（年）

区分	神奈川県	管内
平成20年	0.85	1.11
平成21年	0.90	1.27
平成22年	0.86	0.78
平成23年	0.84	0.77
平成24年	0.73	0.77

平均有病期間 = 有病率 / リ患率

(3) 健康診断

ア 接触者健診・管理健診

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区分	受診者数(延べ)			受診結果			
	保健所	医療機関	合計	要医療	発病の恐れ	異常なし	患者発見率
接触者健診	356	0	356	2	50	300	0.6%
管理健診	1	0	1	0	0	1	0%

イ 検査実施状況

区分		エックス線(直接撮影)				QFT検査			
		平成24年度		平成23年度		平成24年度		平成23年度	
		人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
接触者検診	患者家族	66	66	83	83	29	34	41	44
	接触者	70	70	85	85	170	182	91	94
管理健診		1	1	2	2	-	-	-	-
合計		137	137	170	170	199	216	132	138

(4) 保健指導

ア 保健指導状況

適切な治療の確保、医療中断の防止、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導(延人数)			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
32	149	888	465	111	1,464

イ 結核定期病状管理促進事業

結核患者や経過観察中の患者等で、病状把握が困難な患者に対して、医療機関に病状報告を依頼し、再発予防、二次感染の防止等の患者管理を実施しました。

実施医療機関数	調査件数
9	32

ウ 結核治療中断・継続困難者早期把握調査

治療中断等を早期に把握するため、感染症予防法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）による医療費公費負担を受給している患者の受診状況を調査し、治療継続困難者への保健指導により、受診を勧奨しました。

実施医療機関数	調査件数	実人員	未受診者	中断者
9	120	47	-	1

(5) 研修

ア 結核医療従事者研修

月日	内容	講師	会場	参加者数
12月6日	外来診療における結核患者防衛 ～結核菌を持ち込まない・広げない・職員を守る～	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院 呼吸器科 診療部長 吉村 信行	秦野保健 福祉事務所	63

* 茅ヶ崎、秦野保健福祉事務所と合同開催。

イ 結核集団感染事例にともなう検討会・講演会

月日	対象	内容	講師	会場	参加者数
8月22日	関係者	・事例検討 ・講演 ～医療機関・高齢者施設等における集団感染事例への対応～	結核予防会結核研究所 副所長 加藤 誠也	平塚保 健福祉 事務所	32
2月27日	関係者	・事例報告(保健福祉事務所、医療機関、衛生研究所) ・助言	結核予防会結核研究所 副所長 加藤 誠也		35

ウ 施設等での普及啓発活動

月日	対象	内容	講師	会場	参加者数
6月18日	医療機関職員	長引く咳はイエロ ーカード、結核ミ ニ講座	当所医師、 保健師	対象医療施設	127
7月2日				事業所内	5
7月4日	事業所管理者と職員			老人保健施設	60
10月30日	老人保健施設職員			対象施設	21
3月11日	介護ホーム職員				
3月25日					

12 感染症予防

< 保健予防課 >

平成10年に「伝染病予防法」に替わり「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が制定され、平成11年4月1日から施行された。さらに平成19年3月には、「結核予防法」が統合され、平成20年には新型インフルエンザ対策の整備等に関する改正が行なわれた。

当所では、感染症の届出や集団発生時に、積極的疫学調査、保健指導等を実施し、感染症のまん延防止に努めた。また、感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、感染症の発生状況を収集し、県・国に報告するとともに、管内医療機関等に情報提供している。

(1) 感染症の届出状況と積極的疫学調査

(平成24年1月1日～12月31日)

類別	届出件数	疾患名	疫学調査数	検査依頼数
一類感染症	0			
二類感染症	94	結核・潜在性結核感染症	71	
三類感染症	1	細菌性赤痢	1*	1
四類感染症	1	つつが虫病	1	
	1	類鼻疽	1	1
五類感染症	1	アメーバ赤痢		
	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		
	2	後天性免疫不全症候群		
	1	梅毒		
	4	風疹		
総数	107		74	2

* は政令市、県外に同行調査実施依頼

(2) 同行者・接触者調査数

病名	発生件数	同行者	接触者検便延数	海外渡航先
レジオネラ	1	0	0	なし
レプトスピラ	1	0	0	ラオス

(3) 医療機関からの相談・検査の依頼件数

病名	相談件数	検査件数	検査結果陽性者
つつが虫	1	2	0
デング熱	1	1	0
日本紅斑熱	1	2	0
麻疹	2	2	0

(4) 感染症の集団発生連絡にともなう疫学調査・指導等

施設種別	件数	疾患名	発症者数	調査方法	
小 学 校	1	腹痛・下痢	児童17名	相談・保健指導	
グループホーム	2	感染性胃腸炎	入所者1	相談・保健指導	
		ノロウイルス	16人(入居者11、職員5)	立入調査2回実施・検便	
特別養護老人ホーム	9	ノロウイルス	25人(入所者18、職員7)	立入調査実施・検便	
		ノロウイルス	37人(入所者37)	立入調査実施	
		ノロウイルス	1人(入所者1)	聞き取り調査・保健指導	
		ノロウイルス	17人(入所者14、職員3)	聞き取り調査・保健指導	
		ノロウイルス	7人(入所者7)	聞き取り調査・保健指導	
		ノロウイルス	5人(入所者5)	聞き取り調査・保健指導	
		ノロウイルス	38人(入所者28、職員10)	立入り調査・検便	
		ノロウイルス	42人(入所者34、職員8)	聞き取り調査・保健指導	
老人保健施設	1	ノロウイルス	10人(入所者10)	相談・保健指導	
有料老人ホーム	2	ノロウイルス	55人(入所者36、職員19)	立入り調査3回、検便	
		ノロウイルス	18人(入所者16、職員2)	立入り調査・保健指導	
救護施設	1	感染性胃腸炎	34人(入所者31、職員3)	立入り調査・検便実施	
精神科入院施設	1	ノロウイルス	59人(患者56、職員3)	立入り調査実施	
計		感染性胃腸炎等報告施設	17施設	発症者数	405人(入所者等343、職員62)
特別養護老人ホーム	3	インフルエンザ	13人(入所者11、職員2)	聞き取り調査・保健指導	
		インフルエンザ	8人(入所者4、職員4)	聞き取り調査・保健指導	
		インフルエンザ	18人(入所者14、職員4)	聞き取り調査・保健指導	
小規模多機能型居宅介護	1	インフルエンザ	7人(入所者4、職員3)	立入り調査・保健指導	
特定施設入居者生活介護	1	インフルエンザ	15人(入所者12、職員3)	立入り調査・保健指導	
住宅型有料老人ホーム	2	インフルエンザ	8人(入所者8)	聞き取り調査・保健指導	
		インフルエンザ	3人(入居者3)	聞き取り調査・保健指導	
精神科入院施設	1	インフルエンザ	22人(患者12、職員10)	立入り調査実施	
障害児通園施設	1	インフルエンザ	9人(通園者7、職員2)	聞き取り調査・保健指導	
障害者入所施設	1	インフルエンザ	16人(入所者16)	聞き取り調査・保健指導	
計		インフルエンザ報告施設	10施設	発症者数	119人(入所者等91、職員28)

(5) 集団かぜによる学級閉鎖状況

年度	施設区分	報告数	欠席者数	学級閉鎖数	学年閉鎖数	施設閉鎖数
平成21年度		517	6,885	1,151		
平成22年度		142	1,853	184		
平成23年度	総計	189	2,521	231	27	8
	幼稚園	19	298	22	3	7
	小学校	152	1,857	185	14	1
	中学校	16	352	24	7	
	その他	2	14		3	
平成24年度	総計	67	722	67	8	3
	幼稚園	9	126	3	6	2
	小学校	54	541	62	1	0
	中学校	1	36	0	1	0
	その他	3	19	2	0	1

(6) 感染症予測監視状況事業

ア インフルエンザ定点（週報）	11機関
イ 小児科定点（週報）	7機関
ウ 眼科定点（週報）	2機関
エ STD定点（月報）	2機関
オ 基幹定点（週報、月報）	1機関

(7) 保健指導

ア 感染症予防研修会

月日	内容	講師	対象	会場	参加者数
11月2日	施設、在宅サービスで で気をつけたい感染症 の予防と発生時の対応	当所職員、通所 介護、訪問介護 事業所の管理者	介護保険・障害児 者・児童福祉施設の 管理者、看護職員、 介護職員	平塚保健 福祉事務所	66

イ 集団指導実施状況

月日	テーマ	対象	参加者数
6月14日	感染症から身を守るう みんなで取組む感染予防	精神障害者地域活動支援セン ター利用者・職員	15
9月26日	安全にサービスを提供するために ～感染症の基礎知識と予防～	障害児者福祉サービス事業所	30
10月16日	訪問介護における感染症予防	訪問介護・通所介護事業所職 員、居宅介護支援員等	26
12月19日	感染予防と手洗い指導	有料老人ホーム	67

ウ 個別指導

訪問	面接	電話	文書・メール	計
214	55	737	0	1,006

(8) 不活化ポリオワクチン接種事業

生ポリオワクチンの副作用に対する不安からの接種控えに対応するため、平成23年12月より厚生労働省が不活化ポリオワクチンを導入するまでの間、神奈川県と独立行政法人県立病院機構との協働事業として、不活化ポリオワクチン接種事業を行いました。

当所では、平成24年1月から平成24年8月まで22回実施しました。

	回数	予約 人数	来所 人数	接種 人数	中止	予約者の内訳			
						計	管内	県域	政令市等
23年度	7回	197	163	162	1	197	45	59	93
24年度	15回	497	399	393	6	497	219	124	154
合計	22回	694	562	555	7	694	264	183	247

13 難治性疾患対策

< 保健予防課 >

特定疾患患者に対し医療給付を行うとともに、患者・家族のQOL向上のための講演会やつどいを開催しました。また、関係機関との連携により適切な在宅療養支援の推進を図るため、会議や従事者研修会等を開催しました。

(1) 特定疾患医療援護

特定疾患医療受給者証交付状況

(平成25年3月31日現在)

番号	区 分	平塚市			大磯町			二宮町			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	ベーチェット病	15	27	42	1	5	6	1	2	3	17	34	51
2	多発性硬化症	10	15	25		3	3		2	2	10	20	30
3	重症筋無力症	21	15	36	2	2	4	5	2	7	28	19	47
4	全身性エリテマトーデス(SLE)	17	110	127	1	14	15	1	12	13	19	136	155
5	スモン	1	3	4					1	1	1	4	5
6	再生不良性貧血	7	4	11	1	1	2		3	3	8	8	16
7	サルコイドーシス	8	18	26	2	2	4	1		1	11	20	31
8	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	6	8	14	1		1	3	1	4	10	9	19
9	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	10	74	84	1	9	10	4	7	11	15	90	105
10	特発性血小板減少性紫斑病	14	30	44		4	4	1	4	5	15	38	53
11	結節性動脈周囲炎	8	9	17	2	2	4				10	11	21
12	潰瘍性大腸炎	166	148	314	27	20	47	17	13	30	210	181	391
13	大動脈炎症候群(高安動脈炎)	3	10	13		2	2		3	3	3	15	18
14	ビュルガー病(バージャー病)	9	2	11				2		2	11	2	13
15	天疱瘡	4	7	11	2	1	3				6	8	14
16	脊髄小脳変性症	37	34	71	1	5	6	3	1	4	41	40	81
17	クローン病	61	17	78	10	2	12	5	3	8	76	22	98
18	難治性肝炎のうち劇症		1	1								1	1
19	悪性関節リウマチ	5	11	16		2	2		1	1	5	14	19
20	パーキンソン病関連疾患	78	106	184	13	21	34	11	24	35	102	151	253
21	アミロイドーシス		2	2	1		1		1	1	1	3	4
22	後縦靭帯骨化症(OPLL)	50	15	65	10	1	11	8	3	11	68	19	87
23	ハンチントン病	1	2	3							1	2	3
24	モヤモヤ病	7	27	34	1	3	4	1	1	2	9	31	40
25	ウェゲナー肉芽腫症	2	1	3		1	1				2	2	4
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	29	6	35	2	2	4	4		4	35	8	43
27	多系統萎縮症	12	13	25	1		1		2	2	13	15	28
29	膿疱性乾癬	1	1	2							1	1	2
30	広範脊柱管狭窄症	4	5	9		1	1	1	1	2	5	7	12
31	原発性胆汁性肝硬変	7	45	52		4	4	1	5	6	8	54	62
32	重症急性膵炎	2		2							2		2
33	特発性大腿骨頭壊死症	30	9	39	1	2	3	2	1	3	33	12	45
34	混合性結合組織病	1	16	17		4	4		4	4	1	24	25
36	特発性間質性肺炎	10	7	17	2	1	3	2	2	4	14	10	24
37	網膜色素変性症	22	32	54	6	7	13	4	2	6	32	41	73
38	プリオン病								1	1		1	1
39	肺動脈性肺高血圧症	2	2	4							2	2	4
40	神経繊維腫症(型・型)	4	8	12							4	8	12
42	バット・キアリ症候群		1	1								1	1
43	慢性血栓栓性肺高血圧症	2	2	4					1	1	2	3	5
44	ライソゾーム病(ファブリー病)	2		2							2		2
47	脊髄性萎縮症							1		1	1		1
48	球脊髄性筋萎縮症	1		1							1		1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎		3	3				1		1	1	3	4
50	肥大型心筋症	1		1							1		1
52	ミトコンドリア病	1	3	4		1	1				1	4	5
53	リンパ管筋腫症								1	1		1	1
55	黄色靭帯骨化症	3	3	6							3	3	6
56	間脳下垂体機能障害	12	12	24	1		1	1		1	14	12	26
	計	686	864	1550	89	122	211	80	104	184	855	1090	1945

28表皮水疱症、35原発性免疫不全症候群、41亜急性硬化性全脳炎(SSPE)、45副腎白質ジストロフィー、46家族性高コレステロール血症、51拘束型心筋症、54重症多形滲出性紅斑(急性期)については、受給者はなし

(2) 医療相談等事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、講演会や相談会、つどいの開催、訪問相談事業を行ないました。

ア 特定疾患講演会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
7月6日	後縦靭帯骨化症講演会 「後縦靭帯骨化症の病気の理解と最新の治療」	横浜南共済病院 整形外科部長 医師 近藤 総一	平塚栗原 ホ－ム	51

イ 特定疾患相談会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
7月 6日	後縦靭帯骨化症相談会 講演会と同日開催	横浜南共済病院 整形外科部 長 医師 近藤 総一	平塚栗原 ホ－ム	3
7月23日	全疾患対象 難病講演会 特定疾患医療受給者証 の更新者のうち、希望の あった方対象	雇用保健師	平塚保健 福祉事務所	6
7月24日				6
7月30日				6
8月 8日				6
8月14日				7
8月20日				7

ウ 特定疾患患者と家族のつどい

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
4月24日	療養生活の情報交換 - 日常生活での役立つヒント -	当所保健師	平塚保 健福祉 事務所	13
5月22日	ドレミでリハビリ 音楽を楽しもう	療育音楽指導者 佐藤 喜美子		11
6月26日	パーキンソン病の理解のために - 患者会の人と情報交換しよう -	パーキンソン病友の会 神奈川支部 檜垣 朋子		16
7月24日	絵手紙にチャレンジ - あっという間にステキな絵が -	絵画指導者 宮澤 恭子		9
9月25日	生活に役立つリハビリテーション	大磯幸寿苑 理学療法士 土井 篤		13
10月23日	健康体操 -心もからだもパワーアップ-	スポーツプログラマー 橘高 靖子		11
11月27日	お口から健康アップ - 口腔の衛生管理 -	当所歯科医師・歯科衛生 士		8
12月25日	クリスマス会 - 簡単調理をしよう -	当所管理栄養士		5
2月26日	生活に役立つリハビリテーション	大磯幸寿苑 言語聴覚士 堀江 正邦		14
3月26日	1年間を振り返って	当所保健師		11

エ 訪問相談事業 平成24年度は実績なし。

オ 訪問診療事業 平成24年度は実績なし。

(3) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅療養中の難病患者及び家族の実態に応じた、きめ細やかな支援を行なうため、また、地域における総合的な支援体制の構築のため、関係機関と会議等を開催しました。

ア 委員会（難病委員会を兼ねる）

月 日	内 容	会 場	出席委員数
2月14日	・医療依存度の高い難病患者の在宅療養支援について ・平成25年度からの「障害者総合支援法」施行に伴う市町の取組み ・その他	平塚保健福祉事務所	17

イ 事例検討会

月 日	場 所	病 名	性別	検 討 内 容	出席者数
5月30日	本人宅	筋萎縮性側索硬化症	男性	介護保険更新に伴うサービスの再調整、関係機関相互の情報交換、現状の課題に対する支援策の検討	10
6月 4日	本人宅	筋萎縮性側索硬化症	男性	福祉用具の貸与、住宅改修、訪問リハビリなどのサービス調整について	8
6月13日	本人宅	重症筋無力症 パーキンソン病	男性	担当者変更に伴う、療養状況の確認と支援方針、役割の再確認	6
8月30日	平塚市民病院	筋萎縮性側索硬化症	女性	退院に伴う今後の方向性について	14
9月 7日	本人宅	脊髄小脳変性症	男性	在宅復帰に伴うヘルパー吸引の実施調整、連絡体制、関係機関の役割分担の再確認	9
9月13日	平塚市民病院	筋萎縮性側索硬化症	女性	退院に伴う今後の方向性について	7
10月15日	平塚保健福祉事務所	パーキソ病	女性	障害福祉サービス、介護保険サービスの利用、受診方法について	6
10月15日	サンライフ訪問看護ステーション	筋萎縮性側索硬化症	女性	介護保険更新に伴うサービスの再調整、関係機関相互の情報交換、現状の課題に対する支援策の検討	14
10月25日	平塚市民病院	筋萎縮性側索硬化症	男性	退院に伴う今後の方向性について	8
1月30日	東海大学医学部付属病院	筋萎縮性側索硬化症	男性	退院に伴う療養状況の確認、サービス調整等支援方針の確認	15

(4) 難病患者等ホームヘルパー養成研修事業

難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスの提供に必要な知識、技術を有するホームヘルパーを養成するため、ホームヘルパー養成研修2級課程の修了者又は、履修中の者及び介護福祉士を対象に難病患者等ホームヘルパー養成研修を開催しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月11日	難病に関する基礎知識	鶴巻温泉病院 第4診療部長 小野寺直樹	平塚保健福祉事務所	受講者数 20 修了者数 20
	難病患者の心理および家族の理解	日本ALS協会 神奈川県支部理事 長岡明美		
	難病に関する行政施策	鎌倉保健福祉事務所 保健師		

* 茅ヶ崎、鎌倉、三崎、小田原保健福祉事務所と合同開催。

(5) 難病対策特別推進事業

難病患者等の在宅療養上の適切な支援を行うため、サービス提供事業所職員（ケアマネジャー、看護師、ヘルパー、歯科衛生士等）を対象に、在宅難病患者在宅ケア従事者研修会を開催しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
1月17日	人工呼吸器と周辺機器のしくみ	医療機器供給会社 職員	平塚保健 福祉事務所	43
	難病患者の呼吸管理	湘風クリニック 院長 正山 泰		

(6) 在宅神経難病患者緊急一時入院

医療依存度の高い神経難病患者を対象に、介護者の休養や介護困難時に対応するため、緊急一時入院制度の利用申請受付や状況調査し、利用調整を行いました。

利用者	回数	疾患名	医療機器等	性別	理由	受入病院	期間
1	2回	筋萎縮性側 策硬化症	人工呼吸器、 胃ろう	男性	介護者の休養	鶴巻温泉病院	合計 28日間
2	1回	多発性硬化症	吸引器、胃ろう	男性	介護者の休養	鶴巻温泉病院	10日間
3	1回	パーキンソ ン病	吸引器、胃ろう	女性	社会的理由(介 護者の就労)	湘南厚木病院	11日間
4	1回	パーキンソ ン病	吸引器、胃ろう	男性	介護者の休養	湘南厚木病院	27日間

(7) 家庭訪問・相談

ア 家庭訪問

	神経系	膠原病	消化器系	その他	計
実人数	40	2	2	2	46
延人数	125	2	3	5	135

神経系とその他の疾患が重複している対象者1名

イ 相談

面接	電話	その他	計	主な相談内容（延数）							計
				申請	医療	看護	福祉	歯科	栄養	その他	
1,361	437	13	1,811	1,812	143	153	184	1	14	75	2,382

14 肝臓疾患対策事業

< 保健予防課 >

肝疾患医療給付申請者に対し申請事務を行うとともに、肝炎検査、相談、普及啓発のための講演会を開催しました。

(1) ウイルス肝炎相談会及びC型肝炎、B型肝炎抗原検査実施状況

開設回数：12回

検査件数：3名

C型肝炎抗体検査：3名

B型肝炎抗原検査：3名

随時相談：26件（延数）

(2) 講演会・相談会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
1月28日	C型肝炎について ～最新の治療と日常生活～	国立国際医療研究センター国府台 病院 肝炎・免疫研究センター 肝疾患先端治療室長 村田 一素	平塚保 健福祉 事務所	講演会 61 相談会 5

平塚、茅ヶ崎、秦野保健福祉事務所の共催で実施。

(3) 肝炎治療費助成状況

インターフェロン 新規申請：26件

インターフェロン 2回目申請：3件

インターフェロン 有効期間延長申請：1件

核酸アナログ製剤 新規申請：26件

核酸アナログ製剤 更新申請：88件

3剤併用療法 新規申請：1件

医療費払戻請求：19件

変更届等：12件

15 原爆被爆者援護

< 保健予防課 >

戦後65年以上を経過した中で、被爆者健康手帳の新規申請は減少の一途をたどっていますが、被爆者及びその子どもに対して健康診断を実施するとともに、各種手当等の手続きを実施しました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

(平成25年3月31日現在)

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
被爆者健康手帳	76	27	19	122
第一種健康診断受診者証				
第二種健康診断受診者証	3			3
被爆者の子ども受診者証	90	14	11	115
合 計	169	41	30	240

(2) 被爆者健康診断受診状況

区 分	受 診 状 況				受 診 結 果	
	被爆者	特例受診	被爆者の こ ども	計	要精検者	要治療者
平成20年度				0	-	-
平成21年度				0	-	-
平成22年度	2		1	3	1	-
平成23年度				0	-	-
平成24年度				0	-	-

16 アスベスト（石綿）に関する相談

< 保健予防課 >

アスベスト（石綿）に関する健康不安や救済制度の申請等について、相談を実施しました。

相談取扱件数

相談件数 (延べ)	相談方法				相談内容				対応状況		
	電 話	来 所	メー ル	その他	健康 相談	労災 相談	環境 相談	申請等	申請 受付	他機関 紹介	その他
4	-	4	-	-	-	-	-	4	3	-	1

17 健康保持増進

< 保健福祉課 > < 企画調整課 >

地域住民の健康の保持増進を図るため、健康・体力づくり、禁煙サポート、がん予防、健康教育、生活習慣病予防の各事業を実施しました。

(1) 地域禁煙サポート事業

がんをはじめとする生活習慣病予防対策を推進するため、その大きな原因といわれている喫煙率の低下を目指し、研修会、禁煙教育等を実施しました。

ア 地域禁煙サポート研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
3月 7日	「禁煙指導の為の 動機づけ面接法 ～禁煙する気のない人へのアプローチ」	医療法人社団鵬友会 新中川病院 禁煙外来 医師/臨床 心理士 動機づけ面 接トレーナー 加濃 正人	医師、歯科医師、 薬剤師、保健師、 看護師、商工会、 商工会議所、業種 別組合等経済団体 会員、企業の健康 管理担当者、市町 及び保健福祉事務 所の関係職員	平塚保健 福祉事務所	15

イ 禁煙相談

区 分	実施回数	実施実人数	実施延人数
随時相談	0	0	0

ウ 禁煙支援医療機関に関する情報提供

管内の禁煙支援相談医療機関のリストをホームページにより提供しました。

(2) 高校生への喫煙防止教育

「特別な予算措置を伴わない事業(高校生への喫煙防止教育の実施)」に基づく喫煙防止教育を実施した。

月 日	内 容	講 師	開 催 校	参加 生徒数
5月14日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健予防課(保健師)	希望が丘高等学校	140
7月 9日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健予防課(医師)	商工高等学校	230
9月21日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	小田原保健福祉事務所 保健予防課(医師)	二宮高等学校	280
11月 8日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所企画調整課(保健師)	保土ヶ谷高等学校	320
3月12日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健予防課(保健師)	平塚中等教育学校	170
3月14日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健予防課(医師)	横浜清陵総合学校	240

(3)大磯チャレンジフェスタ2012への出展

大磯町主催の健康事業に出展を行いました。

月 日	イベント 名称	場 所	出展内容	担当課	参加者数
10月14日	大磯チャレンジフェスタ2012	大磯運動公園	薬物乱用防止コーナー	環境衛生課	(配布数) 1,300
			スモーカーライザーによる呼気中一酸化炭素測定会	企画調整課	80

(4) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ地域の企業、事業所への普及啓発としてがん予防やがん検診の重要性について理解を促し、従業員等への受診促進及び市町のがん検診の情報提供を行い、受診率の向上に努めました。

ア 健康教育

(ア) がん検診受診促進事業対象の介護保険指定事業所

月日	事業所名	種別	月日	事業者等名	種別
平成24年 7月10日	やさしい手平塚訪問介護事業所	予・訪問介護	10月30日	特定非営利活動法人 KOKORO 訪問看護ステーション ひかり	予・訪問看護
					居宅支援
7月24日	元気オアシスしのみや	予・通所介護	11月2日	しんど 訪問看護ステーション	予・訪問看護
7月26日	デイサービスセンター みんなの家ながもち	予・通所介護	11月6日	にのみやデイサービス 杉の子	予・通所介護
8月2日	サロンデイ桜ヶ丘	予・通所介護	11月8日	介護老人保健施設 大磯幸寿苑	予・短期療養
8月7日	特定非営利活動法人 ヒューマンライツ ライフビリーフ	予・訪問介護			老健施設
8月9日	デイサービス ぼっかぼか	予・通所介護	11月13日	有料老人ホーム サニーライフ二宮	予・特定施設
8月16日	ケアプラン悠悠苑	居宅支援	11月15日	シニアフォレスト湘南平塚	予・特定施設
8月27日	ハートケア港	居宅支援	11月20日	ケアマネステーション あんしん元気平塚	居宅支援
8月30日	有料老人ホーム サニーライフ湘南	予・特定施設	11月22日	しんど老人保健施設	予・短期療養
9月3日	特別養護老人ホーム ふじの郷	予・短期生活 老福施設			老健施設
9月11日	訪問サポートハナミズキ	予・訪問介護	11月27日	宝命訪問看護ステーション 輝き	予・訪問看護
9月18日	有限会社 シーディーサービス 湘南ホームヘルプセンター	訪問介護	12月4日	デイケアセンター花宿	居宅支援
	居宅介護支援事業所ブルーリボン	居宅支援			予・通所介護
9月20日	サニーライフ平塚御殿 居宅介護支援事業所	居宅支援	12月6日	伸生会デイケアセンター 湘南の街 訪問介護ステーション	予・通所介護
	平塚御殿やわらぎ	予・訪問介護			予・訪問介護
9月25日	サンガーデン湘南	予・特定施設	12月6日	平塚特別養護老人ホーム 平塚養護老人ホーム	居宅支援
9月27日	健やかケアセンター	予・通所介護			予・短期生活
10月2日	ユーマーヘルパーステーション 東戸塚	予・訪問介護	12月20日	湘南の街 通所介護センター グローリーハウス	老福施設
10月9日	優ケアステーション 平塚事業所	予・訪問介護			予・短期生活
10月11日	平塚福祉相談センター	予・通所介護	平成25年 1月17日	こすもす大磯 介護相談 こすもす	特定施設
		居宅支援			予・通所介護
10月16日	居宅介護支援事業所 あおば	居宅支援	1月29日	くらた病院	予・短期療養 医療施設
10月18日	ローズヒル ローズヒルケアセンター	老福施設	2月5日	ニチイケアセンター 湘南神田	予・用具販売
		居宅支援			予・用具貸与
		予・短期生活			予・訪問介護
		予・通所介護			居宅支援
10月23日	デイサービスセンター 福寿ひらつか田村	予・通所介護	2月7日	悠悠倶楽部	予・通所介護
			2月19日	ケアステーションいちご	予・用具貸与

(イ) がん検診受診促進事業対象の企業

月 日	対象企業	内 容	講 師	会 場	参加人数
6月～7月 (8回実施)	神奈川労働安全衛生協会平塚地区会参加企業	「働く従業員と家族のがんを防ぐ～がん検診受診とがんにならないために～」	当所保健師	各地区会会場	100
6月～3日 (10回実施)	新規食品衛生講習会参加事業所	「がん検診受けていますか？」	当所保健師	平塚保健福祉事務所	145
10月31日	横浜ゴム株式会社平塚製造所女性従業員	「がん検診を受けていますか？伝えたいこと！守りたい命！～2つのがんを体験して～」	当所保健師 認定乳がん体験者コーディネーター	横浜ゴム(株)平塚製造所	107

イ イベントにおけるリーフレット等の配布

月 日	対象企業	内 容	会 場	参加人数
9月 3日	全国労働安全衛生週間平塚促進大会及び平塚地区安全衛生大会参加企業	がんパネル展示、クイズ、リーフレットの配布	中央公民館	255

18 受動喫煙防止対策

< 企画調整課 >

県民を受動喫煙による健康への悪影響から守ることを目的に平成22年4月1日に施行された「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について、条例の対象となる店舗に対して戸別訪問を実施し、条例への対応の状況確認を行い、条例で定める基準に適合していない場合は指導を行うなど条例の円滑な運用を図るとともに、条例を広く周知するため、受動喫煙の健康影響などを記載したリーフレットの県民への配布や、施設管理者向けの説明会等を実施しました。

(1) 戸別訪問実績

	第1種	第2種						特例第2種	条例対象外	合計	
		飲食店	宿泊施設	娯楽施設	理容所	美容所	サービス店舗				第2種計
延訪問	147	238	2	14	51	92	30	427	13	4	591

(2) 各種イベントにおけるリーフレットの配布

月 日	イベント名称	場 所	配布枚数
5月31日	受動喫煙防止イベント	平塚駅北口階段下	300
6月3日	禁煙週間イベント	大磯町保健センター	100
6月3日		二宮町生涯学習センターラディアン	100
10月21日	大磯町横溝千鶴子記念まつり	横溝千鶴子記念障害福祉センター	500
11月11日	湘南にのみやふるさとまつり	二宮町生涯学習センターラディアン	1,000
その他	食品衛生責任者講習会 他	大磯町ふれあい会館 他	1,218

(3) 条例説明会・出張説明会の開催

月 日	説明会名称	場 所	参加者数
5月16日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	18
5月28日	平塚市料理飲食業組合連合会総会	平塚商工会議所	50
6月20日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	19
7月18日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	10
8月22日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	17
9月19日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	13
10月17日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	22
11月14日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	12
12月19日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	14
1月16日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	5
2月20日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	15
3月14日	食品衛生新規講習会	当所3階大会議室	18

第3章

くらしを支える福祉サービス

- 1 地域福祉
- 2 介護保険
- 3 福祉の貸付
- 4 生活保護
- 5 特別障害者手当等の支給
- 6 女性保護・母子福祉
- 7 児童福祉

1 地域福祉

< 保健福祉課 >

高齢者福祉をはじめ、あらゆる福祉分野において、近年、ますます地域福祉の重要性が高まり、地域の役割が増大している中、きめ細やかな施策を推進するため、地域における福祉活動の中心を担っている民生委員・児童委員や障害福祉相談員に対し、活動経費の助成や研修等の支援を行いました。

また、地域福祉を推進する人材の養成を図るため、「地域福祉コーディネーター研修」や「成年後見制度研修会」を実施しました。

(1) 民生委員・児童委員

定数及び活動状況

	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主 任 児童委員	合 計			
平塚市	358	46	404	12,206	76,376	43,519
秦野市	229	24	253	5,005	44,427	26,575
伊勢原市	125	13	138	5,481	20,891	12,153
大磯町	51	2	53	1,238	9,265	8,111
二宮町	44	3	47	1,554	8,846	6,161
合 計	807	88	895	25,484	159,805	96,519

(2) 障害福祉相談員

ア 定数及び活動状況

区 分	定 数	活動件数		
		実践活動	相談・助言活動	合 計
平塚市	19	2,474	648	3,122
秦野市	5	643	197	840
伊勢原市	3	166	47	213
大磯町	3	164	19	183
二宮町	4	73	22	95
合 計	34	3,520	933	4,453

イ 相談員研修会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
11月12日	思いが伝わる相談技術	NPO法人 神奈川県障害者自立生活支援センター事務局長 鈴木 治郎	平塚保健福祉事務所	33

(3) 地域福祉コーディネーター研修

ア 一般研修

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
2月28日	伊勢原市地域福祉シンポジウム 基調講演「一人ひとりの思いが これからの地域を支 える」 実践報告「私にもできる地域で の支え合い」 (伊勢原市社会福祉協議会と共催)	講師 NPO法人市民セクターよ こはま 佐塚 玲子 実践報告者 ・八幡台お楽しみ会 ・子育てひろばきらきら ・上平間台自治会	伊勢原市立 中央公民館	94
3月18日	秦野市地域福祉実践交流会 実践報告と講評 「みんなで築こう！高齢者を見 守る地域の絆」 (秦野市社会福祉協議会と共催)	実践報告者 ・秦野市民生委員・児童 委員協議会 高齢部会 ・くず葉台自治会 ・老人クラブ連合会友愛 チーム ・秦野マンション自治会 ささえあい 講師 NPO法人介護の会まつなみ 理事長 島村 俊夫	秦 野 市 文 化 会 館	84

イ 専門研修

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
11月28日	フォローアップ研修 講演と演習 「助け合いと個人情報」 ～地域福祉活動での個人情報の活用法～	田園調布学園大学 教授 村井 祐一	平塚保健 福祉事務所	24
3月 5日	フォローアップ研修 講演と演習 地域福祉コーディネーターの実践スキル 「ファシリテーション」ラベルワーク研修	参画はぐくみ工房代表 兼ファシリテーター 竹迫 和代	平塚保健 福祉事務所	24

(4) 成年後見制度研修会

月 日	内 容	出席者・講師	会 場	参加者数
12月 4日	成年後見制度に関する意見交換会 (湘南西部圏域)	(出席者) 市町、社会福祉協議会	平塚保健 福祉事務所	16
	成年後見制度地域研修会 (湘南西部圏域) 県地域保健福祉課主催	(講師) 横浜弁護士会 弁護士 松本 崇 中村 真由美 神奈川県社会福祉協議会 社会福祉士 小知和 竜		41

(5) バリアフリーのまちづくり普及啓発事業

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
8月23日	障害理解に関する講演会 「ちがいを認めるこころを育てる」	筑波大学医学医療系 准教授 水野 智美	平塚保健 福祉事務所	39

2 介護保険

< 保健福祉課 >

介護保険指定事業者に対して、適正な介護保険給付の確保、介護サービスの質の確保等を図るため、指導を実施しました。

また、市町の要介護認定の行政処分に不服のある被保険者からの審査請求に対応するため、介護保険審査会介護認定審査部会を設置しています。

(1) 事業者等指導

ア 集団指導

介護保険指定事業者に対して、介護給付サービスの取り扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点について、介護保険課、高齢施設課、横浜・川崎・相模原（各市健康福祉局）並びに横須賀市福祉部及び他の保健福祉事務所と合同で講習会を実施しました。

月 日	内 容	会 場	対象事業者数	参加事業者数
6月12・13・20日	介護保険指定事業者等指導講習会	県総合医療会館	574	295
6月21・22日		鎌倉芸術館		
6月26・27日		県立青少年センター		
5月28・29日		海老名市文化会館		

対象事業者数は、平成24年4月1日現在の平塚保健福祉事務所管内の介護保険指定事業者数（介護予防を含む）
参加事業者数は講習会出席者数

イ 実地指導

指定基準に基づき、介護保険指定事業者等の事業所に対し、帳簿類等の閲覧や関係者の面談により実地指導を行いました。

サービス区分	実地指導対象数		実地指導実施数	
	介護保険	介護予防	介護保険	介護予防
居 宅 介 護 支 援	69		16	
訪 問 介 護	58	56	11	10
訪 問 入 浴 介 護	8	8	0	0
訪 問 看 護	16	16	3	3
通 所 介 護	80	72	18	18
通所リハビリテーション	6	6	2	2
短期入所生活介護	12	13	4	4
短期入所療養介護	10	10	3	3
特定施設入居者生活介護	19	18	10	9
福祉用具貸与	18	17	7	7
福祉用具販売	20	20	7	7
介護老人福祉施設	12		3	
介護療養型医療施設	4		1	
介護老人保健施設	6		2	
合 計	338	236	87	63

(2) 介護保険審査会介護認定審査部会

市町の要介護認定の行政処分に不服のある被保険者からの審査請求に対応するため、公益委員3名からなる審査部会を設置しています。平成24年度の審査請求はありませんでした。また、25年度からは審査部会の設置数を1部会とし、介護保険課で行う予定です。

3 福祉の貸付

< 保健福祉課 >

母子家庭等の生活の安定と児童の健全な育成を図るために必要な資金の貸し付けを行いました。

母子福祉資金等の貸付件数

区 分		事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	児童 扶養	合計
平塚市	母子			1			1		1	31	30	1			65
	寡婦														0
	特母														0
大磯町	母子			1					1	2	3	1			8
	寡婦														0
	特母														0
二宮町	母子										4				4
	寡婦														0
	特母														0
合 計	母子			2			1		2	33	37	2			77
	寡婦														0
	特母														0

「母子」とは「母子福祉資金」、「寡婦」とは「寡婦福祉資金」、「特母」とは「特別母子福祉資金」の略です。

4 生活保護

<生活福祉課>

生活保護法は、憲法第25条によって保障される生存権を実現するための制度のひとつとして制定された法律であり、最低限度の生活の保障とその自立の助長を目的としています。

当所では、生活等の相談に応じるとともに生活保護法の目的を達成するべく、扶助費の支給などにより保護を実施するとともに就労支援や児童の健全育成にも取り組み、自立への支援を行いました。

当管内の保護世帯数は、平成17年度の246世帯をピークに一時横ばい傾向を示しましたが、平成20年のリーマンショック後の不況、特に雇用情勢に悪化の影響を受け、平成21年度から大幅な増加に転じ、平成24年度平均で362世帯となっています。

(1) 生活相談事業

(平成24年度)

世帯類型	相談の主な理由														合計
	世帯主の傷病	世帯員の傷病	要介護状態	稼働者の死亡離別 (DVを含む)	稼働収入の減少・喪失					社会保障給付金の 減少・喪失	貯金の減少・喪失	扶養の減少・喪失	ケース移管	その他	
					定年・自己都合	解雇・勤務先都合	老齢による収入減	事業不振・倒産	その他						
高齢者世帯	7	3	1	0	0	1	2	0	0	2	13	3	0	14	46
母子世帯	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	2	0	2	9
障害者世帯	5	1	0	1	1	0	0	0	0	0	6	4	0	7	25
傷病者世帯	19	3	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	27
その他世帯	6	8	0	5	5	2	0	1	2	4	6	6	0	10	55
合計	37	15	1	9	8	3	3	1	3	6	26	17	0	33	162

(2) 扶助別被保護世帯数・人員の状況

(平成25年3月分)

区分		生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	保護を受けた者	保護率(%)
大磯町	世帯数	124	115	13	32	128	0	8	0	150	6.74
	人員	183	174	20	33	176	0	10	0	220	
二宮町	世帯数	189	187	19	39	191	0	10	2	222	10.60
	人員	264	265	32	41	239	0	12	2	309	
合計	世帯数	313	302	32	71	319	0	18	2	372	8.56
	人員	447	439	52	74	415	0	22	2	529	

(3) 保護の開始・廃止の状況

ア 理由別開始世帯の状況

(平成24年度)

区分	傷病		要介護状態	働いていた者		失業		老齢による収入の減少	事業不振・倒産	その他の働きによる収入の減少	社保給付金の減少・喪失	預貯金の減少・喪失	仕送りの減少・喪失	ケース移管	その他	合計
	世帯主	世帯員		死亡	離別等	定年・自己都合	勤務先都合(解雇等)									
大磯町	10	1	1	0	1	6	0	0	1	0	2	8	5	1	4	40
二宮町	9	2	0	0	0	2	3	1	1	2	1	5	4	0	10	40
合計	19	3	1	0	1	8	3	1	2	2	3	13	9	1	14	80

イ 理由別廃止世帯の状況

(平成24年度)

区分	世帯主の傷病の治癒	世帯員の傷病の治癒	死亡	失踪	稼働収入の増加	働き手の転入	社保給付金の増加	仕送りの増加	親族縁者等の引取	施設入所	医療費の他法負担	ケース移管	その他	合計
二宮町	0	0	11	3	7	0	2	0	1	0	0	1	8	33
合計	1	0	22	6	9	0	3	3	2	1	0	5	11	63

(4) 世帯類型別被保護世帯の状況

(平成25年3月分)

区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯	合計
大磯町	77	12	20	17	24	150
二宮町	103	14	20	49	36	222
合計	180(48.4)	26(7.0)	40(10.8)	66(17.7)	60(16.1)	372(100.0)

()内は、総数に占める割合(%)

(5) 労働力類型別被保護世帯の状況

(平成25年3月分)

区分	稼働世帯					非稼働世帯	合計
	世帯主が働いている世帯				世帯員稼働		
	常用	日雇	内職	その他			
大磯町	17	1	2	3	9	118	150
二宮町	26	0	0	0	8	188	222
合計	43	1	2	3	17	306	372

(6) 医療扶助

(平成25年3月分)

区分	入院			入院外			合計
	精神	その他	計	精神	その他	計	
大磯町	5	14	19	-	157	157	177
二宮町	8	6	14	-	225	225	239
合計	13	20	33	-	382	382	416

他法により医療費が賄われ、医療扶助の給付がないものは含まれていません。

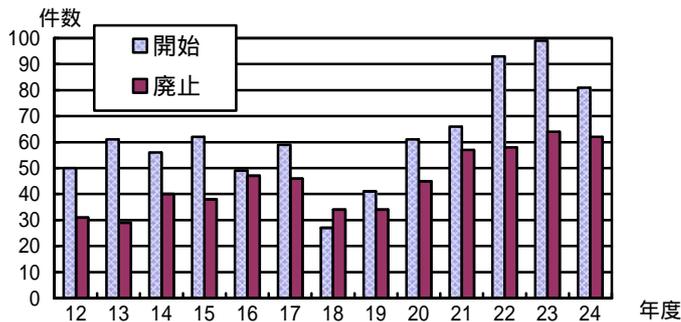
(7) 生活保護施設措置状況 (平成25年3月分)

区分	救護施設	更生施設	合計
大磯町	3		3
二宮町	3		3
合計	6	0	6

町の区分は発生地による

(8) 保護の開始・廃止世帯件数の推移

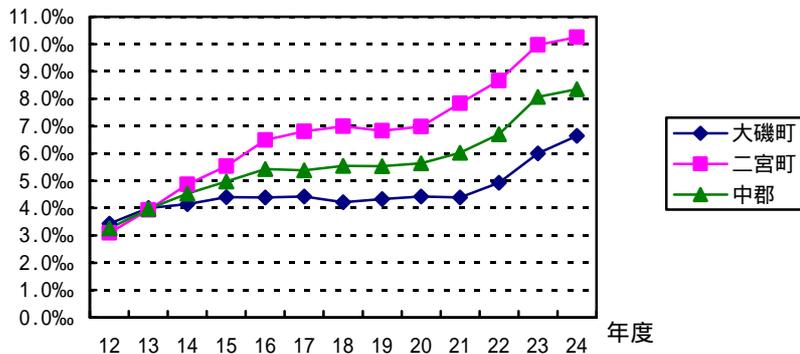
区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
開始	50	61	56	62	49	59	27	41	61	66	93	99	80
廃止	31	29	40	38	47	46	34	34	45	57	58	64	63



(9) 保護世帯数等の推移 (年度平均)

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
大磯町	世帯数	76	88	94	103	104	103	97	96	101	106	114	131
	人員	111	129	132	143	143	144	138	142	145	144	162	197
	保護率 ‰	3.43	4.01	4.14	4.40	4.39	4.42	4.21	4.33	4.42	4.39	4.93	6.00
二宮町	世帯数	74	89	109	119	131	143	148	149	151	169	182	204
	人員	96	121	152	170	198	206	210	203	207	232	256	287
	保護率 ‰	3.09	3.93	4.87	5.54	6.49	6.81	7.00	6.83	6.98	7.83	8.66	9.97
中郡	世帯数	150	177	203	222	235	246	245	245	252	275	296	335
	人員	207	250	284	313	341	350	348	345	352	376	418	484
	保護率 ‰	3.26	3.97	4.53	4.98	5.43	5.38	5.55	5.53	5.64	6.02	6.70	8.07

保護率の推移



(10) 生活保護費の状況

(単位：円)

区 分	大磯町	二宮町	合 計
生 活 扶 助	107,406,649	149,593,015	256,999,664
住 宅 扶 助	58,430,151	82,932,141	141,362,292
教 育 扶 助	2,267,058	3,839,070	6,106,128
介 護 扶 助	29,498	150,880	180,378
医 療 扶 助	2,254,058	3,658,748	5,912,806
出 産 扶 助	0	0	0
生 業 扶 助	2,720,030	2,131,276	4,851,306
葬 祭 扶 助	121,337	1,161,730	1,283,067
保護施設事務費	5,456,210	5,533,142	10,989,352
合 計	178,684,991	249,000,002	427,684,993

医療扶助、介護扶助は、当所で直接支出した額であり、支払基金経由分（介護扶助は、国保連合会経由分）は含みません。

5 特別障害者手当等の支給

<生活福祉課>

日常生活において常時介護を必要とする在宅の重度障害児者に対し、町と連携して特別障害者手当等の支給事務を行いました。

特別障害者手当等の支給状況

(平成25年4月1日現在)

区分	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当	合 計
大磯町	8	1	12	21
二宮町	9	2	20	31
合計	17	3	32	52

6 女性保護・母子福祉

<生活福祉課>

女性相談員兼母子自立支援員が、母子・寡婦世帯に対する夫の暴力、離婚等の家庭問題、就労、経済、子供の養育等の相談を受けるとともに、女性や母子の一時保護、生活の安定と自立に向けた支援、福祉資金の貸付け等による援護を実施しました。

(1) 母子自立支援員の相談指導実施状況

区 分		相談件数				
		大磯町	二宮町	その他	合 計	
生 活 一 般	住 宅	15	8	3	26	
	医 療 ・ 健 康	病 気	6	2	1	9
		障 害	4	4	1	9
		そ の 他	0	0	0	0
	家 庭 紛 争	夫 等 の 暴 力	8	12	7	27
		そ の 他	8	4	0	12
	就 労	求 職 ・ 転 職	4	5	0	9
		資 格 取 得 ・ 職 業 訓 練	9	4	1	14
		職 場 の 悩 み	0	1	0	1
		そ の 他	0	0	0	0
	結 婚	0	0	0	0	
	養 育 費	4	2	1	7	
	借 金	5	0	0	5	
そ の 他	1	0	0	1		
小 計	64	42	14	120		
児 童	養 育	保 育 所 入 所	0	0	0	0
		虐 待	0	4	2	6
		そ の 他	3	4	0	7
	教 育	17	24	1	42	
	非 行	1	0	0	1	
	就 職	3	2	1	6	
	そ の 他	2	0	0	2	
小 計	26	34	4	64		
経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護	母 子 福 祉 資 金	貸 付	15	23	1	39
		償 還	9	5	1	15
	寡 婦 福 祉 資 金	貸 付	0	0	0	0
		償 還	0	0	0	0
	公 的 年 金	0	2	0	2	
	児 童 扶 養 手 当	2	0	1	3	
	生 活 保 護	15	6	0	21	
	税	0	0	0	0	
そ の 他	0	2	1	3		
小 計	41	38	4	83		
そ の 他	売 店 設 置 (法 第 25 条)	0	0	0	0	
	た ば こ 販 売 (法 第 26 条)	0	0	0	0	
	母 子 世 帯 向 公 営 住 宅 (法 第 27 条)	0	0	0	0	
	母 子 福 祉 施 設 の 利 用	0	0	0	0	
	母 子 生 活 支 援 施 設 (児 童 福 祉 法 第 38 条)	4	4	1	9	
小 計	4	4	1	9		
合 計		135	118	23	276	

(2) 女性相談員の相談実施状況

区分	相談内容									処理状況										
	施設入所希望	経済問題	職業問題	住宅問題	家族問題		暴力団・ヒモ等の問題	更正相談	その他	合計	就職・自営	結婚	家庭への送還	福祉事務所へ	女性相談所へ	他府県の女性相談所へ	その他関係機関・施設へ	助言指導	その他	合計
					夫婦問題	その他														
面接相談	大磯町	1		0	5	2			0	8					1		1	6		8
	二宮町	0			8	1				9					1		0	8		9
	その他	0			2	0			0	2					0			2		2
	合計	0	1	0	0	15	3	0	0	0	19	0	0	0	0	2	0	1	16	0
電話相談	大磯町		0		7	0				7								7		7
	二宮町				6	2				8								8		8
	その他				4	1			1	6								6		6
	合計	0	0	0	0	17	3	0	0	1	21	0	0	0	0	0	0	0	21	0

年齢区分	18歳未満	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	年齢不詳	合計
人数 (面接+電話相談)	2	0	8	6	14	3	4	3	40

7 児童福祉

<生活福祉課>

児童福祉法に基づく助産施設、母子生活支援施設利用に関する相談、支援等を行うとともに、児童虐待等について、児童相談所、市町等の関係機関と連携し、その防止や支援を行いました。

(1) 助産施設利用状況

社会保険等の出産育児一時金等の充実により、制度の利用者は、生活保護受給者等一部に限られてきており、近年利用がほとんど無い状況で、平成24年度は利用がありませんでした。

(2) 母子生活支援施設入所状況

当所管内には、母子生活支援施設がなく、また、県内にも少ないことから、保護を要する母子家庭への対応は厳しい状況にあり、本県所管外の施設を利用することになっています。平成24年度は新たに2家族が利用を開始し、前々年度から継続して入所している1家族と併せて3家族が利用しています。いずれも県所管外の施設を利用しています。

第4章

保健・医療・福祉の基盤づくり

- 1 湘南西地区保健医療福祉推進会議
- 2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進
- 3 地域医療連携の推進
- 4 高齢者保健福祉計画の推進
- 5 健康危機管理
- 6 救急医療対策の推進
- 7 人材育成
- 8 医務・薬務
- 9 献血
- 10 免許取扱事務
- 11 保健衛生等表彰
- 12 ネットワークづくり

1 湘南西地区保健医療福祉推進会議

< 企画調整課 >

県保健医療計画で定められた湘南西部地区二次保健医療圏域における、保健、医療、福祉に関する計画の策定、着実な推進など、保健、医療、福祉に係る重要事項を協議するため、湘南西部地区二次保健医療圏域内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、関係団体、行政機関等で構成する湘南西地区保健医療福祉推進会議を設置しています。

また、この推進会議の下に、地域保健医療計画及び高齢者保健福祉計画の推進について協議・検討を行う保健医療福祉推進専門部会を、地域保健と職域保健における連携の推進について協議・検討を行う地域・職域連携推進専門部会をそれぞれ設置しています。

区 分	月 日	内 容	会 場	出席者数
推進会議	7月25日	・湘南西部地区地域保健医療計画の平成23年度分 進行管理について ・保健医療計画の改定について	平塚保健 福祉事務所	24
	10月22日	・地域保健医療推進指針（素案）について	平塚保健 福祉事務所	23
	1月30日	・病院開設許可申請の延期について	書面会議	26
地域・職域 連携推進専 門部会	6月27日	1 平成23年度地域・職域連携推進事業の実施状 況について 2 平成24年度地域・職域連携推進事業の実施計 画について (1) 平成24年度実施計画案について (2) 生活習慣病対策の取り組みについて (3) 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓 発モデル事業の取り組み案 3 地域・職域連携推進事業における最新情報 4 情報交換	平塚保健 福祉事務所	11
地域・職域 連携推進専 門部会ワー キンググル ープ	7月30日	1 平成23年度地域・職域連携推進事業の実施状 況について 2 平成24年度地域・職域連携推進事業の実施計 画について (1) 平成24年度実施計画について (2) 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓 発モデル事業の取り組み案 (3) 今後がん予防・がん検診普及啓発とメンタ ルヘルス対策をすすめていくにあたって (4) グループワーク	平塚保健 福祉事務所	22

区分	月日	内 容	会場	出席者数
地域・職域連携推進専門部会ワーキンググループ	2月18日	1 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業について 2 「かながわ健康プラン21（第2次）」素案の推進～地域・職域に期待すること 3 平成25年度地域・職域連携推進事業計画案について (1) 平成24年度実施結果について (2) 平成25年度実施計画案について	平塚保健福祉事務所	23

2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進

< 企画調整課 >

地域保健医療推進指針は、神奈川県保健医療計画の趣旨に沿い、各地域における保健医療施策を推進するため、二次保健医療圏域ごとに、地域の特性に応じた課題の解決に向けた取組みの方向性を示すものです。

これまで、「湘南西部地区地域保健医療計画」を策定していましたが、湘南西部地区での、特性に応じた課題の共有化と連携した取組みの方向性を示す「湘南西部地区地域保健医療推進指針」を策定しました。

指針の概要

重点課題・施策の方向性

- 地域に根ざした健康増進の総合的な推進
- 地域の関係機関の連携等による地域医療の推進
- 多様な保健・医療・福祉ニーズへの対応
- 健康危機管理体制の充実

指針の期間

特に定めず、必要に応じて常に指針の見直し・修正を行うものとする。

3 地域医療連携の推進

< 企画調整課 >

人口の急速な高齢化等とともに進む医療を取り巻く環境の大きな変化の中で、地域住民が「誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」ことを基本として、保健医療提供体制を整備するため、脳卒中をモデル事業とした「湘南西部地区地域連携クリティカルパス」の導入・普及に取り組むとともに、広域的な保健・医療・福祉との連携を強化することを目的とする「地域包括ケア会議」を開催しました。

(1) 湘南西部地区地域連携クリティカルパス導入普及事業

神奈川県保健医療計画では、脳卒中における急性期治療からリハビリテーション、在宅医療に至る医療連携体制の構築の必要性が明記されています。

その施策として、湘南西部保健医療圏では、「湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会」を設置し、パスの普及に取り組んでいます。

平成24年度においては、在宅医療を担う診療所や介護サービス事業者を加えたワーキンググループを開催し、維持期への普及や医療と介護の連携に向けた取り組みを進めていくことを確認するとともに、パスの運用を検証する仕組みを定めました。

ア 湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
6月14日	・医療と介護に向けた動きについて ・ICT化に向けた取り組みについて ・医療・介護への普及に向けた今後の対応について	平塚保健福祉事務所	8

イ 湘南西部地区地域連携クリティカルパスワーキンググループ

月 日	内 容	会 場	出席者数
12月3日	・脳卒中地域連携クリティカルパスの現状 計画管理病院における実態 ・介護への普及のための課題と解決方策について	平塚保健福祉事務所	18
3月19日	・脳卒中地域連携クリティカルパスの普及の取り組み ・クリティカルパス運用の検証について	平塚保健福祉事務所	13

(2) 地域包括ケア多職種協働推進事業

地域包括ケアシステムの推進に向け、保健・医療・福祉との連携・協働体制の整備について検討するため、平塚保健福祉事務所地域包括ケア会議を開催しました。

ア 平塚保健福祉事務所地域包括ケア会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
12月11日	・地域包括ケアシステムの構築に向けた行政の取り組みについて ・医療と介護の連携に向けた意見交換	平塚保健福祉事務所	19

(3) かかりつけ医等の普及事業

神奈川県保健医療計画の主要施策の1つである「患者の視点に立った安全・安心で質の高い医療提供体制の整備・充実」において、かかりつけ医（かかりつけ歯科医）（以下「かかりつけ医等」という。）の普及・定着を推進することが挙げられており、「湘南西部地区保健医療圏内におけるかかりつけ医等の普及・定着の推進」及び「かかりつけ医等と専門的な機能を持つ病院とが機能分担していることの理解の普及」を目的として、出前講座を実施すると共に、湘南西部地区保健医療圏内におけるかかりつけ医制度の社会的認知度について実態調査を行い、当調査の分析結果を踏まえて、かかりつけ医制度を推進するために医療関係者及び管内市町職員と意見交換を行いました。

ア アンケート調査の実施

月 日	内 容	対象者	回収数
9月3日 ～9月28日	職域におけるかかりつけ医制度の社会的認知度について	管内所在の 企業の従業員	2,384

イ 出前講座の実施

月 日	内 容	場 所	回 数
6月～10月	かかりつけ医等の重要性及び専門的な機能を持つ病院との機能分担について	神奈川労務安全衛生協会平塚支部地区会各会場等	9

ウ 意見交換会の開催

月 日	内 容	会 場	出席者数
2月5日	アンケート調査の結果を踏まえた意見交換	平塚保健福祉事務所	17

エ 普及啓発媒体の作成

作成日	媒 体	内 容	配布対象
6～7月	ポスター チラシ	<ul style="list-style-type: none"> ・「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」の必要性について ・地域における診療所・病院・薬局との役割分担について ・医療機関情報発信ツール「かながわ医療情報検索サービス」HPのPR ・医療機関情報等の問い合わせ窓口について 	普及率の低い層 (男性、若い世代、働いている世代、転入者)

4 高齢者保健福祉計画の推進

< 企画調整課 >

平成27年には、県民のおよそ4人に1人が65歳以上の高齢者となるなど、超高齢社会が到来すると予測されていることから、県では、平成21年に策定した「かながわ高齢者保健福祉計画」を、これまでの施策の実施状況や来るべき超高齢社会における課題などを踏まえ、平成24年3月に改定しました。

当所では改定に際し、湘南西部保健福祉圏域内市町の計画策定の支援・調整等を実施し、平成24年度からは、圏域内市町との連携のもと、計画の円滑な推進に努めてきました。

かながわ高齢者保健福祉計画の概要

計画の基本目標

「高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり」の実現

計画の性格

老人福祉法及び介護保険法に基づく法定計画である「老人福祉計画」及び「介護保険事業支援計画」を一体化したものとし、県の総合計画「かながわグランドデザイン」を支える個別計画として位置づける計画

計画の期間

平成24年度から平成26年度までの3年間

保健福祉圏域

- ・高齢者保健福祉圏域は、保健・医療・福祉の広域的な連携を図る観点から、二次保健医療圏と同一の地域
- ・平塚保健福祉事務所が所管する湘南西部保健福祉圏域は、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町の3市2町

5 健康危機管理

< 企画調整課、保健予防課、環境衛生課 >

地域住民の生命、健康の安全を脅かす健康被害の事例が発生した場合又は発生するおそれがある場合、保健福祉事務所は、健康危機管理体制の拠点として位置づけられていることから、管内の市町、警察署、医師会等の関係機関で構成する「地域健康危機管理連絡調整会議」を設置しています。

6 救急医療対策の推進

< 企画調整課 >

病院前救護において、一般県民が果たす役割は重要であることから、より多くの県民が一次救命処置を含む応急手当の手技を習得できるよう、救急法講習会を開催しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月4日	応急手当、心肺蘇生法及びAEDの実習	平塚市消防署 救急救命士	平塚保健 福祉事務所	34

7 人材育成

<全課>

地域の様々なニーズや課題に対応できる保健・医療・福祉の幅広い知識と技術の共有を図るため、地域の実態に即した内容の研修を実施しました。また、看護学生などの実習生を受け入れ、指導しました。

(1) 人材育成

研 修 名	対 象	担当課
管内保健師研究会・研修会	保健福祉事務所及び管内市町保健師	企画調整課
保健衛生研修 (母子保健対策推進研修、在宅栄養士研修、在宅歯科衛生士研修)	市町及び県の母子保健従事者、在宅栄養士、在宅歯科衛生士、養護教諭、教諭、保育士等	
保健医療福祉系学生実習受け入れ	医師、保健師、助産師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、社会福祉士志望学生等	
JICA来日研修生実習受け入れ	諸外国医療従事者	
禁煙サポート研修会	医師、保健師、助産師、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士ほか	
特定給食施設等講習会	特定給食施設等栄養士等	保健福祉課
地域活動栄養士研修会	栄養士会員、在宅栄養士	
食生活改善推進団体育成	食生活改善推進員リーダー	
障害福祉相談員研修	障害福祉相談員	
地域福祉コーディネーター研修	民生委員、ボランティア等	
成年後見制度研修会	相談支援従事者等	
管内歯科保健事業従事歯科衛生士連絡会	管内歯科保健事業従事歯科衛生士	保健予防課
在宅難病患者在宅ケア従事者研修会	訪問看護師、介護支援専門員等	
難病患者等ホームヘルパー養成研修 (難病基礎課程)	ホームヘルパー(2級)	
地域自殺対策人材養成研修	管内企業人事担当者、企業職員、相談支援事業所職員等	
地域精神保健福祉人材養成研修会	企業人事担当者、相談支援事業所職員等	
結核医療従事者研修会	医療機関職員等	
感染症予防研修会	介護保険事業所、障害児者、児童福祉施設の管理者、看護職員、介護職員等	環境衛生課
環境営業者講習会	理容所営業者	
夏期施設等営業者講習会	夏期施設等営業者	
食品衛生指導員研修会	食品衛生指導員	食品衛生課

研修の詳細は、各事業の項に掲載

(2) 保健衛生研修

保健・医療・福祉に対する専門知識の習得や技術の向上を目的として、母子保健対策推進研修、在宅歯科衛生士研修、在宅栄養士研修の3研修を実施しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
10月31日	母子保健対策推進研修 生活習慣病予防は妊娠中の栄養が基本	早稲田大学総合研究機構 教授 福岡 秀興	平塚保健 福祉事務所	49
12月3日	在宅歯科衛生士研修 口の機能を育てるために 指導者としての指導力・表現力のスキルアップを目指す	東京医科歯科大学大学院医 歯学総合研究科 地域・福祉口腔衛生学分野 教授 白田 千代子	平塚保健 福祉事務所	52
12月18日	在宅栄養士研修 食を通じた親と子の健康支援 子どもを取り巻く人々への 栄養・食生活支援を考える	日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部 栄養担当部長 堤 ちはる	伊勢原市 中央公民館	48

(3) 保健医療福祉学生等実習

ア 合同オリエンテーションの開催

当所で実習を受け入れる保健師、看護師、栄養士学生等を対象にオリエンテーションを実施し、保健福祉事務所業務の概要説明及び実習事前指導を実施しました。

区分	月 日	内 容	会 場	学校数	実習生数
前 期	4月13日	平塚保健福祉事務所業務の概要について	平塚保健 福祉事務所	8	48
後 期	9月7日	市町における保健事業について 等		7	50

イ 実習実施状況

区 分	学校数	実習期間	実習生数
保 健 師	4	18週	26
看 護 師	6	7週	51
助 産 師	1		2
管 理 栄 養 士	4	4週	14
歯 科 衛 生 士	1	1日	5
社 会 福 祉 士	1	23日	1
合 計	17		99

8 医務・薬務

< 企画調整課、環境衛生課 >

安全で適正な医療の確保を確保するため、医療法第25条に基づき病院、診療所に対し立入検査を実施するとともに、医薬品の適正な管理・販売を徹底するため、薬局、医薬品販売業者に対し、立入検査を実施しました。

(1) 医療施設の状況

ア 医療施設数・人口10万対

(平成25年3月31日現在)

区分	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あん摩・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
平塚市	9	3.5	183	70.6	138	53.2	4	1.5	350	134.9	58	22.4	25	9.6
大磯町	1	3.1	19	58.0	16	48.9	1	3.1	44	134.3	-	-	3	9.2
二宮町	-	-	23	78.5	20	68.2	2	6.8	55	187.7	5	17.0	8	27.3
管内計	10	3.1	225	70.0	174	54.1	7	2.2	449	139.7	63	19.6	36	11.2

(平塚保健福祉事務所調べ 人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県的人口と世帯(平成24年10月1日現在)」)

助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

イ 医療施設数・人口10万対の推移(管内)

(各年度末現在)

年度	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あん摩・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
H15年度	10	3.1	206	64.5	161	50.4	8	2.5	320	100.2	29	9.1	27	8.5
H16年度	10	3.1	210	65.7	165	51.6	8	2.5	319	99.8	33	10.3	26	8.5
H17年度	10	3.1	212	65.9	169	52.5	7	2.2	352	109.4	34	10.6	27	8.4
H18年度	10	3.1	212	65.7	168	52.1	7	2.2	374	116.0	44	13.6	30	9.3
H19年度	10	3.1	220	68.2	168	52.1	7	2.2	375	116.2	42	13.0	31	9.6
H20年度	10	3.1	226	69.9	166	51.4	3	0.9	391	121.0	50	15.5	31	9.6
H21年度	10	3.1	223	69.3	169	52.5	3	0.9	411	127.3	57	17.7	32	9.9
H22年度	10	3.1	224	69.3	172	53.2	3	0.9	421	130.2	61	18.9	35	10.5
H23年度	10	3.1	224	69.4	175	54.2	3	0.9	436	135.1	64	19.8	35	10.8
H24年度	10	3.1	225	70.0	174	54.1	7	2.2	449	139.7	63	19.6	36	11.2

(平塚保健福祉事務所調べ 人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県的人口と世帯(各年10月1日現在)」)

助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

ウ 病床数・人口10万対病床数

(平成25年3月31日現在)

区分	病 院										一般診療所		管内計	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
平塚市	1,055	406.8	580	223.6	603	232.5	6	2.3	2,244	865.2	124	47.8	2,368	913.0
大磯町	358	1,093.2	-	-	-	-	-	-	358	1093.2	-	-	358	1093.2
二宮町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
管内計	1,413	439.6	580	180.4	603	187.6	6	1.9	2,602	809.5	124	38.6	2,726	848.1

(平塚保健福祉事務所調べ 人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県的人口と世帯(平成24年10月1日現在)」)

工 病床数の推移

(各年度末現在)

年度	病 院										一般診療所		管内計	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
H15年度	1,515	474.6	615	192.7	708	221.8	6	1.9	2,844	891.0	242	75.8	3,086	966.8
H16年度	1,515	473.7	615	192.3	708	221.8	6	1.9	2,844	889.3	244	76.3	3,088	965.6
H17年度	1,515	470.4	584	181.4	603	187.3	6	1.9	2,708	841.3	244	75.8	2,952	917.1
H18年度	1,515	469.8	615	190.7	603	187.0	6	1.9	2,739	849.4	233	72.3	2,972	921.7
H19年度	1,553	481.2	575	178.2	603	186.8	6	1.9	2,737	848.0	156	48.3	2,893	896.4
H20年度	1,551	479.9	575	177.9	603	186.6	6	1.9	2,735	846.3	156	48.3	2,891	894.5
H21年度	1,461	452.5	575	178.1	603	186.8	6	1.9	2,645	819.3	126	39.0	2,771	858.3
H22年度	1,461	451.8	580	179.4	603	186.5	6	1.9	2,650	819.6	109	33.7	2,759	853.3
H23年度	1,461	452.8	580	179.8	603	186.9	6	1.9	2,650	821.3	124	38.4	2,774	859.8
H24年度	1,413	439.6	580	180.4	603	187.6	6	1.9	2,602	809.5	124	38.6	2,726	848.1

(平塚保健福祉事務所調べ 人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県人口と世帯(各年10月1日現在)」)

平成15年度から「一般」病床を「一般」病床と「療養」病床に区分した。

オ 許可・届出取扱い件数

(平成25年3月31日現在)

区 分	病 院	一般診療所	歯科診療所	X線装置	助産所	あん摩・はり・きゅう	柔道整復	歯科技工所
許 可	開 設		7	4				
	使 用	15						
	変 更	27	7	1				
届 出	開 設		7	6	46	1	26	5
	変 更	3	17	11	9	2	25	10
	休 廃 止		9	7	32	1	11	6
計	45	47	29	87	4	62	21	5

助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

カ 病院、診療所立入検査実施状況

区 分	実施数	指導結果					
		文書指摘		文書指導		口頭指導	
		医療機関数	件 数	医療機関数	件 数	医療機関数	件 数
病 院	10	-	-	3	3	6	8
診 療 所	5	1	1	3	3	4	6

キ 新規開設診療所等現地確認実施状況

年 度	一般診療所	歯科診療所	助産師	施術所		歯科技工所
				あん摩・はり・きゅう	柔道整復	
22年度	3	1	-	11	7	1
23年度	6	8	-	9	5	1
24年度	6	3	1	12	2	2

新規開設診療所等現地確認は平成22年度より実施。

(2) 医療従事者の状況

管内に在住又は就業する医療従事者数の調査については、隔年で実施されており、公表されている最新の状況は次のとおりです。

区分	医師		歯科医師		薬剤師		保健師		助産師	
	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対
平塚市	399	153.0	171	65.6	380	145.7	52	20.0	58	22.3
大磯町	87	263.4	18	54.5	60	181.6	10	30.3	1	3.0
二宮町	26	88.1	16	54.2	45	152.4	8	27.2	3	10.2
管内計	512	158.4	205	63.4	485	150.0	70	21.7	62	19.2
神奈川県	16,997	187.8	6,889	76.1	15,127	167.2	1,899	21.0	1,939	21.4

区分	看護師		准看護師		歯科衛生士		歯科技工士	
	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対
平塚市	1,465	562.8	374	143.7	-	-	-	-
大磯町	354	1073.2	21	63.7	-	-	-	-
二宮町	29	98.6	17	57.9	-	-	-	-
管内計	1,851	573.7	412	127.7	254	78.7	69	21.4
神奈川県	51,503	568.5	11,335	123.0	6,705	74.0	1,723	19.0

医師、歯科医師、薬剤師数は「医師・歯科医師・薬剤師調査（平成22年12月31日現在）」のうち、医療施設の従事者数（薬剤師は薬局も含む）（従業地で集計）。

保健師、助産師、看護師、准看護師数は「保健師、助産師、看護師、准看護師業務従事者届（平成22年12月31日現在）」による（従業地で集計）。

(3) 薬局・医薬品販売業の状況

ア 薬局・医薬品販売業数

区分	薬局	医薬品販売業					薬局製 造販売 医薬品 製造 販売業	薬局製 造販売 医薬品 製造 業	高度管 理医療 機器等 販売業 ・ 賃貸業	管理医 療機器 販売業 ・ 賃貸業	管内計
		店舗 (一般 を含む)	卸売	薬種商	特例	計					
平塚市	114	41	20			61	12	12	83	428	710
大磯町	15	4	1			5			9	42	71
二宮町	18	5				5			4	58	85
管内計	147	50	21	0	0	71	12	12	96	528	866

イ 許可・届出取扱い件数

区分	薬局	医薬品販売業					薬局製 造販売 医薬品 製造 販売業	薬局製 造販売 医薬品 製造 業	高度管 理医療 機器等 販売業 ・ 賃貸業	管理医 療機器 販売業 ・ 賃貸業	管内計
		店舗 (一般 を含む)	卸売	薬種商	特例	計					
新規許可申請	10	7	2			9	2	2	5	44	72
更新許可申請	20		3			3	1	1	5		30
変更届	378	147	15			162			12	11	563
廃止届	12	4	2	2	2	10	2	2	7	6	39

ウ 薬事監視指導状況

区分	薬局	医薬品販売業					薬局製薬製造販売業	薬局製薬製造業	医薬品製造等 製薬業	高度医療等 医療機器販売・賃貸業	管理医療機器販売・賃貸業
		店舗(一般を含む)	卸売	薬種商	特例	計					
対象数	147	50	21			71	12	12	15	96	528
立入検査	57	22	8		1	31	6	6	1	17	62

9 献血

< 企画調整課 >

保健福祉事務所、各市町、神奈川県赤十字血液センターが協力して、住民及び事業所等の理解を深めるよう、献血の推進に取り組みました。

(1) 目標値、献血量（献血車による街頭・事業所献血）

区分	200mL献血		400mL献血		合計	
	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)
平塚市	30.4	32.4	1,980.4	2,405.6	2,010.8	2,438.0
大磯町	1.4	0.4	86.0	36.0	87.4	36.4
二宮町	1.0	0.0	68.4	28.0	69.4	28.0
管内計	32.8	32.8	2,134.8	2,469.6	2,167.6	2,502.4

(2) 年度別目標値、献血量（献血車による街頭・事業所献血）

区分	200mL献血		400mL献血		合計		成分献血 (実績:人)
	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	
平成15年度	110	75	2,538	2,872	2,647	2,947	42
平成16年度	70	70	2,705	2,874	2,775	2,944	43
平成17年度	55	102	2,732	2,602	2,787	2,704	-
平成18年度	59	118	2,818	2,461	2,877	2,579	-
平成19年度	56	78	2,743	2,666	2,799	2,744	-
平成20年度	44	29	2,460	2,777	2,504	2,806	-
平成21年度	45	7	2,475	2,367	2,520	2,374	-
平成22年度	41	3	2,458	2,566	2,499	2,569	-
平成23年度	56	4	1,710	2,350	1,766	2,353	-
平成24年度	33	33	2,135	2,470	2,168	2,502	-

成分献血については、平成16年度までは街頭献血でも実施していたが、厚生労働省の原料血漿確保目標量の減少等により、街頭献血では行わなくなった。

10 免許取扱事務

<管理課、環境衛生課、食品衛生課>

(1) 医療従事者関係

区 分	免許申請	書換・籍訂正	再 交 付	登録抹消	合 計
医 師	10	4	2	1	17
歯 科 医 師	5	1		1	7
薬 劑 師	33	8	1	2	44
保 健 師	21	17			38
助 産 師	3	3			6
看 護 師	97	90	3		190
准 看 護 師	3	10	5	1	19
栄 養 士	44	11	1		56
管 理 栄 養 士	23	5			28
診 療 放 射 線 技 師	3	1			4
臨 床 検 査 技 師	9	6			15
衛 生 検 査 技 師		1			1
理 学 療 法 士	16	4	1		21
作 業 療 法 士	9	2			11
視 能 訓 練 士	2	1			3
歯 科 技 工 士	1				1
受胎調節実地指導員	2				2
合 計	281	164	13	5	463

(2) 環境衛生関係

区 分	免許申請	訂 正	再 交 付	合格証明書交付	合 計
ク リ ー ニ ン グ 師	3		1		4

(3) 食品衛生関係

区 分	免許申請	書 換	再 交 付	合 計
ふ ぐ 包 丁 師	4	1	1	6
製 菓 衛 生 師	9		2	11
調 理 師	73	8	15	96
合 計	86	9	18	113

11 保健衛生等表彰

< 管理課 >

(1) 神奈川県保健衛生表彰

ア 知事表彰（期日：平成24年11月14日実施）

(ア) 医療関係功労者

氏名	職業
矢嶋博巳	医師
松本隆行	歯科医師
平野陽子	薬剤師
藤井幸子	看護師
内山榮子	鍼灸マッサージ師

(イ) 環境衛生関係功労者

氏名	職業
小山内孔一	理容業

(ウ) 食品衛生関係功労者

氏名	職業
杉山政男	飲食業

イ 保健福祉事務所長表彰（期日：平成24年11月13日実施）

(ア) 医療関係功労者

（医師、歯科医師、薬剤師）

氏名	職業
石内正佳	薬剤師
小島雅彦	医師
杉村和昭	歯科医師
原徹	歯科医師
脇和雄	医師

（看護師、診療放射線技師、鍼灸マッサージ師）

氏名	職業
飯田由美子	診療放射線技師
金城美栄子	歯科衛生士
田原靖夫	鍼灸マッサージ師
西塚ひとみ	看護師
橋本雅枝	看護師
山田恵子	管理栄養士

(イ) 環境衛生関係功労者

氏名	職業
大胡輝雄	ビル総合管理業
吉川雅浩	獣医師

(ウ) 食品衛生関係功労者

氏名	職業
石井忠良	販売業
小沢公一	飲食店営業

(エ) 地域公衆衛生活動関係功労者

氏名	職業等
田中美代子	団体役員

(オ) 施設

施設名	代表者名
山小屋	尾上英雄
和菓子たかはし	高橋利治

(2) 神奈川県献血推進功労者表彰

ア 知事表彰(期日:平成24年11月24日実施)

団体名	代表者名
平塚ライオンズクラブ	三橋勝男

イ 保健福祉事務所長表彰(期日:平成24年11月13日実施)

施設名	代表者名
田中貴金属工業株式会社 湘南工場	奥田晃彦

12 ネットワークづくり

<全課>

(1) 当所主催会議

委員会・会議名	委員数	開催回数			担当課
		委員会	部会等	ワーキング等	
保健福祉サービス連携調整会議	継続看護連絡会	43	1		保健福祉課
	難病委員会	19	1		保健予防課
	母子保健委員会	27	1		保健福祉課
	地域食生活対策推進協議会	14	1	2	保健福祉課
	地域精神保健福祉連絡協議会	34	1		保健予防課
	歯及び口腔の健康づくり推進委員会	16	1	2	保健福祉課
周産期からの児童虐待予防プロジェクト会議	42	1		3	保健福祉課
地域連携クリティカルパス検討委員会	10	1		2	企画調整課
薬物乱用防止推進地域連絡会	20	1			環境衛生課
平塚地区海水浴場対策連絡協議会	15	1			環境衛生課
平塚保健福祉事務所エイズ対策推進協議会	17	1			保健予防課

(2) 市町主催会議

市 町	委員会・会議名	当所主管課	職名又は職種
平塚市	平塚市防災会議	管 理 課	所 長
	平塚市国民健康保険運営協議会	管 理 課	所 長
	平塚市病院運営審議会	管 理 課	所 長
	平塚市国民保護協議会	管 理 課	所 長
	平塚市児童生徒結核対策委員会	管 理 課	所 長
	平塚市学校保健会	管 理 課	所 長
	平塚市保健福祉総合推進委員会	保健福祉課	保健福祉部長
	高齢者サービス調整部会	保健福祉課	福祉職
	平塚市コーディネーター検討会	保健福祉課	福祉職
	障害児者サービス調整部会	保健福祉課	福祉職
	市民健康づくり推進協議会	保健福祉課	保健福祉部長
	次世代育成支援行動計画策定委員会	保健福祉課	課 長
	児童サービス調整部会	保健福祉課	課 長
	平塚市地域包括支援センター運営協議会	保健福祉課	課 長
	平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会	保健福祉課	課長・保健師・福祉職
	地域ケア会議	保健福祉課	保健師・福祉職
	母子保健事業推進連絡会	保健福祉課	保健師
	思春期対策連絡会	保健福祉課	保健師
	障害児の機能訓練に関する関係機関連絡会	保健福祉課	保健師
	子どもの生活習慣病予防対策委員会	保健福祉課	栄養士
	平塚市食育推進委員会	保健福祉課	栄養士
	平塚市障がい者自立支援協議会	保健福祉課	福祉職
	平塚市地域包括支援センター連絡会	保健予防課	福祉職・保健師
	平塚市高齢者虐待防止ネットワーク協議会	保健予防課	課 長
平塚市相談支援チーム会議	保健予防課	福祉職	
平塚市自殺対策実務者担当者会議	保健予防課	福祉職・保健師	
平塚市自殺対策会議	保健予防課	保健予防課長	
平塚市地域生活支援部会 精神分科会	保健予防課	福祉職	
大磯町	大磯町防災会議	管 理 課	所 長
	大磯町国民保護協議会	管 理 課	所 長
	大磯町児童生徒結核対策委員会	管 理 課	所 長
	大磯町社会福祉委員会	保健福祉課	保健福祉部長
	大磯町健康増進計画策定委員会	保健福祉課	課 長
	大磯町介護保険運営協議会	保健福祉課	課 長
	大磯町要保護児童対策地域協議会	保健福祉課	課長・福祉職・保健師
	大磯町食育推進委員会	保健福祉課	栄養士
	大磯町障害福祉センター利用団体連絡会	保健福祉課	福祉職
	大磯町地域ケア会議	保健予防課	福祉職・保健師
	大磯町高齢者見守りネットワーク協議会	保健予防課	課 長
二宮町	二宮町防災会議	管 理 課	所 長
	二宮町国民保護協議会	管 理 課	所 長
	二宮町児童生徒結核対策委員会	管 理 課	所 長
	二宮町災害時医療対策委員会	企画調整課	課 長
	二宮町保健福祉サービス調整機構推進委員会	保健福祉課	保健福祉部長
	二宮町要保護児童対策地域協議会	保健福祉課	課長・福祉職・保健師
	二宮町母子保健推進委員会	保健福祉課	保健師
	二宮町地域ケア会議	保健予防課	福祉職・保健師
	二宮町学校給食センター運営委員会	食品衛生課	生活衛生部長
大磯町・二宮町	二宮町・大磯町自立支援協議会	保健福祉課	課 長
秦野市	秦野市社会福祉審議会	保健福祉課	保健福祉部長
圏域	湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会	保健福祉課	保健福祉部長

第5章

健康で安心できる生活衛生対策

- 1 環境衛生営業施設等
- 2 生活環境施設
- 3 動物保護
- 4 毒物劇物、麻薬取扱施設等
- 5 食品衛生

1 環境衛生営業施設等

<環境衛生課>

県民生活に密着した理容所などの営業施設、プールなどの水浴場を県民が安心して利用できるよう監視指導を実施しました。

(1) 環境衛生営業施設及び監視指導状況

区 分	施設数				許可(確認) 件 数	廃止件数	監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計			
理 容 所	200	18	22	240	2	7	94
美 容 所	335	34	39	408	26	31	181
クリーニング所(一般)	78	5	6	89	2	4	48
クリーニング所(取次)	108	13	16	137	3	7	49
旅 館	26	3	1	30	2	4	32
興 行 場	6		1	7			7
公 衆 浴 場	20	4		24	1	3	24
合 計	773	77	85	935	36	56	435

(年度別環境衛生営業施設数の推移)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
理 容 所	248	253	250	252	247	248	245	240
美 容 所	403	402	400	407	407	406	413	408
クリーニング所	279	264	262	254	254	251	232	226
旅 館	39	37	36	37	37	33	32	30
興 行 場	8	8	8	8	8	7	7	7
公 衆 浴 場	24	25	28	28	28	27	26	24
合 計	1,001	989	984	986	981	972	955	935

(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況

区 分	施設数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
海 水 浴 場	1	1		2	19
更衣休憩所	1	7		8	66
プ ー ル	12	3	3	18	19
合 計	14	11	3	28	104

(3) 海水浴場の水質検査実施状況

区 分	ふん便性 大腸菌群数 (個/100ml)	COD (mg/L)	透明度 (m)	油 膜	pH	判 定
大磯 第1回	7	1.0	1以上	無	8.1	適(水質A)
大磯 第2回	5	3.0	1以上	無	8.2~8.4	可(水質B)

(4) 講習会開催状況

対 象 者	開催回数	内 容	参加者数
環 境 営 業 者	1	理容所の衛生	158
夏期施設等営業者	1	海の家衛生	14
合 計	2		172

2 生活環境施設

< 環境衛生課 >

快適な生活環境を確保するため、浄化槽、特定建築物、水道施設などの監視指導を実施しました。

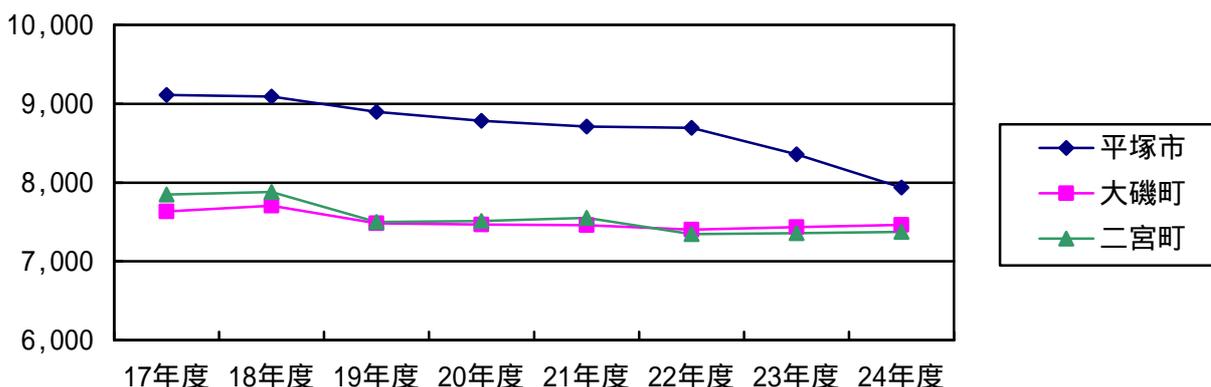
また、浄化槽、昆虫などに関する苦情や相談に対応したほか、いわゆるシックハウス症候群などの居住環境が及ぼす健康への被害を軽減し、快適な住まい方を推進するための個別相談を実施しました。

(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

設置基数				監視指導 件数
平塚市	大磯町	二宮町	合計	
7,937	7,463	7,373	22,773	23

(年度別浄化槽設置数の推移)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
平塚市	9,112	9,093	8,898	8,785	8,711	8,696	8,357	7,937
大磯町	7,632	7,706	7,483	7,466	7,458	7,402	7,435	7,463
二宮町	7,846	7,881	7,499	7,510	7,553	7,344	7,357	7,373
合計	24,590	24,680	23,880	23,761	23,722	23,442	23,149	22,773



(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

登録業者数	登録営業所数	監視指導件数
21	18	19

(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況

区 分	施設数				監視指導 件数
	平塚市	大磯町	二宮町	合計	
事務所	16	1	1	18	3
百貨店・店舗	14	3	2	19	11
学 校	15			15	3
旅 館	6	1		7	6
興行場	6		1	7	
そ の 他	7			7	4
合計	64	5	4	73	27

(4) 建築物衛生管理業者登録数及び監視指導状況

区 分	登録営業所数	監視指導件数
清 掃 業	10	2
空気環境測定業		
ダクト清掃業		
飲料水水質検査業	2	2
飲料水貯水槽清掃業	23	12
排水管清掃業	3	1
ねずみ・昆虫等防除業	10	5
総合管理業	10	5
合 計	58	27

(5) 水道施設数及び監視指導状況

区 分	施 設 数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
専 用 水 道	15	3	1	19	21
簡易専用水道	505	30	24	559	44
小規模水道	1			1	1
小規模受水槽水道	587	38	25	650	7
合 計	1,108	71	50	1,229	73

(6) 化製場等施設数及び監視指導状況

区 分	施 設 数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
化 製 場	1			1	1
死亡獣畜取扱場	1			1	1
合 計	2	0	0	2	2

(7) 温泉施設数等及び監視指導状況

区 分	施 設 数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
源 泉	3	1	2	6	7
温泉採取施設	3	1	2	6	7
温泉利用施設	4	1	1	6	7

(8) 苦情・相談等処理状況

浄化槽	ねずみ・昆虫	飲料水	住まい	その他	合 計
1	29	1	1	3	35

3 動物保護

<環境衛生課>

犬によるこう傷事故の再発防止を図るため、事故を起こした飼い主に対する飼育指導を実施しました。

また、犬等に関する苦情、相談等について対応し、適正飼育の啓発、指導を実施するとともに、飼えなくなった犬や猫の引取りを実施しました。

(1) こう傷事故の発生状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
件 数	14	5	4	23

(2) 犬、猫等の苦情相談等の対応状況

区 分	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害	そ の 他	合 計
処理件数	6	2	93	8	109

(3) 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	その他	合 計
犬	2				2
猫	1				1
合 計	3	0	0	0	3

4 毒物劇物、麻薬取扱施設等

<環境衛生課>

毒物劇物の製造・輸入業者や販売業者等施設の監視を実施し、適正な保管管理の徹底指導を実施しました。

また、湘南ベルマーレの試合において薬物乱用防止キャンペーンを実施するなど薬物乱用防止の推進を図りました。

(1) 薬物乱用防止キャンペーン等

月 日	内 容	会 場
7月29日	サッカー試合前及びハーフタイムにおける啓発	平塚競技場
10月14日	大磯チャレンジフェスタ2012における啓発	大磯運動公園

(2) 毒物・劇物販売業者数等

区 分	毒物・劇物販売業					製造業	輸入業	業務上 取扱者
	一 般		農業用品目	特定品目	計			
	専 業	兼 業						
平塚市	57	48	17	7	129	20	7	8
大磯町	1	7	1	1	10			
二宮町		7	2		9			1
合 計	58	62	20	8	148	20	7	9

(3) 毒物・劇物販売業者等登録・届出取扱件数

区 分	毒物・劇物販売業				業務上 取扱者	合 計
	一 般	農業用品目	特定品目	計		
新規登録申請	5			5		5
登録更新申請	16	5	2	23		23
変 更 届	27	9		36	2	38
廃 止 届	14	1		15		15

(4) 毒物・劇物監視指導状況

区 分	毒物・劇物販売業					製造業	輸入業	業務上 取扱者
	一 般		農業用品目	特定品目	計			
	専 業	兼 業						
対 象 数	57	63	20	8	148	20	7	9
立入検査数	17	21	5	2	45	9	3	

(5) 麻薬監視指導状況

区 分	麻薬卸売 業 者	麻薬小売 業 者	病 院	診療所等	麻 薬 研究者	合 計
施 設 数		79	9	100	8	196
立入検査数		38	13	3	5	59

(6) 免許事務取扱件数

区 分	新規申請	継続申請	廃止・返納届
麻薬取扱者	91	207	277

5 食品衛生

< 食品衛生課 >

地域の人々の食の安全を確保するため、営業施設に対する監視指導、食品の検査、食品衛生講習会等の事業を実施するとともに、違反、苦情への対応や食中毒に関する調査、再発防止指導等を実施しました。

(1) 食品営業施設数及び監視件数

ア 許可営業

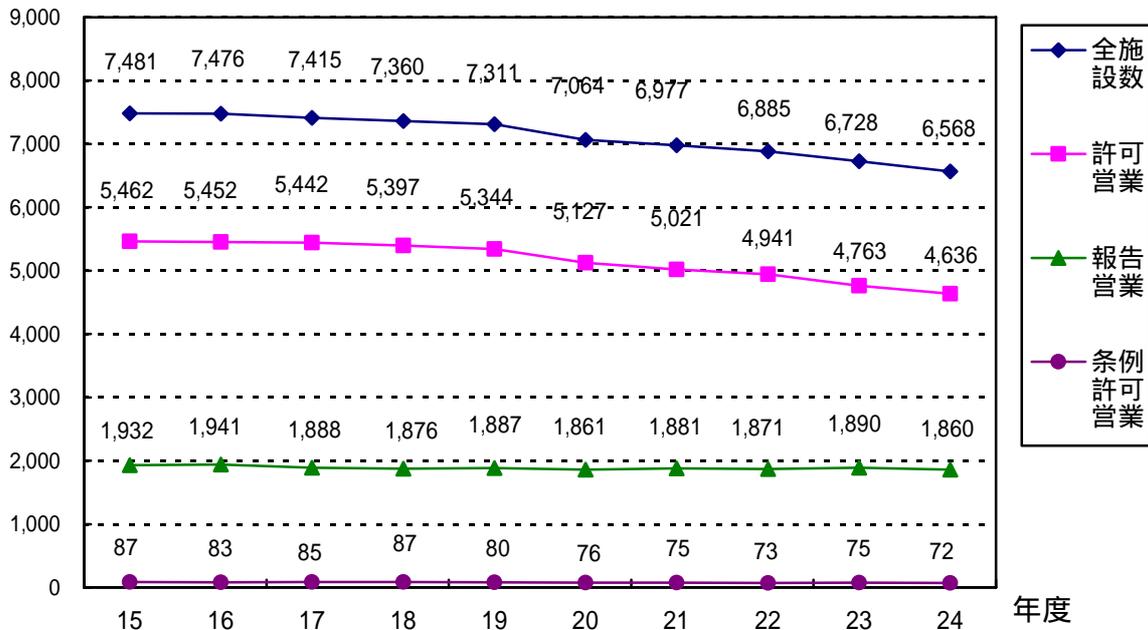
区分	施設数					監視件数	取扱件数			
	平塚市	大磯町	二宮町	移動営業	計		新規	更新	廃業	
法 許 可	飲食店営業	2,268	181	158	79	2,686	2,407	250	231	307
	菓子製造業	170	24	24	11	229	232	23	22	18
	乳処理業	1		1		2	2			
	乳製品製造業	3		1		4	2			
	魚介類販売業	234	40	29	1	304	275	31	20	19
	魚介類競り売り営業	1	1			2	1			
	魚肉練り製品製造業	1	2			3	5		1	
	食品の冷凍又は冷蔵業	6	1			7	8			
	缶詰又は瓶詰食品製造業	2				2	4		1	
	喫茶店営業	411	22	16	6	455	159	29	68	91
	あん類製造業	3				3	16			
	アイスクリーム類製造業	2				2	3			1
	乳類販売業	465	48	43		556	366	24	94	53
	食肉処理業	19				19	26	1	3	2
	食肉販売業	220	30	28	1	279	261	27	21	21
	食肉製品製造業	4				4	6	1	1	
	みそ製造業	1		2		3	6		2	
	しょう油製造業			1		1	2			
	豆腐製造業	10	2	1		13	13		5	2
	めん類製造業	12		1		13	21		2	
	総菜製造業	26	3	4		33	40	5	3	3
	添加物製造業	6				6	5		2	
	清涼飲料水製造業	3		1		4	6			
氷雪製造業	1				1	1				
氷雪販売業	3	1	1		5	1		1	1	
小計	3,872	355	311	98	4,636	3,868	391	477	518	
県 条 例	魚介類行商	14	3	1	2	20	13		2	2
	魚介類加工業	18	4	8		30	35	2	2	3
	発酵乳等販売業	20		2		22	5			
	小計	52	7	11	2	72	53	2	4	5
合計	3,924	362	322	100	4,708	3,921	393	481	523	

茅ヶ崎駐在事務所の対象施設監視件数については、平成22年度から県食品衛生課で集計しています。

イ 報告営業

区分	施設数					監視件数	取扱件数	
	平塚市	大磯町	二宮町	移動営業	計		新規	廃業
給食施設	学校	13	2	1		16		
	病院・診療所	8	1			9		5
	事業所	4	2			6	5	
	その他	68	6	9		83	78	3
乳さく取業	76	24	11		111			
食品製造業	72	12	14		98	83	1	20
野菜果物販売業	196	31	27	5	259	179	12	13
総菜販売業	55	2	5	2	64	177	1	1
菓子販売業	350	32	45	6	433	215	6	2
食品販売業	569	90	83	1	743	863	24	34
添加物の製造業	1				1	3		
添加物の販売業	2	1			3	29		
器具、容器包装、おもちゃの製造又は販売業	29	1	4		34	134		
合計	1,443	204	199	14	1,860	1,789	47	77

ウ 営業施設数の推移



エ 食品衛生夏期・年末総点検

(ア) 動員数及び施設点検数

区分	動員数 (延人数)		施設点検数 (延べ数)	
	食品衛生監視員	食品衛生指導員	食品衛生監視員	食品衛生指導員
夏期 (7月1日～8月31日)	264	182	2,126	952
年末 (12月1日～12月28日)	95	113	554	737
合計	359	295	2,680	1,689

(イ) 食品の点検数

区分	食品点検数	収去件数	違反件数
夏期 (7月1日～8月31日)	10,630	35	2
年末 (12月1日～12月28日)	3,324	11	
合計	13,954	46	2

(2) 食品等の収去検査

	検体数	検査結果	
		適	不適
一般食品	135	135	
乳肉食品	10	10	
合計	145	145	0

(3) 食中毒

ア 食中毒発生状況

発生日	発生場所	摂食者数	患者数	原因食品	病因物質	措置状況
4月8日	不明	1	1	不明	アニサキス	-
7月15日	飲食店	14	13	牛すき焼重弁当(推定)	黄色ブドウ球菌	営業禁止

イ 過去5年間の食中毒発生状況(管内)

区分	発生件数	摂食者数	患者数	食中毒警報発令期間	日数	ノロウイルス食中毒警戒情報発令期間
20年度	2	167	57	7月31日～10月14日	76	11月17日～3月31日
21年度	4	490	178	8月13日～10月21日	70	12月7日～3月31日
22年度	2	11	8	7月27日～10月21日	87	11月15日～3月31日
23年度	3	76	21	7月27日～10月19日	85	10月31日～3月31日
24年度	2	15	14	7月31日～10月16日	78	11月12日～3月31日

(4) 違反処理

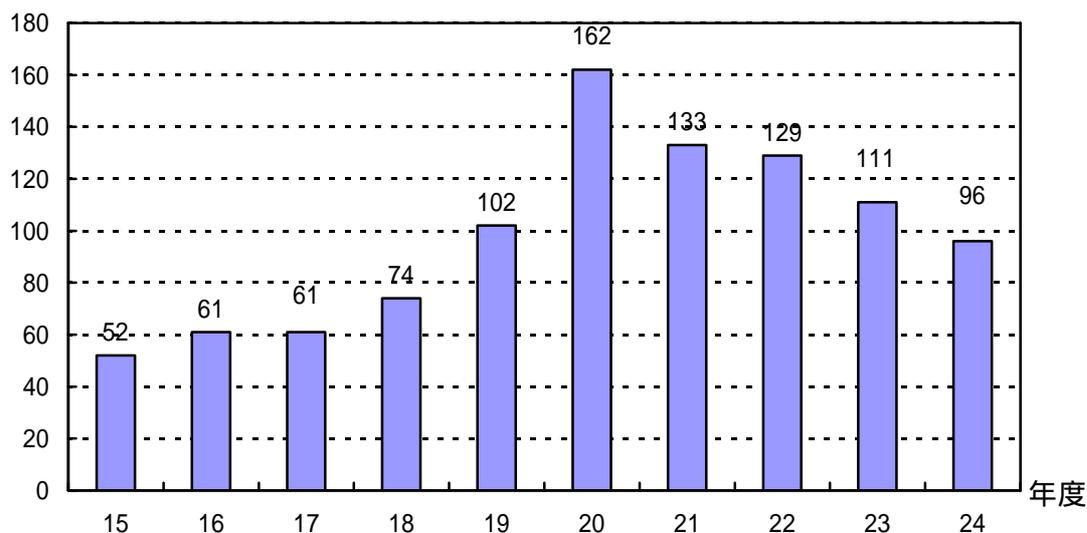
判明月	品名	違反内容	措置
8月	特撰あさり	表示(販売者住所・販売者固有記号)	適正表示後販売を指導
	ソフトわかさぎ	表示(販売者住所・販売者固有記号)	適正表示後販売を指導
9月	ラスク(シュガー)	表示(製造所所在地・製造所名称)	適正表示後販売を指導
	黒ごまラスク	表示(製造所所在地・製造所名称)	適正表示後販売を指導

(5) 苦情処理

ア 苦情内容

		異物	かび	腐敗・変敗	異味・異臭	不衛生取扱	有症苦情	その他	合計
食品	乳・乳製品、乳類加工品	1				1			2
	魚介類及びその加工品	4			1	1	5	1	12
	肉類・卵及びその加工品	4		1			6	4	15
	穀類及びその加工品	1							1
	豆類及びその加工品								0
	野菜類及びその加工品	4		2		1	2	5	14
	菓子類	3		1	1	1		3	9
	複合調理食品	6					6	1	13
	その他					1	5	2	8
	小計		23	0	4	2	5	24	16
施設等に関するもの					1	14		7	22
合計		23	0	4	3	19	24	23	96

イ 苦情処理件数の推移



ウ 苦情内容別の推移

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
15年度	不衛生取扱	異物	有症苦情	異味・異臭	その他
16年度	有症苦情	異物	不衛生取扱	かび	腐敗・変敗
17年度	異物	不衛生取扱	その他	有症苦情	腐敗・変敗
18年度	異物	有症苦情	不衛生取扱	腐敗・変敗 /	その他
19年度	有症苦情	異物	不衛生取扱	表示	異味・異臭
20年度	有症苦情	その他	異物	不衛生取扱	異味・異臭
21年度	有症苦情	その他	異物	不衛生取扱	異味・異臭
22年度	有症苦情	その他	不衛生取扱	異物	異味・異臭
23年度	有症苦情	その他	不衛生取扱	異物	異味・異臭
24年度	有症苦情	異物 /	その他	不衛生取扱	腐敗・変敗

その他の内訳：賞味期限切れ（7）、表示不備（3）、騒音（2）等

(6) 食品衛生講習会

ア 営業者等講習会

対象	内容	開催回数	参加者数
食品衛生責任者・調理従事者等	食品衛生・食中毒予防について	34	3,002

イ 消費者講習会

対象	内容	開催回数	参加者数
食生活改善グループ等	食品衛生・食中毒予防について	2	42

資料

- 1 平塚保健福祉事務所の沿革等
- 2 人口
- 3 衛生統計
- 4 市町における健康診査実施状況
- 5 各種委員会委員
- 6 職員研究論文等一覧

1 平塚保健福祉事務所の沿革等

(1) 沿革

年月日	平塚保健所	中福祉事務所
昭和17年12月8日	現在地に保健所を開設し、所管区域を平塚市及び中郡の1市5町14村とする。	
23年1月1日	昭和22年9月に全面改正された保健所法が施行され、保健所業務を開始する。	
26年6月12日	秦野町ほか4か村を所管する秦野出張所を置く。	
26年10月1日		社会福祉事業法の施行に伴い、中地方事務所の庁舎内に庶務課、保護課の2課体制により、中郡を管轄地域とする中福祉事務所が設置される。
28年4月1日	秦野出張所が支所に昇格する。	
30年7月1日		行政組織規則の一部改正により、次長制が廃止され、保護課が福祉課となる。
32年4月1日	当所に神奈川県精神衛生相談所を併設する。	
33年4月1日	秦野支所が保健所に昇格し、所管区域が変更（平塚市、大磯町、二宮町）になる。	
35年4月1日	神奈川県精神衛生相談所を神奈川県平塚精神衛生所と改称する。	
39年9月24日	現在地に庁舎を改築する。	
40年10月1日	精神衛生法の改正により、平塚精神衛生相談所を廃止する。	
42年6月2日		行政組織規則の一部改正により、次長制が施行され、庶務課が総務課に、福祉課が保護課となる。
44年7月16日		行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、中福祉事務所が湘南福祉事務所となり、総務課が管理課となるとともに、所管区域が三浦郡葉山町、高座郡寒川町、中郡大磯町、二宮町の4町となる。
45年7月16日	行政組織規則の一部改正により、管理課、保健予防課、衛生課、保健婦室の3課1室となる。次長制を施行する。	
46年6月1日	中郡二宮町百合ヶ丘に二宮保健ステーションを開設する。	

49年8月1日	行政組織規則の一部改正により、衛生課が環境衛生課と食品衛生課となる。	行政組織規則の一部改正により、管理課に管理係、保護課に保護係、福祉係が置かれ、2課3係体制となる。
54年6月1日	管理係、指導係を廃止し、管理調整班、企画指導班とする。	
55年8月1日	保健予防課、環境衛生課、食品衛生課、保健婦室の各係を廃止し、班制を施行する。	
56年6月1日		行政組織規則の一部改正により、保護課が福祉課となり、保護係と福祉係が廃止される。
57年6月1日		行政組織規則の一部改正により、管理係が廃止される。
58年6月1日	行政組織規則の一部改正により、保健婦室が健康指導課となる。	
59年4月1日	二宮保健ステーションを二宮町に移管。行政組織規則の一部改正により、試験検査部門が茅ヶ崎保健所に統合される。	
60年4月16日		行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、湘南地区行政センターと湘南福祉事務所が統合され、湘南地区行政センター福祉部となり、地域福祉課、生活福祉課の2課体制となる。所管区域のうち、三浦郡葉山町が横須賀三浦地区行政センターの所管となる。
平成3年8月1日	平塚保健所庁舎建替工事に伴い、仮庁舎（平塚市豊原町2の21）に移転する。	
5年4月1日	新庁舎完成に伴い、現在地に移転する。行政組織規則の一部改正により、保健衛生部及び環境衛生部が設置され、2部5課となる。	社会福祉関係8法の改正により、身体障害者福祉法及び老人福祉法関係事務が町に委譲される。
平成9年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、平塚保健所と湘南地区行政センター福祉部が統合され、平塚保健福祉事務所（併せて平塚保健所、中福祉事務所）となり、管理課、企画調整室、保健福祉部（保健福祉課、保健予防課、生活福祉課）、生活衛生部（環境衛生課、食品衛生課）の2部1室6課体制となる。中福祉事務所の所管区域のうち、高座郡寒川町が茅ヶ崎保健福祉事務所の所管となる。	
17年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、衛生部及び福祉部が統合され保健福祉部となり、地域保健福祉課が本課となる。	
19年6月1日	行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2部7課体制となる。	
20年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となり、保健福祉総務課が本課となる。	
22年4月1日	部設置条例及び行政組織規則の一部改正により、保健福祉局企画調整部企画調整課が本課となる。	

2 人口

(1) 人口及び世帯数等（湘南西部二次保健医療圏域）

ア 人口及び世帯数等

（平成24年10月1日現在）

区 分	面積 (km ²)	世帯数	人 口			人口密度 (人/km ²)	一世帯当 たりの人員	人口増加率 前年比
			総 数	男	女			
圏 域 計	253.22	241,896	592,427	299,647	292,780	2,340	2.45	99.78
平 塚 市	67.83	105,369	259,371	130,943	128,428	3.826	2.46	99.65
秦 野 市	103.61	70,506	169,961	86,961	83,000	1,640	2.41	100.01
伊 勢 原 市	55.52	41,918	101,042	51,565	49,477	1,820	2.41	99.91
大 磯 町	17.18	12,617	32,748	15,954	16,794	1,903	2.60	99.28
二 宮 町	9.08	11,486	29,305	14,224	15,081	3,227	2.55	99.74
神 奈 川 県	2,415.86	3,904,694	9,072,133	4,544,744	4,527,389	3.755	2.32	100.80

県統計センター「神奈川県人口と世帯」より。

面積は「全国都道府県市町村別面積調」より。平塚市及び大磯町については、境界未確定のため、参考値。

イ 年齢階級(3区分)別人口の割合

（平成24年1月1日現在）

区 分	総 数	年 少 人 口		生 産 年 齢 人 口		老 年 人 口	
		0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏 域 計	593,653	76,142	12.9	385,540	65.1	130,639	22.1
平 塚 市	260,149	33,986	13.1	169,218	65.1	56,855	21.9
秦 野 市	170,085	21,073	12.5	111,990	66.2	36,010	21.3
伊 勢 原 市	101,139	13,559	13.4	66,777	66.1	20,618	20.4
大 磯 町	32,935	4,067	12.4	19,810	60.2	9,037	27.5
二 宮 町	29,345	3,457	11.8	17,745	60.5	8,119	27.7
神 奈 川 県	9,060,257	1,182,523	13.1	5,957,088	66.1	1,868,418	20.7

県統計センター「神奈川県年齢別人口統計調査」より。

総数には「年齢不詳」を含む。

<参考> 高齢化の定義

国連は老年人口(65歳以上)の比率により以下のとおり区分している。

「高齢化社会」 ... 7%～14%

「高齢社会」 ... 14%～21%

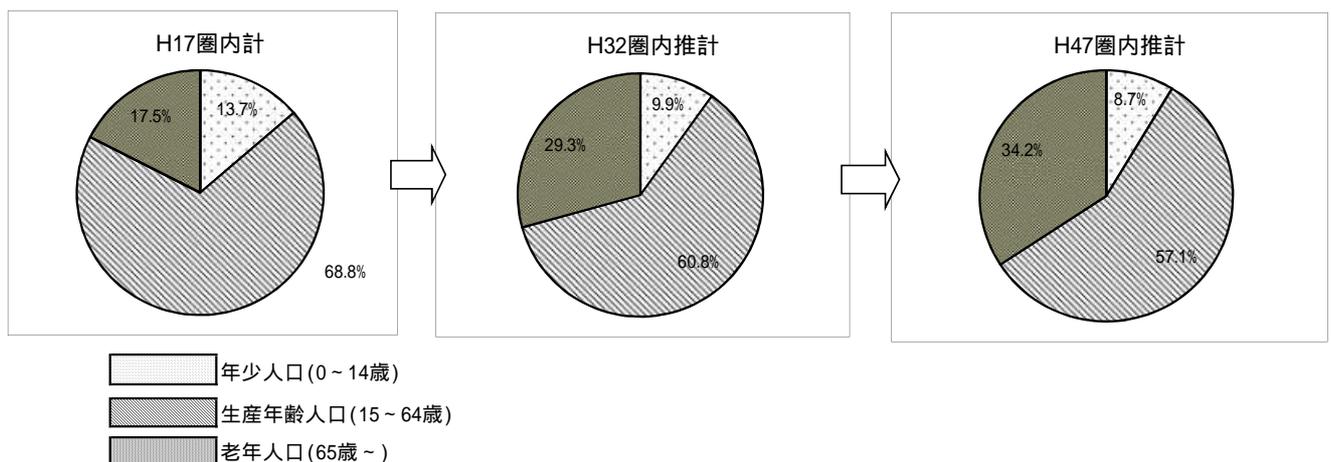
「超高齢社会」 ... 21%～

(2) 将来推定人口（年齢階級（3区分）別）

区分	総人口			年少人口（0～14歳）					
				H 17		H 32		H 47	
	H 17	H 32	H 47	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏域計	581,310	579,476	525,429	79,730	13.7%	57,088	9.9%	45,513	8.7%
平塚市	258,957	257,006	235,139	35,240	13.6%	26,053	10.1%	20,937	8.9%
秦野市	168,318	164,296	148,361	22,050	13.1%	15,218	9.3%	12,138	8.2%
伊勢原市	100,579	99,230	90,929	14,485	14.4%	10,378	10.5%	8,178	9.0%
大磯町	23,211	31,387	27,868	3,901	16.8%	2,843	9.1%	2,276	8.2%
二宮町	30,245	27,557	23,132	4,054	13.4%	2,596	9.4%	1,984	8.6%
神奈川県	8,791,597	8,983,875	8,525,080	1,189,871	13.5%	931,200	10.4%	770,238	9.0%

区分	生産年齢人口（15～64歳）						老年人口（65歳以上）					
	H 17		H 32		H 47		H 17		H 32		H 47	
	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏域計	400,018	68.8%	352,318	60.8%	300,097	57.1%	101,562	17.5%	170,070	29.3%	179,819	34.2%
平塚市	178,146	68.8%	156,330	60.8%	135,075	57.4%	45,571	17.6%	74,623	29.0%	79,127	33.7%
秦野市	119,740	71.1%	100,377	61.1%	85,249	57.5%	26,528	15.8%	48,701	29.6%	50,974	34.4%
伊勢原市	70,726	70.3%	62,456	62.9%	53,012	58.3%	15,368	15.3%	26,396	26.6%	29,739	32.7%
大磯町	11,900	51.3%	17,794	56.7%	14,962	53.7%	7,410	31.9%	10,750	34.2%	10,630	38.1%
二宮町	19,506	64.5%	15,361	55.7%	11,799	51.0%	6,685	22.1%	9,600	34.8%	9,349	40.4%
神奈川県	6,115,174	69.6%	5,707,403	63.5%	5,036,390	59.1%	1,486,552	16.9%	2,345,272	26.1%	2,718,452	31.9%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成20年12月推計）より。



(3) 年齢階級（3区分）別人口の割合及び年齢構造指数の推移（管内市町）

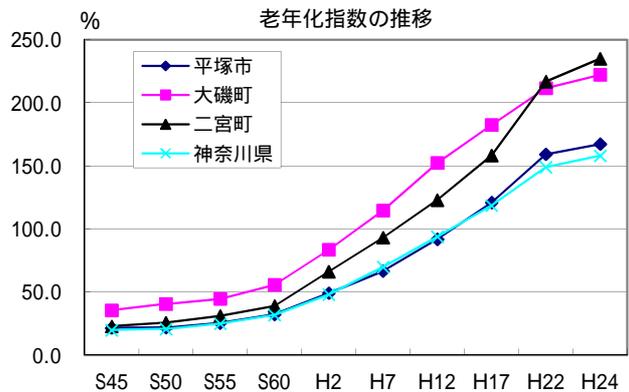
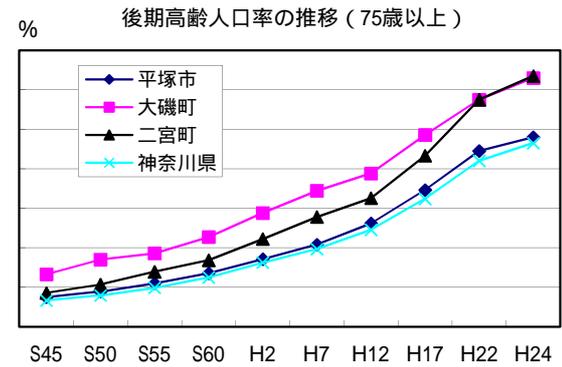
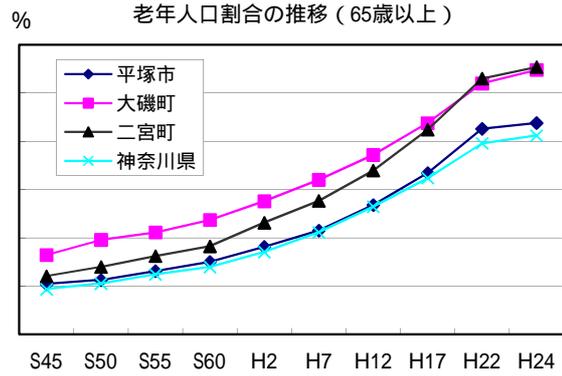
(昭和45～50年：10月1日現在 昭和55～平成24年：1月1日現在)

区 分	人 口 (人)						割 合 (%)				
	総 数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢 人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	(再掲)後期 高齢人口 (75歳以上)	不 詳	年 少 人 口	生 産 年 齢 人 口	老 年 人 口	後 期 高 齢 人 口	
昭和45年	管内計	211,475	51,385	148,105	11,985	3,509	0	24.3	70.0	5.7	1.7
	平塚市	163,671	39,562	115,588	8,521	2,444	0	24.2	70.6	5.2	1.5
	大磯町	26,154	6,086	17,912	2,156	694	0	23.3	68.5	8.2	2.7
	二宮町	21,650	5,737	14,605	1,308	371	0	26.5	67.5	6.0	1.7
	神奈川県	5,472,247	1,301,772	3,914,556	255,919	72,634	0	23.8	71.5	4.7	1.3
昭和50年	管内計	248,360	64,113	168,732	15,496	4,955	19	25.8	67.9	6.2	2.0
	平塚市	195,635	50,582	134,010	11,026	3,475	17	25.9	68.5	5.6	1.8
	大磯町	27,866	6,756	18,377	2,731	948	2	24.2	65.9	9.8	3.4
	二宮町	24,859	6,775	16,345	1,739	532	0	27.3	65.8	7.0	2.1
	神奈川県	6,397,748	1,632,021	4,424,772	337,305	101,146	3,650	25.5	69.2	5.3	1.6
昭和55年	管内計	267,884	68,527	180,162	19,176	6,492	19	25.6	67.3	7.2	2.4
	平塚市	211,560	54,481	143,188	13,874	4,649	17	25.8	67.7	6.6	2.2
	大磯町	29,566	7,020	19,417	3,127	1,098	2	23.7	65.7	10.6	3.7
	二宮町	26,758	7,026	17,557	2,175	745	0	26.3	65.6	8.1	2.8
	神奈川県	6,883,651	1,720,348	4,731,491	428,162	135,608	3,650	25.0	68.7	6.2	2.0
昭和60年	管内計	287,582	66,326	197,753	23,424	8,558	79	23.1	68.8	8.1	3.0
	平塚市	227,638	52,940	157,524	17,103	6,174	71	23.3	69.2	7.5	2.7
	大磯町	31,074	6,623	20,762	3,684	1,412	5	21.3	66.8	11.9	4.5
	二宮町	28,870	6,763	19,467	2,637	972	3	23.4	67.4	9.1	3.4
	神奈川県	7,349,993	1,622,658	5,187,620	514,020	183,853	25,695	22.1	70.6	7.0	2.5
平成2年	管内計	306,964	55,813	220,962	30,080	11,547	109	18.2	72.0	9.8	3.8
	平塚市	245,950	45,445	178,114	22,313	8,419	78	18.5	72.4	9.1	3.4
	大磯町	31,599	5,222	21,994	4,361	1,821	22	16.5	69.6	13.8	5.8
	二宮町	29,415	5,146	20,854	3,406	1,307	9	17.5	70.9	11.6	4.4
	神奈川県	7,910,382	1,408,088	5,823,321	675,579	256,992	3,394	17.8	73.6	8.5	3.2
平成7年	管内計	316,816	50,106	229,885	36,716	14,486	109	15.8	72.6	11.6	4.6
	平塚市	253,951	41,047	185,514	27,312	10,562	78	16.2	73.1	10.8	4.2
	大磯町	32,296	4,514	22,587	5,173	2,224	22	14.0	69.9	16.0	6.9
	二宮町	30,569	4,545	21,784	4,231	1,700	9	14.9	71.3	13.8	5.6
	神奈川県	8,238,840	1,250,044	6,091,411	871,804	323,770	25,581	15.2	73.9	10.6	3.9
平成12年	管内計	317,239	45,310	226,600	45,305	17,811	24	14.3	71.4	14.3	5.6
	平塚市	253,803	37,063	182,706	34,010	13,275	24	14.6	72.0	13.4	5.2
	大磯町	32,327	3,947	22,368	6,012	2,510	0	12.2	69.2	18.6	7.8
	二宮町	31,109	4,300	21,526	5,283	2,026	0	13.8	69.2	17.0	6.5
	神奈川県	8,446,174	1,191,311	6,130,079	1,117,742	414,422	7,042	14.1	72.6	13.2	4.9
平成17年	管内計	320,140	43,571	219,940	56,587	23,604	42	13.6	68.7	17.7	7.4
	平塚市	257,251	35,598	178,622	43,025	17,815	6	13.8	69.4	16.7	6.9
	大磯町	32,534	3,905	21,474	7,124	3,160	31	12.0	66.0	21.9	9.7
	二宮町	30,355	4,068	19,844	6,438	2,629	5	13.4	65.4	21.2	8.7
	神奈川県	8,748,731	1,195,834	6,121,210	1,416,942	566,450	14,745	13.7	70.0	16.2	6.5
平成22年	管内計	322,551	42,441	208,041	71,785	30,247	284	13.2	64.5	22.3	9.4
	平塚市	260,085	34,772	169,891	55,373	23,065	49	13.4	65.3	21.3	8.9
	大磯町	32,785	4,037	20,186	8,537	3,766	25	12.3	61.6	26.0	11.5
	二宮町	29,681	3,632	17,964	7,875	3,416	210	12.2	60.5	26.5	11.5
	神奈川県	9,008,132	1,198,085	5,986,690	1,784,794	754,686	38,563	13.3	66.5	19.8	8.4
平成24年	管内計	322,429	41,510	206,773	74,011	32,880	135	12.9	64.1	23.0	10.2
	平塚市	260,149	33,986	169,218	56,855	25,010	90	13.1	65.0	21.9	9.6
	大磯町	32,935	4,067	19,810	9,037	4,155	21	12.3	60.1	27.4	12.6
	二宮町	29,345	3,457	17,745	8,119	3,715	24	11.8	60.5	27.7	12.7
	神奈川県	9,060,257	1,182,523	5,957,088	1,868,418	839,115	52,228	13.1	65.7	20.6	9.3

昭和45～50年は総務庁統計局「国勢調査」、昭和55～平成24年は県統計センター「神奈川県年齢別人口統計調査」より。

区 分		年 齢 構 造 指 数				(参考)
		従 属 人 口 指 数	年 少 人 口 指 数	老 年 人 口 指 数	老 年 化 指 数	10月1日 現在人口
昭和 45年	総 数	42.8	34.7	8.1	23.3	211,475
	平 塚 市	41.6	34.2	7.4	21.5	163,671
	大 磯 町	46.0	34.0	12.0	35.4	26,154
	二 宮 町	48.2	39.3	9.0	22.8	21,650
	神奈川県	39.8	33.3	6.5	19.7	5,472,247
昭和 50年	総 数	47.2	38.0	9.2	24.2	248,360
	平 塚 市	46.0	37.7	8.2	21.8	195,635
	大 磯 町	51.6	36.8	14.9	40.4	27,866
	二 宮 町	52.1	41.4	10.6	25.7	24,859
	神奈川県	44.5	36.9	7.6	20.7	6,397,748
昭和 55年	総 数	48.7	38.0	10.6	28.0	271,445
	平 塚 市	47.7	38.0	9.7	25.5	214,293
	大 磯 町	52.3	36.2	16.1	44.5	29,931
	二 宮 町	52.4	40.0	12.4	31.0	27,221
	神奈川県	45.4	36.4	9.0	24.9	6,924,348
昭和 60年	総 数	45.4	33.5	11.8	35.3	290,137
	平 塚 市	44.5	33.6	10.9	32.3	229,990
	大 磯 町	49.6	31.9	17.7	55.6	31,211
	二 宮 町	48.3	34.7	13.5	39.0	28,936
	神奈川県	41.2	31.3	9.9	31.7	7,431,974
平成 2年	総 数	38.9	25.3	13.6	53.9	306,964
	平 塚 市	38.0	25.5	12.5	49.1	245,950
	大 磯 町	43.6	23.7	19.8	83.5	31,599
	二 宮 町	41.0	24.7	16.3	66.2	29,415
	神奈川県	35.8	24.2	11.6	48.0	7,980,391
平成 7年	総 数	37.8	21.8	16.0	73.3	316,683
	平 塚 市	36.8	22.1	14.7	66.5	253,822
	大 磯 町	42.9	20.0	22.9	114.6	32,285
	二 宮 町	40.3	20.9	19.4	93.1	30,576
	神奈川県	34.8	20.5	14.3	69.7	8,245,900
平成 12年	総 数	40.0	20.0	20.0	100.0	317,692
	平 塚 市	38.9	20.3	18.6	91.8	254,630
	大 磯 町	44.5	17.6	26.9	152.3	32,261
	二 宮 町	44.5	20.0	24.5	122.9	30,801
	神奈川県	37.7	19.4	18.2	93.8	8,489,932
平成 17年	総 数	45.5	19.8	25.7	129.9	321,878
	平 塚 市	44.0	19.9	24.1	120.9	259,017
	大 磯 町	51.4	18.2	33.2	182.4	32,598
	二 宮 町	52.9	20.5	32.4	158.3	30,263
	神奈川県	42.7	19.5	23.1	118.5	8,790,900
平成 22年	総 数	54.9	20.4	34.5	169.1	323,338
	平 塚 市	53.1	20.5	32.6	159.2	260,776
	大 磯 町	62.3	20.0	42.3	211.5	33,038
	二 宮 町	64.1	20.2	43.8	216.8	29,524
	神奈川県	49.8	20.0	29.8	149.0	9,049,500
平成 24年	総 数	55.9	20.1	35.8	178.3	322,651
	平 塚 市	53.7	20.1	33.6	167.3	259,371
	大 磯 町	66.1	20.5	45.6	222.2	32,748
	二 宮 町	65.2	19.5	45.8	234.9	29,305
	神奈川県	51.2	19.9	31.4	158.0	9,072,133

(10月1日現在人口は、昭和45年～平成7年まで総務庁統計局「国勢調査」、平成12年～平成24年まで県統計センター「神奈川県の人口と世帯」より。)



従属人口指数...生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の比率。
 年少人口指数...生産年齢人口に対する年少人口の比率。
 老年人口指数...生産年齢人口に対する老年人口の比率。
 老年化指数...年少人口に対する老年人口の比率。

3 衛生統計(平成23年分)

(1) 年次別人口動態件数・率(管内)

区分	出生				死亡			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率
昭和50年	4,697	2,424	2,273	18.9	1,174	622	552	4.7
昭和55年	3,816	2,019	1,797	14.1	1,245	654	591	4.6
昭和60年	3,257	1,689	1,568	11.2	1,442	777	665	5.0
平成2年	2,881	1,498	1,383	9.4	1,658	914	744	5.4
平成7年	2,896	1,491	1,405	9.1	1,955	1,044	911	6.2
平成12年	2,786	1,381	1,405	8.8	2,076	1,168	908	6.5
平成17年	2,557	1,295	1,262	7.9	2,454	1,396	1,058	7.6
平成18年	2,637	1,332	1,305	8.2	2,393	1,311	1,082	7.4
平成19年	2,610	1,382	1,228	8.1	2,472	1,346	1,126	7.7
平成20年	2,546	1,262	1,284	7.9	2,552	1,377	1,175	7.9
平成21年	2,485	1,251	1,234	7.7	2,636	1,416	1,220	8.2
平成22年	2,469	1,253	1,216	7.6	2,698	1,469	1,229	8.3
平成23年	2,318	1,170	1,148	7.2	2,948	1,597	1,351	9.1
区分	乳児死亡				新生児死亡			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率
昭和50年	41	26	15	8.7	26	17	9	5.5
昭和55年	27	13	14	7.1	18	10	8	4.7
昭和60年	14	10	4	4.3	13	9	4	4.0
平成2年	13	5	8	4.5	9	4	5	3.1
平成7年	16	5	11	5.5	9	2	7	3.1
平成12年	11	7	4	3.9	8	5	3	2.9
平成17年	9	6	3	3.5	6	4	2	2.3
平成18年	4	2	2	1.5	0	0	0	0.0
平成19年	7	2	5	2.7	2	0	2	0.8
平成20年	5	1	4	2.0	3	0	3	1.2
平成21年	3	2	1	1.2	1	1	0	0.4
平成22年	5	4	1	2.0	4	3	1	1.6
平成23年	6	4	2	2.6	2	1	1	0.9
区分	死産		周産期死亡		婚姻		離婚	
	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率
昭和50年	190	38.9	2,213	8.9	272	1.1
昭和55年	131	33.2	1,825	6.7	361	1.3
昭和60年	113	33.5	1,695	5.8	437	1.3
平成2年	101	33.9	1,827	6.0	441	1.0
平成7年	67	22.6	21	7.2	1,978	6.2	510	1.6
平成12年	90	31.3	19	6.8	1,994	6.3	660	2.1
平成17年	62	23.7	13	5.1	1,862	5.8	657	2.0
平成18年	69	25.5	17	6.4	1,819	5.6	609	1.9
平成19年	86	31.9	18	6.7	1,722	5.3	665	2.1
平成20年	59	22.6	6	2.4	1,653	5.1	646	2.0
平成21年	55	21.7	6	2.4	1,671	5.2	623	1.9
平成22年	63	24.9	12	4.7	1,532	4.7	633	2.0
平成23年	68	28.5	10	4.2	1,499	4.6	621	1.9

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

人口動態統計データは、厚生労働省公表データが出典資料となるため、公表時期の関係から、平成23年の統計数値を掲載しています。

乳児死亡率、新生児死亡率は出生千対、死産率、周産期死亡率は出産(出生+死産)千対、その他は人口(各年10月現在)千対率。

死産の総数には不詳を含みます。

(2) 管内市町別人口動態件数・率

(平成23年)

区 分	出 生				死 亡			
	総 数	男	女	率	総 数	男	女	率
管 内	2,318	1,170	1,148	7.2	2,948	1,597	1,351	9.1
平 塚 市	1,947	983	964	7.5	2,281	1,259	1,022	8.8
大 磯 町	210	113	97	6.4	355	179	176	10.8
二 宮 町	161	74	87	5.5	312	159	153	10.6
神 奈 川 県	76,000	39,073	36,927	8.4	70,946	38,933	32,013	7.8

区 分	乳 児 死 亡				新 生 児 死 亡			
	総 数	男	女	率	総 数	男	女	率
管 内	6	4	2	2.6	2	1	1	0.9
平 塚 市	5	3	2	2.6	2	1	1	1.0
大 磯 町	1	1	0	4.8	0	0	0	0.0
二 宮 町	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
神 奈 川 県	209	114	95	2.8	111	63	48	1.5

区 分	死 産		周産期死亡		婚 姻		離 婚	
	総 数	率	総 数	率	総 数	率	総 数	率
管 内	68	28.5	10	4.2	1,499	4.6	621	1.9
平 塚 市	58	28.9	9	4.6	1,277	4.9	528	2.0
大 磯 町	4	18.7	1	4.7	116	3.5	51	1.6
二 宮 町	6	35.9	0	0.0	106	3.6	42	1.4
神 奈 川 県	1,706	22.0	325	4.3	50,806	5.6	16,792	1.9

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

乳児死亡率、新生児死亡率は出生千対、死産率、周産期死亡率は出産(出生+死産)千対、
 その他は人口千対率。

死産の総数には、不詳を含みます。

(3) 出生

ア 性別・月別出生数

(平成23年)

区 分	総 数			1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	2,318	1,170	1,148	116	84	95	87	106	85	89	86	86	95	103	99
平 塚 市	1,947	983	964	98	69	82	74	94	70	68	72	70	82	83	84
大 磯 町	210	113	97	13	6	6	10	8	9	10	6	6	4	16	8
二 宮 町	161	74	87	5	9	7	3	4	6	11	8	10	9	4	7

区 分	7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	99	100	112	115	118	102	89	106	88	90	69	99
平 塚 市	82	84	95	89	98	79	78	99	77	80	58	82
大 磯 町	10	8	13	15	12	12	8	2	5	6	6	11
二 宮 町	7	8	4	11	8	11	3	5	6	4	5	6

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

イ 妊娠期間別出生数

区 分	総 数	満28週 未満	満28～ 31週	満32～ 35週	満36～ 39週	満40～ 43週	満44週 以上	不 詳
管 内	2,318	1	15	47	1,564	687	0	4
平 塚 市	1,947	1	12	40	1,316	574	0	4
大 磯 町	210	0	2	3	151	54	0	0
二 宮 町	161	0	1	4	97	59	0	0

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

(4) 死亡

ア 性別・月別死亡数

(平成23年)

区 分	総 数			1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	2,948	1,597	1,351	154	144	139	112	127	106	148	103	123	115	138	94
平 塚 市	2,281	1,259	1,022	112	113	112	88	102	91	115	75	100	87	114	77
大 磯 町	355	179	176	20	17	13	13	13	7	19	12	12	18	13	9
二 宮 町	312	159	153	22	14	14	11	12	8	14	16	11	10	11	8

区 分	7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	136	103	102	123	114	102	143	117	141	101	132	131
平 塚 市	115	76	81	82	85	75	109	90	111	69	103	99
大 磯 町	7	15	15	22	15	11	20	15	15	17	17	20
二 宮 町	14	12	6	19	14	16	14	12	15	15	12	12

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

イ 主要死因別死亡数・死亡率(全数)

(平成23年)

区 分	死 亡 総 数		(第 1 位)			(第 2 位)		
	数	死亡率	死 因	数	死亡率	死 因	数	死亡率
管 内	2,948	9.1	悪性新生物	936	2.9	心疾患	422	1.3
平 塚 市	2,281	8.8	悪性新生物	737	2.8	心疾患	317	1.2
大 磯 町	355	10.8	悪性新生物	109	3.3	心疾患	58	1.8
二 宮 町	312	10.6	悪性新生物	90	3.1	心疾患	47	1.6

区 分	(第 3 位)			(第 4 位)		
	死 因	数	死亡率	死 因	数	死亡率
管 内	脳血管疾患	280	0.9	肺 炎	262	0.8
平 塚 市	脳血管疾患	216	0.8	肺 炎	191	0.7
大 磯 町	脳血管疾患	37	1.1	肺 炎	34	1.0
二 宮 町	肺 炎	37	1.3	脳血管疾患	27	0.9

区 分	(第 5 位)			(第 6 位)		
	死 因	数	死亡率	死 因	数	死亡率
管 内	老 衰	99	0.3	不慮の事故	93	0.3
平 塚 市	老 衰	67	0.3	自 殺	65	0.2
大 磯 町	老 衰	25	0.8	不慮の事故	13	0.4
二 宮 町	不慮の事故	17	0.6	腎 不 全	9	0.3

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

死亡率は人口千対。心疾患は高血圧性を除く。

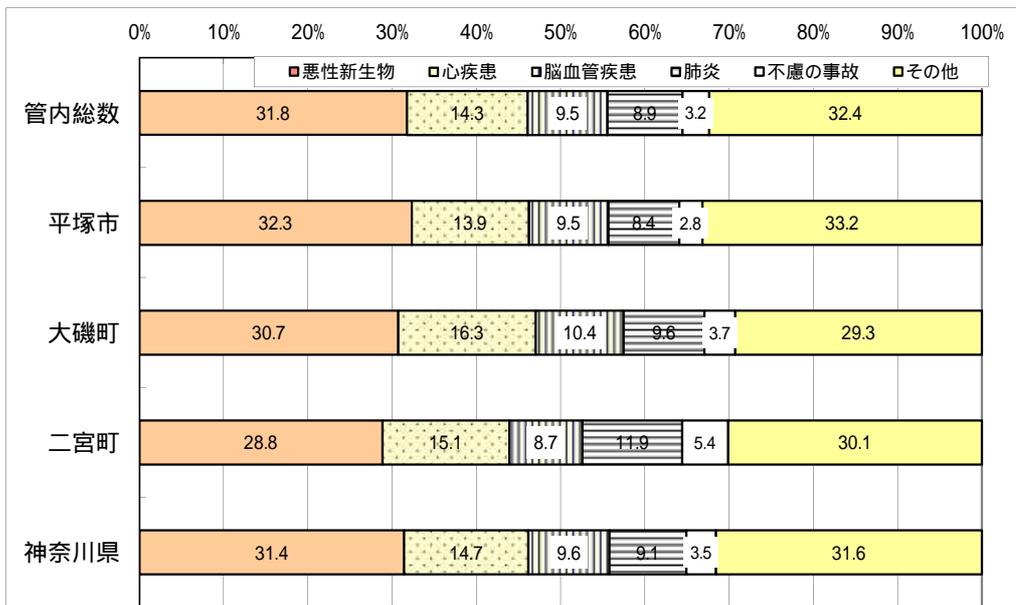
ウ 主要死因の年次推移（管内）

区分	死亡総数	(第1位)	(第2位)	(第3位)	(第4位)	(第5位)	(第6位)
昭和50年	1,174	脳血管疾患	悪性新生物	心疾患	肺炎及び 気管支炎	老衰	高血圧性 疾患
		280	233	173	59	42	35
昭和55年	1,245	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び 気管支炎	老衰	自殺
		291	286	219	60	39	35
昭和60年	1,442	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び 気管支炎	自殺	老衰
		338	278	269	108	48	44
平成2年	1,658	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎及び 気管支炎	肝硬変及び 肝炎	自殺
		412	341	234	175	54	45
平成7年	1,955	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び 気管支炎	腎不全	肝疾患
		605	325	308	151	48	45
平成12年	2,076	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎	不慮の事故	自殺
		688	309	281	224	71	59
平成17年	2,454	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺
		781	368	305	233	69	64
平成18年	2,393	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		822	312	292	192	78	75
平成19年	2,472	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰
		849	323	273	213	90	80
平成20年	2,552	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰
		844	357	271	251	97	81
平成21年	2,636	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		829	383	264	261	98	79
平成23年	2,948	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		936	422	280	262	99	93

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

心疾患は高血圧性をのぞく。

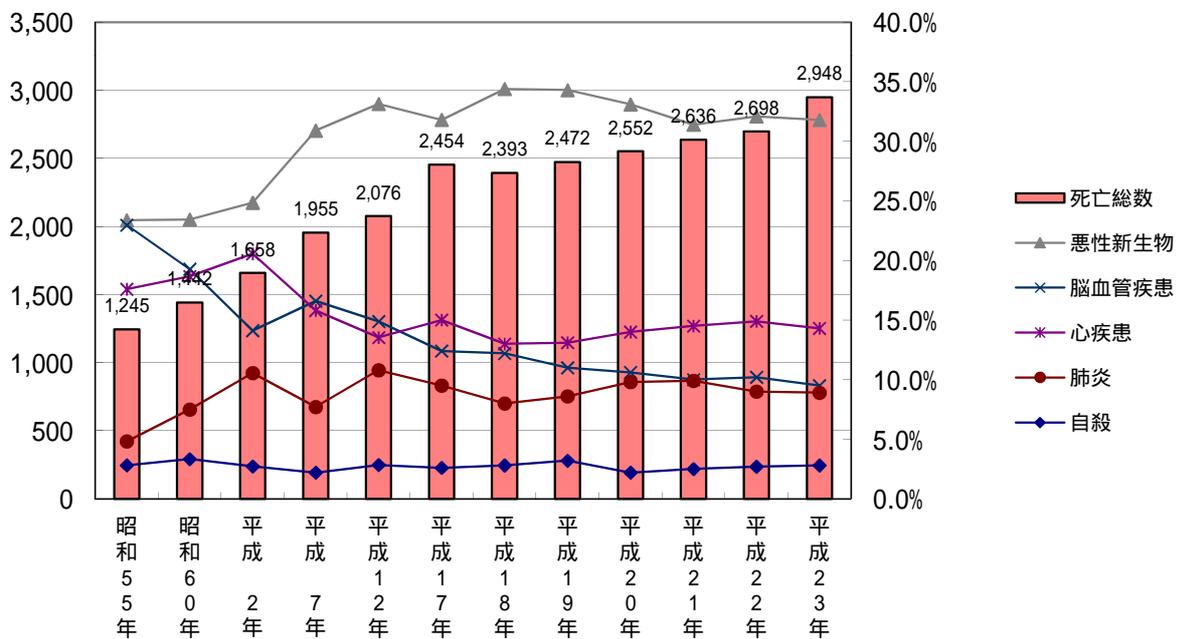
< 死亡数全体に占める主要死因の割合 平成23年度 >



エ 主要死因による死亡者数及び全死因に占める割合の推移

(人)

区分	死亡総数	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎	自殺
昭和55年	1,245	291 (23.4%)	286 (23.0%)	219 (17.6%)	60 (4.8%)	35 (2.8%)
昭和60年	1,442	338 (23.4%)	278 (19.3%)	269 (18.7%)	108 (7.5%)	48 (3.3%)
平成2年	1,658	412 (24.8%)	234 (14.1%)	341 (20.6%)	175 (10.6%)	45 (2.7%)
平成7年	1,955	605 (30.9%)	325 (16.6%)	308 (15.8%)	151 (7.7%)	43 (2.2%)
平成12年	2,076	688 (33.1%)	309 (14.9%)	281 (13.5%)	224 (10.8%)	59 (2.8%)
平成17年	2,454	781 (31.8%)	305 (12.4%)	368 (15.0%)	233 (9.5%)	64 (2.6%)
平成18年	2,393	822 (34.4%)	292 (12.2%)	312 (13.0%)	192 (8.0%)	67 (2.8%)
平成19年	2,472	849 (34.3%)	273 (11.0%)	323 (13.1%)	213 (8.6%)	79 (3.2%)
平成20年	2,552	844 (33.1%)	271 (10.6%)	357 (14.0%)	251 (9.8%)	56 (2.2%)
平成21年	2,636	829 (31.4%)	264 (10.0%)	383 (14.5%)	261 (9.9%)	67 (2.5%)
平成22年	2,698	866 (32.1%)	276 (10.2%)	402 (14.9%)	242 (9.0%)	72 (2.7%)
平成23年	2,948	936 (31.8%)	280 (9.5%)	422 (14.3%)	262 (8.9%)	82 (2.8%)



オ 悪性新生物による部位別死亡者数

(平成23年)

部 位 名		平 塚 市	大 磯 町	二 宮 町	管 内 計		神 奈 川 県
					人 数	割 合	
悪 性 新 生 物	総数	737	109	90	936	100.0%	22,279
	男	435	63	52	550	100.0%	13,590
	女	302	46	38	386	100.0%	8,689
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	総数	17	3	2	22	2.4%	472
	男	13	3	2	18	3.3%	335
	女	4	-	-	4	1.0%	137
食道の悪性新生物	総数	23	1	4	28	3.0%	863
	男	21	1	4	26	4.7%	731
	女	2	-	-	2	0.5%	132
胃の悪性新生物	総数	105	20	16	141	15.1%	3,108
	男	62	15	11	88	16.0%	2,176
	女	43	5	5	53	13.7%	932
結腸の悪性新生物	総数	79	8	5	92	9.8%	2,014
	男	41	6	3	50	9.1%	1,064
	女	38	2	2	42	10.9%	950
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	総数	30	6	3	39	4.2%	977
	男	21	1	1	23	4.2%	647
	女	9	5	2	16	4.1%	330
肝及び肝内胆管の悪性新生物	総数	51	9	5	65	6.9%	1,791
	男	34	5	3	42	7.6%	1,249
	女	17	4	2	23	6.0%	542
胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	総数	41	3	5	49	5.2%	977
	男	21	3	3	27	4.9%	525
	女	20	-	2	22	5.7%	452
膵の悪性新生物	総数	54	6	12	72	7.7%	1,777
	男	32	2	6	40	7.3%	965
	女	22	4	6	32	8.3%	812
喉頭の悪性新生物	総数	-	-	1	1	0.1%	43
	男	-	-	1	1	0.2%	39
	女	-	-	-	-	0.0%	4
気管、気管支及び肺の悪性新生物	総数	130	16	10	156	16.7%	4,176
	男	101	13	7	121	22.0%	2,986
	女	29	3	3	35	9.1%	1,190
皮膚の悪性新生物	総数	4	-	-	4	0.4%	81
	男	2	-	-	2	0.4%	40
	女	2	-	-	2	0.5%	41
乳房の悪性新生物	総数	38	9	5	52	5.6%	996
	男	-	-	-	-	0.0%	7
	女	38	9	5	52	13.5%	989
子宮の悪性新生物	総数(女)	16	3	1	20	2.1%	393
卵巣の悪性新生物	総数(女)	8	-	1	9	1.0%	337
前立腺の悪性新生物	総数(男)	21	6	2	29	3.1%	691
膀胱の悪性新生物	総数	10	2	1	13	1.4%	436
	男	6	-	-	6	1.1%	315
	女	4	2	1	7	1.8%	121
中枢神経系の悪性新生物	総数	4	2	1	7		124
	男	3	1	-	4	0.7%	73
	女	1	1	1	3	0.8%	51
悪性リンパ腫	総数	20	4	3	27	2.9%	673
	男	11	1	2	14	2.5%	380
	女	9	3	1	13	3.4%	293
白血 病	総数	18	1	3	22	2.4%	493
	男	10	1	2	13	2.4%	300
	女	8	-	1	9	2.3%	193
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	総数	6	-	-	6	0.6%	252
	男	2	-	-	2	0.4%	121
	女	4	-	-	4	1.0%	131
その他の悪性新生物	総数	62	10	10	82	8.8%	1,605
	男	34	5	5	44	8.0%	946
	女	28	5	5	38	9.8%	659

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

管内について、男女別で見ると、悪性新生物による死亡者数全体のうち、男性の占める割合は58.8%、女性は41.2%で、男性が女性を上回っている。

男性

順位	部 位	人 数	割 合
1	気管、気管支及び肺	121	22.0%
2	胃	88	16.0%
3	結 腸	50	9.1%
4	肝及び肝内胆管	42	7.6%
5	膵	40	7.3%
6	前 立 腺	29	5.3%
7	胆のう及びその他の胆道	27	4.9%
8	食 道	26	4.7%
9	直腸S状結腸移行部及び直腸	23	4.2%
10	口唇口腔及び咽頭	18	3.3%
11	悪性リンパ腫	14	2.5%
12	白 血 病	13	2.4%
13	膀 胱	6	1.1%
14	中枢神経	4	0.7%
15	皮 膚	2	0.4%
	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織		

女性

順位	部 位	人 数	割 合
1	胃	53	13.7%
2	乳 房	52	13.5%
3	結 腸	42	10.9%
4	気管、気管支及び肺	35	9.1%
5	膵	32	8.3%
6	肝及び肝内胆管	23	6.0%
7	胆のう及びその他の胆道	22	5.7%
8	子 宮	20	5.2%
9	直腸S状結腸移行部及び直腸	16	4.1%
10	悪性リンパ腫	13	3.4%
11	卵 巣	9	2.3%
	白 血 病		
13	膀 胱	7	1.8%
14	口唇口腔及び咽頭	4	1.0%
	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織		

カ 管内の悪性新生物を死因とする死亡者数の推移（部位別）

（人）

	気管、気管支及び肺	胃	結腸	膵	肝及び肝内胆管	乳房	胆のう及びその他の胆道	直腸S状結腸移行部及び直腸	前立腺	食道
H14	114	129	53	45	79	21	28	30	17	24
H15	119	136	59	59	67	25	26	30	27	25
H16	135	123	78	50	65	44	33	31	22	29
H17	121	149	72	44	79	26	29	37	30	36
H18	144	136	78	47	82	31	33	38	28	32
H19	145	148	70	60	66	35	38	36	22	35
H20	166	114	79	58	81	32	43	43	18	32
H21	137	132	76	62	75	26	48	30	24	32
H22	167	124	87	81	53	30	38	39	34	30
H23	156	141	92	72	65	52	49	39	29	28

県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より）

キ 各種がん検診の受診率

（平成23年度）

		胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん	乳がん
		受診率		受診率		受診率		受診率	受診率
平塚市	男	7.0%	5.5%	29.3%	26.5%	9.8%	8.4%	27.6%	15.7%
	女	4.8%		24.9%		7.6%			
大磯町	男	10.1%	7.0%	31.1%	28.1%	33.0%	30.0%	12.9%	16.7%
	女	5.2%		26.5%		28.4%			
二宮町	男	2.6%	2.5%	22.3%	25.5%	22.3%	24.7%	9.8%	12.8%
	女	2.5%		28.0%		26.5%			
神奈川県			5.9%		13.8%		17.3%	23.0%	19.1%

「平成23年度地域保健・健康増進事業報告」（各市町報告及び厚生労働省）。

・対象、検診

- 胃がん 40歳以上・問診及び胃部エックス線検査
- 肺がん 40歳以上・胸部エックス線検査
- 大腸がん 40歳以上・問診及び便潜血検査
- 子宮がん 20歳以上・頸部検診
- 乳がん 40歳以上・視触診方式及びマンモグラフィ

・受診率

胃がん、肺がん及び大腸がん

受診者数 / 対象者数

子宮がん及び乳がん

(前年度の受診者数 + 当年度の受診者数 - 2年連続の受診者数) / 当年度の対象者数

ク 年次別乳児死亡数

区分	昭和45年		昭和50年		昭和55年		昭和60年		平成2年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	49	10.5	41	8.7	27	7.1	14	4.3	13	4.5
平塚市	42	11.2	35	9.2	21	6.7	12	4.5	11	4.6
大磯町	2	4.3	2	4.3	4	11.8	1	3.4	0	0.0
二宮町	5	10.8	4	9.4	2	5.6	1	3.3	2	7.4

区分	平成7年		平成12年		平成15年		平成17年		平成18年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	16	5.5	11	3.9	12	4.5	9	3.5	4	1.5
平塚市	15	6.2	11	3.9	9	3.9	8	3.7	4	1.8
大磯町	0	0.0	0	0.0	1	5.4	0	0.0		
二宮町	1	3.6	0	7.9	2	9.1	1	5.2	0	0.0

区分	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	7	2.7	5	2.0	3	1.2	5	2.0	6	2.6
平塚市	6	2.8	3	1.4	2	0.9	5	2.4	5	2.6
大磯町	1	4.4	1	4.3	1	5.2	0	0.0	1	4.8
二宮町	0	0.0	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)
乳児死亡率 = 年間乳児死亡数 / 年間出生数 * 1,000

月別婚姻数

(平成23年)

区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
管内	1,499	115	126	161	134	123	122	142	108	83	111	166	108
平塚市	1,277	99	108	131	115	100	108	121	92	74	93	140	96
大磯町	116	7	9	15	12	12	9	9	9	4	11	12	7
二宮町	106	9	9	15	7	11	5	12	7	5	7	14	5

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

(6) 離婚

月別離婚数

(平成23年)

区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
管内	621	55	45	53	60	49	50	54	51	47	54	49	54
平塚市	528	50	38	46	56	43	40	41	44	42	48	36	44
大磯町	51	2	5	5	4	3	6	5	4	3	3	6	5
二宮町	42	3	2	2	0	3	4	8	3	2	3	7	5

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

(7) 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶実施件数

(平成24年)

区分	総数	20歳未満	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50歳以上
総数	284	46	48	41	62	54	32	1	0
満7週以前	127	22	14	14	29	31	17	0	0
満8~11週	153	23	34	27	32	21	15	1	0
満12~15週	3	1	0	0	1	1	0	0	0
満16~19週	1	0	0	0	0	1	0	0	0
満20~21週	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(平塚保健福祉事務所調べ。)

4 市町における健康診査実施状況

(1) 母子保健関係

ア 4か月児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,310	2,202 (95.3)	1,931
平塚市	1,945	1,845 (94.9)	1,625
大磯町	189	185 (97.9)	161
二宮町	176	172 (97.7)	145

区分	要精検・要医療・要観察の内訳 (延人数)									合計
	発達問題	体重増加・発育	眼科疾患・視覚	耳鼻疾患・聴覚	呼吸器循環器	整形外科疾患	皮膚疾患	泌尿器科疾患	その他	
合計	7	14	1	2	4	25	41	2	11	107
平塚市	3	9		1	2	17	38	1	6	77
大磯町	2			1			3			6
二宮町	2	5	1		2	8		1	5	24

イ 1歳6か月児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,501	2,371 (94.8)	2,288
平塚市	2,079	1,956 (94.1)	1,944
大磯町	238	232 (97.5)	196
二宮町	184	183 (99.5)	148

区分	要精検・要医療・要観察の内訳 (延人数)										合計
	発達問題	発育問題	眼科疾患・視覚	耳鼻疾患・聴覚	呼吸器循環器	整形外科疾患	皮膚疾患	腎疾患疑い	その他	精神面	
合計	17	34	10	8	11	2	62	21	19	163	347
平塚市	16	31	9	7	11	2	61	16	19	122	294
大磯町		2	1					5		8	16
二宮町	1	1		1			1			33	37

ウ 3歳児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,654	2,436 (91.8)	2,157
平塚市	2,219	2,023 (91.2)	1,778
大磯町	223	213 (95.5)	200
二宮町	212	200 (94.3)	179

区分	要精検・要医療・要観察の内訳(延人数)										合計
	発達問題	発育問題	眼科疾患 ・視覚	耳鼻疾患 ・聴覚	呼吸器 循環器	整形外科 疾患	皮膚疾患	尿検査・ 腎疾患	その他	精神面	
合計	16	19	16	7	13	4	65	23	7	98	268
平塚市	5	17	14	6	12	3	64	22	6	84	233
大磯町	4									4	8
二宮町	7	2	2	1	1	1	1	1	1	10	27

(2) 歯科保健関係

ア 1歳6か月児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕 患者数 (率)	う蝕の型別分類(内訳)				う蝕総数	一人平均 う蝕数
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型		
合計	2,501	2,371 (94.8)	41 (1.7)	35	5		1	112	0.05
平塚市	2,079	1,956 (94.1)	34 (1.7)	28	5		1	92	0.05
大磯町	238	232 (97.5)	5 (2.2)	5				15	0.06
二宮町	184	183 (99.5)	2 (1.1)	2				5	0.03

イ 2歳児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕 患者数 (率)	う蝕の型別分類(内訳)				う蝕総数	一人平均 う蝕数
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型		
合計	2,592	1,627 (62.8)	80 (4.9)	71	5	1	3	237	0.15
平塚市	2,106	1,194 (56.7)	52 (4.4)	44	4	1	3	166	0.14
大磯町	292	261 (89.4)	17 (6.5)	17				37	0.14
二宮町	194	172 (88.7)	11 (6.4)	10	1			34	0.20

ウ 3歳児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類(内訳)				
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型	D型 (再掲)
合計	2,654	2,436 (91.8)	399 (16.4)	295	85	4	15	67
平塚市	2,219	2,023 (91.2)	330 (16.3)	245	72	4	9	61
大磯町	223	213 (95.5)	34 (16.0)	25	5		4	4
二宮町	212	200 (94.3)	35 (17.5)	25	8		2	2

区分	う歯総数	う歯の状況		一人平均 う歯数
		未処置歯 数	処置歯数	
合計	1,360	1,045	315	0.56
平塚市	1,144	879	265	0.57
大磯町	120	86	34	0.56
二宮町	96	80	16	0.48

(注)う蝕の型別分類

- A 型: 上顎乳前歯部のみ又は乳臼歯部にう蝕がある者
- B 型: 上顎乳前歯部及び乳臼歯部にう蝕がある者
- C₁型: 下顎乳前歯部にう蝕がある者
- C₂型: 下顎乳前歯部と他部位にう蝕がある者
- D 型: 6本以上う蝕がある者(神奈川県独自の分類で、重度う蝕児として再掲する。)

5 各種委員会委員

(1) 湘南西地区保健医療福祉推進会議委員

< 企画調整課 >

区 分	氏 名	所属機関名	役職名
医療関係団体	武川 慶孝	(社)平塚市医師会	会長
	安部 信三	(社)秦野伊勢原医師会	会長
	山田 眞一	(社)中郡医師会	会長
	荒井 正博	(社)平塚歯科医師会	会長
	大塚 哲也	(社)秦野伊勢原歯科医師会	会長
	片山 隆博	(社)平塚中郡薬剤師会	会長
	神原 章喜	NPO法人 秦野市薬剤師会	会長
	石塚 英夫	(社)伊勢原市薬剤師会	会長
	石山 直巳	平塚市民病院	病院長
	高畑 武司	伊勢原協同病院	病院長
福祉関係団体	金田 和子	(社福)平塚市社会福祉協議会	会長
	諸星 好昭	(社福)秦野市社会福祉協議会	会長
	出縄 守英	(社福)進和学園サンメッセしんわ	総合施設長
	藤村 和静	(社福)常成福社会	専務理事
	水島 米子	(社福)つちや社会福祉会	理事長
	長本 貞光	(社福)湘南福祉センター	理事長
保健医療福祉関係団体	田中 美代子	食生活改善推進団体ママの会	会長
	黒沢 武	平塚労働基準監督署	署長
	神保 正治	平塚市健康・こども部	部長
	栗原 豊	秦野市こども健康部	部長
	鍛代 英雄	伊勢原市保健福祉部	部長
	二挺木 敏行	大磯町町民福祉部	部長
	佐久間 良輔	二宮町健康福祉部	部長
	吉野 雅裕	中教育事務所	所長
保健福祉事務所	竹村 隆夫	平塚保健福祉事務所	所長
	南出 純二	秦野保健福祉事務所	所長

(2) 平塚保健福祉事務所保健福祉サービス連携調整会議

ア 継続看護連絡会 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関	職 名 等	
医 療 機 関	田代 眞由美	平塚市民病院	看護部長	
	前田 まゆみ		看護科長代理兼師長	
	石井 美千代		感染管理認定看護師	
	棚 田 幸 恵	平塚共済病院	看護部長	
	川 崎 進		感染管理認定看護師	
	林 洋 子	済生会平塚病院	看護部長	
	根 津 美 保		感染管理認定看護師	
	堀本 久美子	くらた病院	看護部長	
	木佐木 みな子	研水会平塚病院	看護部長	
	五十嵐 範子	研水会高根台病院	看護部長	
	広沢 美和子	平塚十全病院	看護部長	
	山 本 憲 子		看護師長	
	小 岩 正 子	富士見台病院	看護部長	
	錦 織 涼 子	ふれあい平塚ホスピタル	看護部長	
	藤 井 幸 子	東海大学医学部附属大磯病院	看護部長	
	関 光 子	東海大学医学部附属大磯病院 患者支援センター	看護師長	
	山 崎 慶	東海大学医学部附属大磯病院 患者支援センター 在宅支援部門	看護師	
訪 問 看 護 ス テーション	福 岡 知 子	しんど訪問看護ステーション	所長	
	真間 あけみ	平塚市医師会訪問看護ステーション	所長	
	小 島 祥 子	医療生協かながわ生活協同組合訪問看護ステーションひらつか	所長	
	三 橋 朋 美	済生会平塚訪問看護ステーション	所長	
	山 本 節 子	あさひの郷訪問看護ステーション	所長	
	斉 藤 明 子	へいあん訪問看護ステーション	管理者	
	小 浅 恵 美	平塚共済病院 訪問看護ステーションさくら	所長	
	相 田 淑 子	特定非営利活動法人KOKORO 訪問看護ステーションひかり	管理者	
	鈴木 多加子	サン・ライフ訪問看護ステーション	管理者	
	白 土 玲 子	SMC訪問看護ステーションさなだ	所長	
	大 谷 一 世	ユーマナーシング	管理者	
	長谷川 勇二		事務長	
	宇 野 浩 美	宝命訪問看護ステーション輝き	管理者	
	芹 田 三 保	つるかめ訪問看護ステーション	管理者	
	都 築 理 絵	神奈川県看護協会おおいそ訪問看護ステーション	所長	
	青 木 伸 也	りんどうりハビリ看護ステーション	所長	
	岡 崎 紗 知	さくら訪問看護ステーション	管理者	
地 域 包 括 支 援 センター	小 島 宏 美	平塚市地域包括支援センターあさひ	保健師	
	山口 百合子		保健師	
	渡 邊 育 子	平塚市地域包括支援センター倉田会	看護師	
	石 井 ひろ子	平塚市地域包括支援センターごてん	保健師	
	清田 恵美子	平塚市地域包括支援センターサンレジデンス湘南	看護師	
	岩 田 敏 子	平塚市地域包括支援センターとよだ	保健師	
	高 梨 美 喜	平塚市地域包括支援センターひらつかにし	保健師	
	尾 崎 洋 子	平塚市地域包括支援センター富士白苑	保健師	
	有 賀 敦 子	大磯町地域包括支援センター	保健師	
西 野 邦 子	二宮町社会福祉協議会 地域包括支援センター	看護師		
市 町	宇 山 貴 子	平塚市	健康課	主任
	山 崎 礼		高齢福祉課	主査
	小川 真木野	大磯町	スポーツ健康課	主査
	永井 知寿子	二宮町	保険予防課	主任保健師
	中館 恵利子		高齢障がい課	副技幹
保健福祉事務所	海 法 澄 子	平塚保健福祉事務所 保健福祉部	部長	

イ 難病委員会 <保健予防課>

区 分	氏 名	所 属 機 関		職 名 等
医 師 会	上 野 善 則	平塚市医師会 理事		理事
	脇 和 雄	中郡医師会 副会長		副会長
医 療 機 関	麻野 亜希子	平塚市民病院 患者サポートセンター		主査 医療ソーシャルワーカー
	吉野 陽子			看護師
	朝永 朝子	東海大学医学部附属大磯病院 患者支援センター		医療ソーシャルワーカー
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	鈴木 多加子	ひらつか地域介護システム会議 訪問看護連絡会		看護師
	青木 伸也	中郡訪問看護連絡協議会		代表（保健師）
訪 問 介 護	石塚 晴美	ひらつか地域介護システム会議 訪問介護部会		介護福祉士
	井出 佐智子	湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会 訪問介護部会		代表
居 宅 介 護 支 援 事 業 所	山口 桂司	ひらつか地域介護システム会議 居宅介護支援事業所連絡会		副代表
	原 広子	湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会		介護支援員専門部会代表幹事
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	小峰 和代	平塚市地域包括支援センターゆりのき		主査（看護師）
	西野 邦子	二宮町社会福祉協議会 地域包括支援センター		看護師
市 町	樹本 京子	平塚市	障がい福祉課	主査（保健師）
	吉田 敏美	大磯町	スポーツ健康課	副技幹（保健師）
	波多野 昭雄		福祉課	副主幹
	荻野 真也	二宮町	高齢障がい課	主事
	佐久間 剛	神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部介護保険課		副主幹
保健福祉事務所	海法 澄子	平塚保健福祉事務所 保健福祉部		部長

ウ 母子保健委員会委員名簿 < 保健福祉課 >

区 分	氏 名	所 属 機 関		職 名 等
医 師 会	近 藤 朗	平塚市医師会		小児科部会員
	牧 野 英 博			産婦人科部会員
	竹 末 良 三	中郡医師会		理事
歯 科 医 師 会	児 玉 浩 毅	平塚歯科医師会		公衆衛生担当理事
医 療 機 関	今 城 め ぐ み	前田産婦人科		助産師
	日 浦 由 美 子	小清水産婦人科クリニック		助産師
	鶴 原 た み 子	ひまわりレディース&マタニティクリニック		助産師
	竹 埜 格 子	平塚市民病院	産婦人科	看護科長代理兼看護師長
	麻 野 亜 希 子		地域医療・患者支援室	医療ソーシャルワーカー
市 町	二 宮 克 巳	平塚市	健康課	課長
	原 田 浩 子			主管
	古 畑 真 希 子			主査
	大 野 勉		こども家庭課	課長
	白 井 純 人			主査
	曾 根 良 介			主事
	佐 野 慎 治	大磯町	スポーツ健康課	課長
	市 野 亜 矢 子			保健師
	増 尾 克 治		子育て支援課	課長
	角 田 修 代			主査
	西 山 義 勝	二宮町	保険予防課	課長
	永 井 知 寿 子			主任保健師
	黒 石 徳 子		福祉課	課長
	竹 内 伸 介			主任主事
児 童 相 談 所	佐 藤 隆 司	中央児童相談所	子ども支援課	課長
	彦 根 倫 子			副技幹
学 識 経 験 者	山 本 恒 雄	日本子ども家庭総合研究所		部長
保 健 福 祉 事 務 所	竹 村 隆 夫	平塚保健福祉事務所		所長

工 地域食生活対策推進協議会 < 保健福祉課 >

区 分	氏 名	所 属 機 関 名	職 名 等
医 師 会	高田 一太郎	平塚市医師会	産業保健担当理事
歯 科 医 師 会	小川 哲史	平塚歯科医師会	学校保健担当理事
労 働 衛 生	廣澤 正子	神奈川労務安全衛生協会	副事務局長
事 業 所	斎藤 譲	日産車体株式会社本社工場	人事(厚生)グループ長
	内海 大助	大東化学株式会社	総務課主任
	中野 みどり	田中貴金属工業株式会社平塚工場	看護師
	吉川 敬子	株式会社サンユウ	品質保証部長(管理栄養士)
関 係 団 体	高橋 暁子	地域活動栄養士 菜の花会	会長
	田中美代子	食生活改善推進団体 ママの会	会長
行 政	二宮 克巳	平塚市健康課	課長
	佐野 慎治	大磯町スポーツ健康課	課長
	西山 義勝	二宮町保険予防課	課長
学 識 経 験 者	山本 妙子	神奈川県立保健福祉大学	教授
保健福祉事務所	竹村 隆夫	平塚保健福祉事務所	所長

才 地域精神保健福祉連絡協議会 < 保健予防課 >

区 分	氏 名	所 属 機 関 名	職 名 等	
医 療 関 係	簗和田 有	富士見台病院	院長	
	大野 史郎	研水会平塚病院	院長	
地 域 関 係 機 関 団 体	会 員	当事者会	代表	
	谷田川 靖子	湘南あゆみ会	代表	
	田中 直人	NPO法人平塚市精神障害者地域生活支援連絡会	理事長	
	滝沢 武久	ジョブコーチ大磯	施設長	
	小沢 貞雄	精神保健福祉ボランティアグループこんぺいとう	代表	
	勝田 俊一	サンシティ	所長	
	萩原 勝己	社会福祉法人素心会地域支援センターそしん	センター長	
	辻 隆造	社会福祉法人至泉会ソーレ平塚生活支援	センター長	
	堀内 禎晋	医療法人研水会ポラリス	施設長	
	村田 剛	ほっとステーション平塚相談支援事業	管理者	
	和田 吉司	湘南平塚断酒新生会	会長	
	遠藤 正人	平塚市社会福祉協議会	事務局長	
	木内 健太郎	大磯町社会福祉協議会	事務局長	
	今井 均	二宮町社会福祉協議会	事務局長	
	新倉 慶明	平塚公共職業安定所	所長	
	黒沢 武	平塚労働基準監督署	署長	
	市 町	江藤 昇	平塚市	障がい福祉課
二宮 克己		健康課		課長
鈴木 千代治		くらし安全課		課長
添田 克明		子ども教育相談センター		所長
金子 博文		福祉総務課		課長
大野 勉		こども家庭課		課長
田中 寧男		高齢福祉課		課長
小嶋 由紀子		大磯町	保険福祉課	課長
佐野 慎治			町スポーツ健康課	課長
坂本 真砂子		二宮町	高齢障がい課	課長
西山 義勝			保険予防課	課長
松本 幸生			教育総務課	課長
県		丹波 進	青少年センター青少年サポート課	課長
	佐々川 洋子	精神保健福祉センター 調査・社会復帰課	課長	
保 健 福 祉 事 務 所	竹村 隆夫	平塚保健福祉事務所	所長	
	海法 澄子	平塚保健福祉事務所 保健福祉部	部長	

カ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関 名		職 名 等
関 係 団 体	久保田 守	平塚歯科医師会		常務理事
	児玉 浩毅	平塚歯科医師会		公衆衛生担当理事
	今井 裕久	平塚中郡薬剤師会		副会長
	浅井 玲子	平塚地域歯科衛生士の会		会長
	藤田 清美	(平塚市)		8020運動推進員
	吉成 邦子	(大磯町)		8020運動推進員
	真壁 あけみ	(二宮町)		8020運動推進員
子育て関係機関	和久井 葉子	平塚市にこにこ園		園長
行 政	大内 康子	平塚市	高齢福祉課	主査
	多田 明子			嘱託
	鈴木 和幸		健康課	主管・健康づくり担当長
	小山 朱美			主任
	吉田 敏美	大磯町	スポーツ健康課	副技幹
	田代 宏美	二宮町	保険予防課	主査
	金城 美栄子			嘱託
	竹村 隆夫	平塚保健福祉事務所		所長

6 職員研究論文等一覧

(1) 職員の研究会・学会等発表

演 題 名	発表者名	月 日	会 場	研究会等名称
「特定給食施設における地震時の対応に関するアンケート」調査報告について	保健福祉課 市川 佳世	9月14日	名古屋国際会議場	日本栄養改善学会
「特定給食施設における地震時の対応に関するアンケート」調査報告について	保健福祉課 市川 佳世	10月25日	山口市民会館	日本公衆衛生学会
精神障害者アウトリーチ支援に係る調査事業報告 ～平塚保健福祉事務所で実施したモデル事業の効果及び今後の課題～	保健予防課 赤池 敏夫	11月1日	誌上発表	神奈川県公衆衛生学会
保健福祉事務所の環境衛生課と保健予防課で連携した老年期の皮膚寄生虫妄想の相談事例報告（第一報）	保健予防課 小杉 敦子	11月1日	誌上発表	神奈川県公衆衛生学会
周産期からの児童虐待予防に関する研究（周産期からの児童虐待予防プロジェクト）	保健福祉課 宮崎 晃子	11月1日	神奈川県総合医療会館	神奈川県公衆衛生学会
周産期からの児童虐待予防事業における保健福祉事務所保健師の役割	保健福祉課 宮崎 晃子	1月14日	首都大学東京荒川キャンパス	日本公衆衛生看護学会
平塚保健福祉事務所における周産期からの児童虐待予防プロジェクト事業の取り組み（第1報）～地域と周産期医療機関との連携～	保健福祉課 宮崎 晃子	1月27日	神奈川県総合医療会館	地域保健師研究発表会
平塚保健福祉事務所における周産期からの児童虐待予防プロジェクト事業の取り組み（第2報）～本事業の関係機関へのアンケート調査より～	保健福祉課 鈴木 春奈	1月27日	神奈川県総合医療会館	地域保健師研究発表会
二宮町における自殺対策の現状と課題	保健予防課 内山 純子	1月27日	神奈川県総合医療会館	地域保健師研究発表会
特定給食施設等講習会を通じた災害対策の取り組みについて	保健福祉課 木口 智美	3月15日	かながわ労働プラザ	神奈川県栄養改善学会

(2) 作成印刷物

印 刷 物 名	年 月	規 格	主 管 課
自殺対策普及啓発用クリアホルダー	24年 7月	A4版（両面）	保健予防課
食中毒警報発令中	24年 7月	A4判（片面） 1ページ	食品衛生課
自殺対策普及啓発用ミール	24年 8月	円形110×110mm	保健予防課
自殺対策普及啓発用マグネット	24年10月	マグネットシート 55×80mm	保健予防課
ノロウイルス食中毒警戒情報発令中	24年11月	A4判（片面） 1ページ	食品衛生課
働く人の健康づくりのための卓上POP	25年 1月	A4版（片面） 全35種類	保健福祉課

平成24年度 平塚保健福祉事務所年報

平成 25 年 11 月 発 行

編集・発行 神奈川県平塚保健福祉事務所

製 本 あしがら印刷



平塚保健福祉事務所
平塚市豊原町 6-21 〒254-0051 電話 0463(32)0130 (代)
URL <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f47/>

再生紙を使用しています